

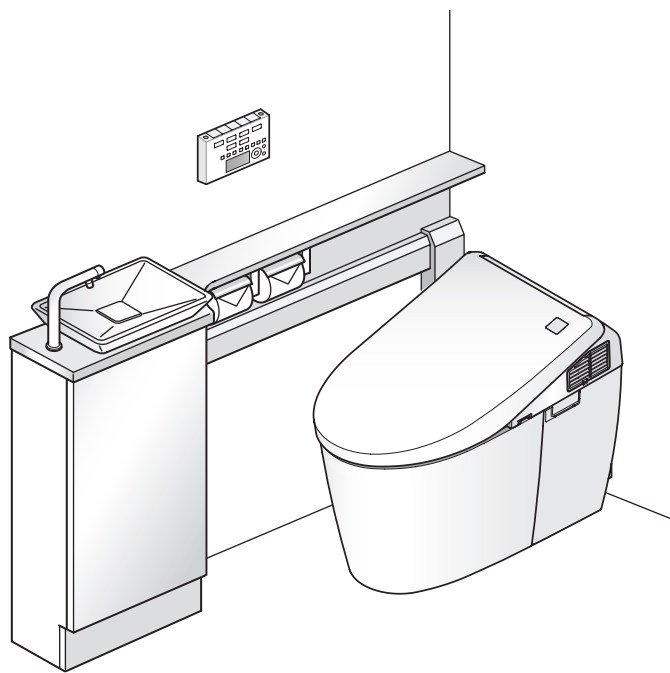
ウォシュレット® ネオレストハイブリッドシリーズ手洗器付（ワンデーリモデル）

壁排水（後ろ抜き／後ろ抜きリモデル／左右抜きリモデル）
カウンタータイプ手洗器付
UWA 型

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

製品の機能が十分発揮できるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
本書は手洗器が左勝手を基準に説明しております。本書に記載の寸法の単位はmmです。

下記商品の取り付けは、各商品に同梱の施工説明書を参照してください。
〈ウォシュレット・タオル掛け（壁付タイプ）・手すり・化粧鏡〉



商品タイプの確認 2

情報編

3

- | | |
|--------------|----|
| 1. 安全上のご注意 | 4 |
| 2. 取り付け前のご注意 | 6 |
| 3. 部品の確認 | 12 |

手順編

17

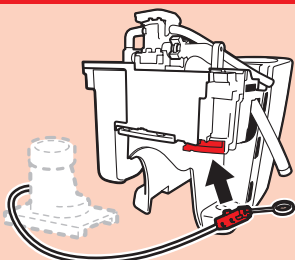
**必ず
実施**

工事店様へ

従来にはない施工が必要です。排水ソケットに付いている手動レバーを必ず便器に取り付けてください。▶P.46

従来製品からの主な注意点

①便器取り付け前に手動レバーを取り付ける



正しく取り付けられていないと、ブザー音が鳴り、ランプがすべて点滅します。

▶P.46

②停電時に使用するため電池ボックスは取り外さない



※袋のヒモが切れてしまった場合は、もう一方の穴に通して取り付けてください。

- | | | |
|--|---|--|
| <input type="checkbox"/> 取扱説明書の最終ページの保証書に、必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡ししてください。お渡しできない場合は、目立つ場所に置いてください。 | <input type="checkbox"/> 取り付け後、ウォシュレットの機能、使いかたなどについてお客様にご説明をお願いいたします。 | <input type="checkbox"/> 新築などでお客様に引渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。 |
|--|---|--|

商品タイプの確認

商品タイプにより施工手順が異なります。

お施主様のお宅は、どのタイプですか？

手洗器タイプ

Sサイズ

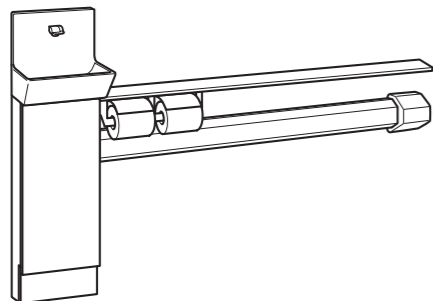


Mサイズ

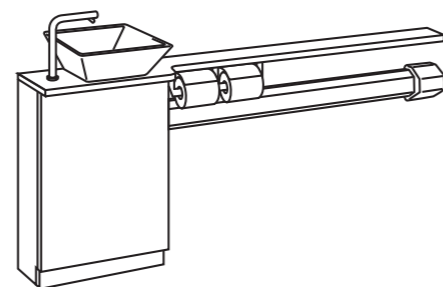


カウンタータイプ

Sサイズ



Mサイズ



水栓タイプ

Sサイズ



自動水栓



ハンドル式水栓

Mサイズ



自動水栓
(電気温水器付)



自動水栓



ハンドル式水栓

情報編

1. 安全上のご注意 ▶4

2. 取り付け前のご注意 ▶6

1	設置寸法	6
2	幅木	7
3	電気配線	7
4	給排水位置	8
5	補強	11
6	窓枠	11
7	必要工具	11

3. 部品の確認 ▶12

1.安全上のご注意









安全のために必ずお守りください。



お取り付け前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。




●表示と意味はつぎのようになっています。 ●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。

 警告	誤った取り扱いをすると、「死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。		してはいけない「禁止」の内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害※の発生が想定される」内容です。		必ず実行していただく「強制」の内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

 分解禁止	修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わない 火災や感電の原因となります。	 ぬれた手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となります。
 アース接地	アース(D種接地)工事がされていることを確認する アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電の原因となります。 アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。	 水場使用禁止	浴室など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない 火災や感電の原因となります。 商品本体・ねじ類の腐食により、落下してけがやときに死亡の原因となります。
 警告	水道水および飲用可能な井戸水・地下水以外は使用しない 皮膚の炎症などを起こす原因となります。	 禁止	電源プラグやコードが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいままで使用しない 火災や感電の原因となります。
	指定する電源(交流100V)以外では使用しない 火災の原因となります。		ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因となります。
	電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。		給水および排水管の真下部にコンセントを設置しない 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。
	屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所に取り付けけない 取り付けが不安定になり、倒れたり落下してけがやときに死亡の原因となります。		器具取付用のねじ固定部の壁裏には、配管・配線を通さない 火災や感電の原因となります。 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	雷が発生しているときは、電源プラグに触れない 感電の原因となります。		コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
	ウォシュレットの給水ホースをコンセントに接触させない 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。		
 必ず守る	電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因となります。	 必ず守る	壁固定ねじ取付位置には、必ず壁裏を補強する 商品の転倒、落下によりけがやときに死亡の原因となります。
	コンセント位置・電源コードの取り回しは、本説明書に記載された位置・方法・注意事項を厳守する 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。		電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因となります。
	取り付け面がタイル・コンクリート壁の場合は、コンクリート用プラグ(現場手配)を使用する 取り付けが不安定になり、落下によりけがやときに死亡の原因となります。		工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する 商品が落下したり、外れたりしてけがやときに死亡の原因となります。

 警告	 必ず守る	商品を取り付ける柱・間柱は、腐食などで強度不足でないことを確認する 取付物の転倒・落下によりけがやときに死亡の原因となります。	コンセントは水や小水がかからない位置に設置する コンセントに水がかかり、感電・発火の原因となります。
		石こうボードの場合は指定のボードアンカーを使用する 取り付けが不安定になり、落下によりけがやときに死亡の原因となります。	機器の設置は専門業者が行う また、電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者(電気工事士)が行う 火災や感電の原因となります。水漏れして、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。
		手洗器用クッション材の張り付け、シリコン系シーラントの塗布(コーキング)は確実に 水などがキャビネット内に浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。	

 注意	 禁止	止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない 水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	商品に強い力や衝撃を与えない 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。水漏れして、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
		給水ホースが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない 給水ホースが破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生の原因となります。	カウンターの上に乗って作業しない カウンターが破損したり落下したりして、けがの原因となります。
		給水フィルター・給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは接続部やフィルターふたを確実に締める 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。 ※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。	設置工事に使用する部材は必ず付属部品および指定部品を使用する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
		工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	給水・排水接続に関する作業は、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
		カットした面は滑らかに仕上げる 滑らかに仕上げないとお客様の手が触れ、けがをする原因となります。	ボードアンカーへのねじの固定は電動ドライバーを使用しない(手締めする) ボードアンカーの破損により、取付物が落下し、けがの原因となります。
	 必ず守る	商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する 商品が破損・落下し、けがのおそれがあります。	給水ホースと分岐金具を正しく接続する 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
	商品の壁への固定が完了するまで、もたれたりものを載せたりしないよう十分注意する 商品が倒れたり落下してけがの原因となります。	ねじ部の固定については、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する 商品が破損し、けがをする原因となります。	
	推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。	水準器を用いて水平に設置する 収納物が落下してけがの原因となります。	
	凍結のおそれがある地域では、凍結防止工事を行う 凍結すると器具の一部が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	手洗器等、器具周囲のすきま処理は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する 水が浸入し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。	

2.取り付け前のご注意

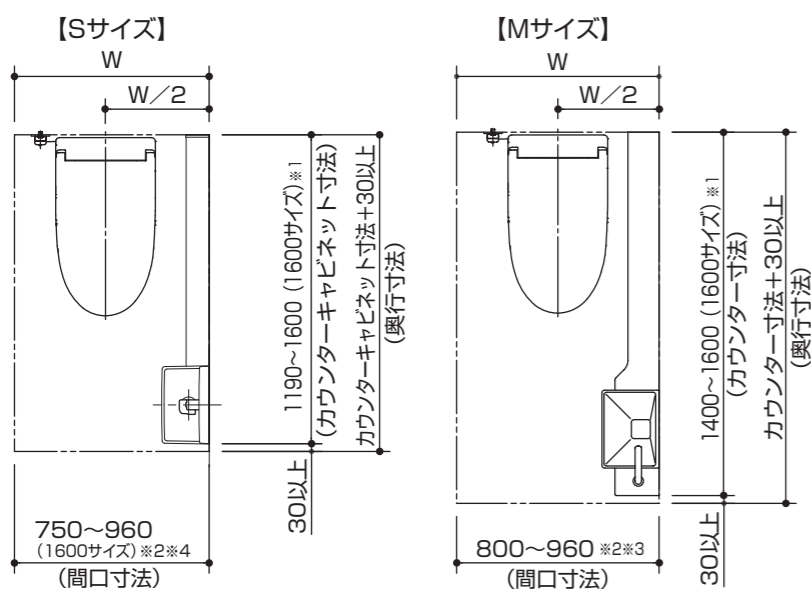
取り付け前の確認

左右抜きの場合、排水ジョイント(HP82S)を別途手配ください。

- 取り付けに必要なトイレスペースを確保する
▶P.6「設置寸法」参照
※ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- 室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150mm以上の空間を確保する
※壁が変色する原因となります。
- AHタイプの場合、窓枠・棚・収納キャビネットなどと便ふたの干渉に注意する
※便ふたが当たって開ききらないことがあります。
棚、収納キャビネットは下端FL+1400mm以上を目安としてください。
- 商品への通電および漏水確認は本説明書に準じて行う
- 給水ホースの先端接続部にキズを付けないようにする
- 定格電源、定格消費電力は下表を参照
※AC100V 50/60Hz共通です。
- 給水取出位置・排水管位置およびコンセント位置が所定の位置であることを確認する
※ウォシュレット用電源コードの長さは約1m、自動水栓用電源コードの長さは2.9mです。
コンセントはこの長さに適した所定の位置に設置しているか確認してください。
- 給水圧力
最低必要水圧：0.05MPa(流動10L/min)
最高水圧：0.75MPa(静止時)
この圧力範囲で使用してください。
- ボードアンカーは、引抜強度200N以上のものを使用する

定格消費電力	AH2W・RH2W	AH1・RH1・RH0	DH2・DH1
一般地 (流動方式兼用)	1381W	1281W	1269W

1 設置寸法



カウンタータイプ(Sサイズ)1600サイズで間口800mm以上必要となるトイレ奥行寸法

大便器給排水タイプ	トイレの奥行寸法
壁排水	~1317
壁排水リモデル	~1342

※1 使い勝手に応じて手洗器位置を設定し、トイレ奥行き寸法に合わせて任意の長さにカットすることができます。カットしてご利用の際は、周辺機器との取り合いを十分確認してください。

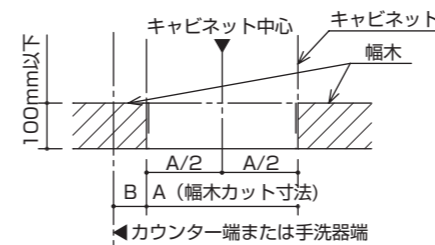
※2 手洗器が右手でウォシュレット機能AH2W、RH2Wを選ぶ場合、間口860mm以上必要となります。

※3 便器中心からカウンター側の横壁まで400mm、便器中心からカウンターと反対側の横壁まで375mmを確保できる場合は、間口775mmから対応できます。

※4 トイレ奥行寸法が左表の範囲の場合、間口800mm以上必要となります。ただし便器中心からカウンター側の横壁まで400mm、便器中心からカウンターと反対側の横壁まで375mmを確保できる場合は、間口775mmから対応できます。

2 幅木

- 下図のように、あらかじめ幅木をカットしておく必要があります。
※キャビネットをカットすることもできます。その場合、幅木のカットは不要です。



手洗器	A	B
Sサイズ	287	9
Mサイズ	440	5

3 電気配線

大便器・自動水栓用

警告

電源コンセントは水や小水がかからない位置に設置する
電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。

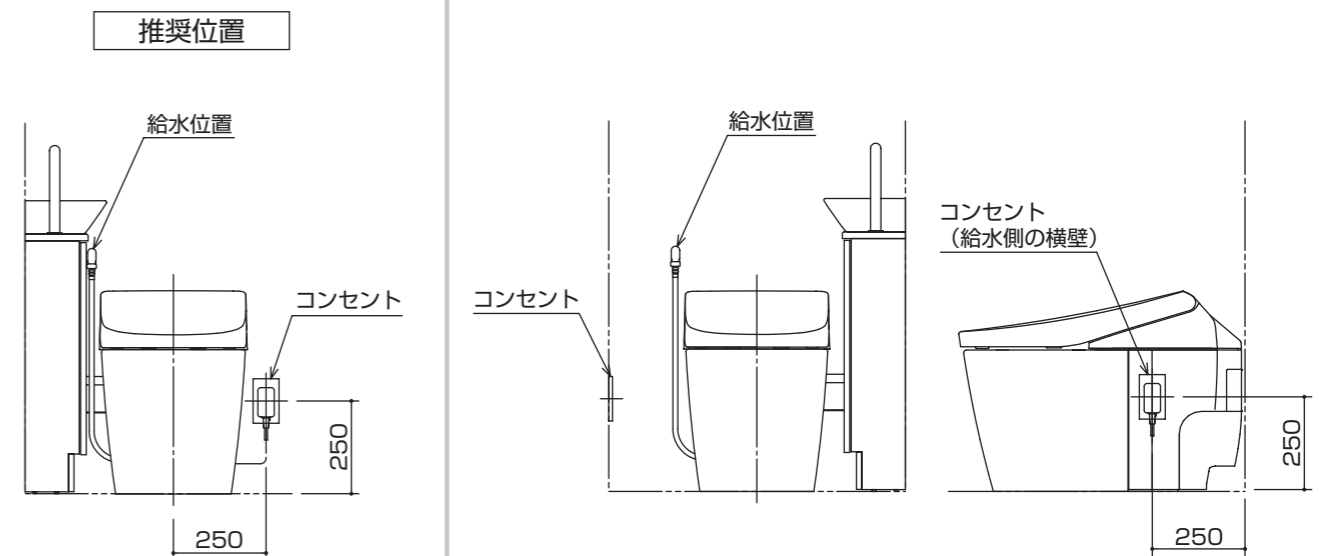


壁給水や露出された排水管の真下部に電源コンセントを設置したり、ウォシュレット用のホースと電源コンセントを接触させない

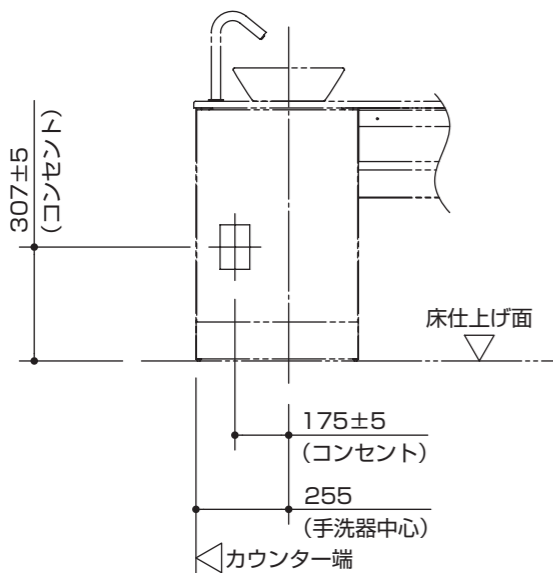
結露水などにより、電源コンセントに水がかかり感電・発火の危険性があります。

コンセント設置位置は、便器を挟んで給水位置と反対側、もしくは横壁に設置してください。ただし、給水位置と反対側に手洗器がある場合には、給水側の横壁に設置してください。下図に、推奨位置を示しますので、参照してください。なお、コンセントは接地用端子の付いた接地極付の壁埋込式コンセント(自動水栓の場合、接地用端子の付いた接地極付の壁埋込式2口コンセント)を取り付けておいてください。コンセントは付属品として同梱されておりませんので、現場にて手配してください。

給水位置と反対側に手洗器がある場合



電気温水器用 (Mサイズ用)

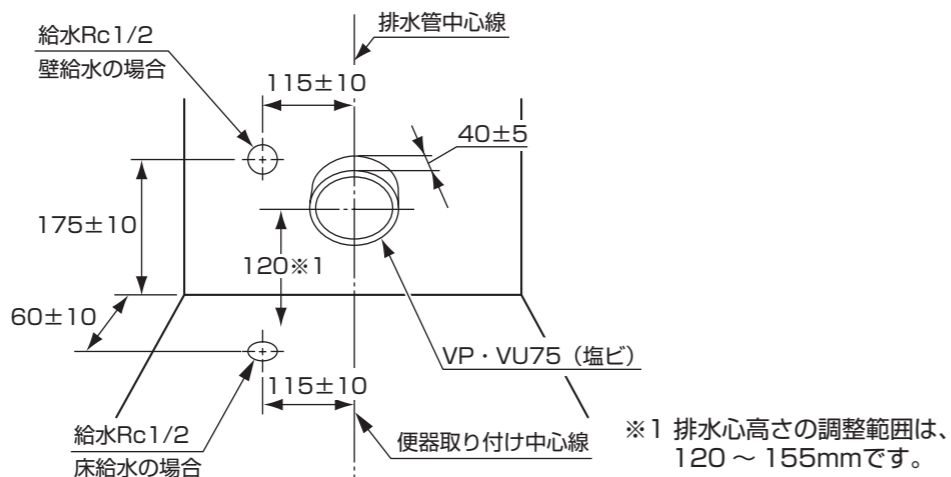


電気温水器付自動水栓の場合は、手洗器キャビネット内に、大便秘器用コンセントとは独立系統で、別途専用配線にて、接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式2口コンセントを取り付けておいてください。コンセントは付属品として同梱されておりませんので、現場にて手配してください。
左図は左勝手の場合です。右勝手の場合は左図と逆勝手になります。

4 給排水位置

後ろ抜き (排水心高さ120mm) 給水隠ぺいタイプ・便器品番：CS987BDP

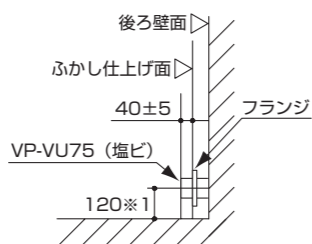
- ・施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。
- ・排水勾配は必ず1/50以上確保してください。
- ・下図の位置に仕上げ面と同一面にRc1/2の給水管を取り出してください。



※1 排水心高さの調整範囲は、120～155mmです。

フランジ付配管の場合

- ・建築側での対応となります。トイレの後ろ壁を下図のようにふかして、フランジ前面と同一面となるように仕上げてください。また、給水位置や各器具の設置位置はふかした仕上げ面を基準に取り付けてください。



※1 排水心高さの調整範囲は、120～155mmです。

後ろ抜きリモデル (排水心高さ120～155mm) 給水露出タイプ・便器品番：CS987BDX

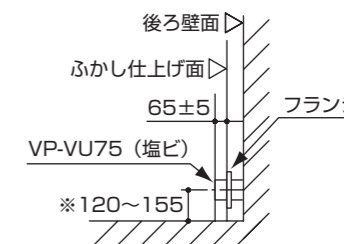
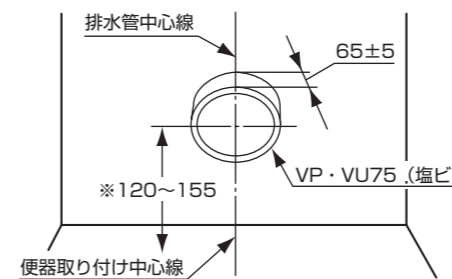
- ・施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。

排水位置

- ・排水勾配は必ず1/50以上確保してください。
- ※100～119mmの場合は別売品のフランジユニット (HP406) および壁フランジ (HP551VP、HP551VU) が必要です。

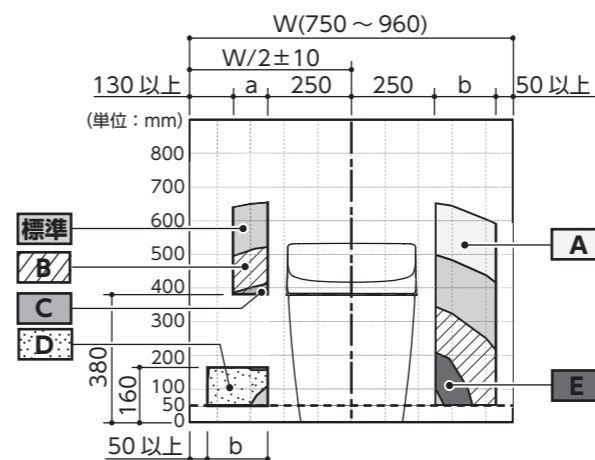
【フランジ付配管の場合】

建築側での対応となります。トイレの後ろ壁を下図のようにふかして、フランジ前面と同一面となるように仕上げてください。また、給水位置や各器具の設置位置はふかした仕上げ面を基準に取り付けてください。

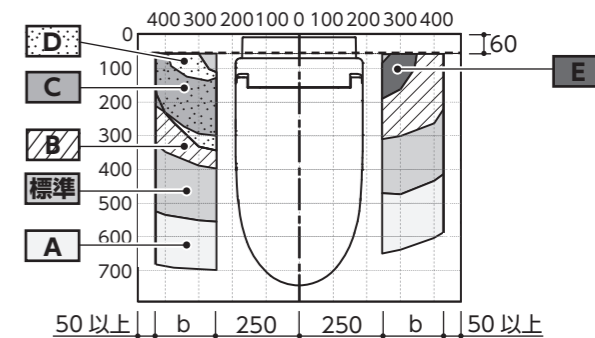
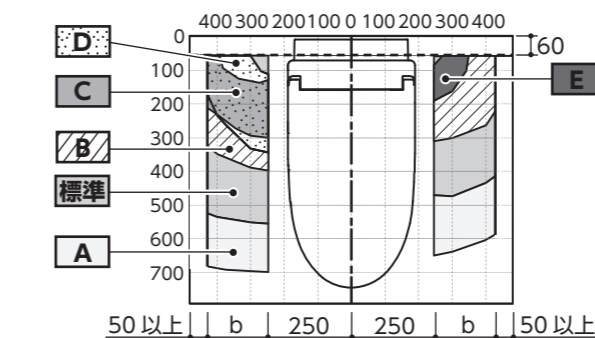
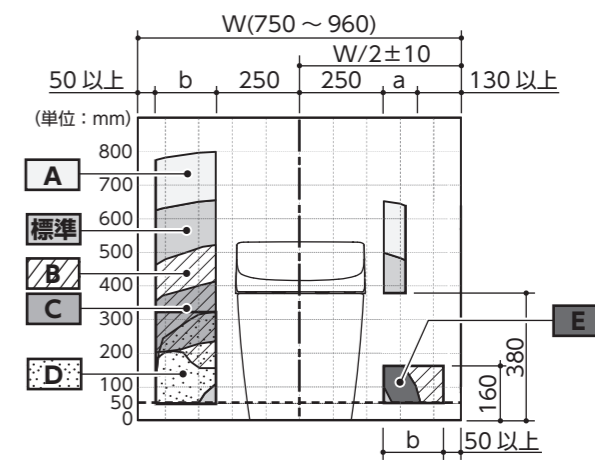


給水位置

【左勝手】



【右勝手】



間口	a寸法	b寸法
750～760	0	W/2-300
761～960	W/2-380	W/2-300

単位 (mm)

標準	オプション給水ホース	B	C	D	E
リモデル標準給水ホース 止水栓範囲(700mm)	860mm TN111L86 ¥11,000 (税抜)	550mm TN111L552 ¥12,800 (税抜)	450mm TN111L45 ¥10,500 (税抜)	400mm TN111L40* ¥13,000 (税抜)	370mm TN111L37* ¥12,000 (税抜)

※1 エルボが同梱されており。 ※2 長さ調整用の継手が同梱されており。

2 取り付け前のご注意

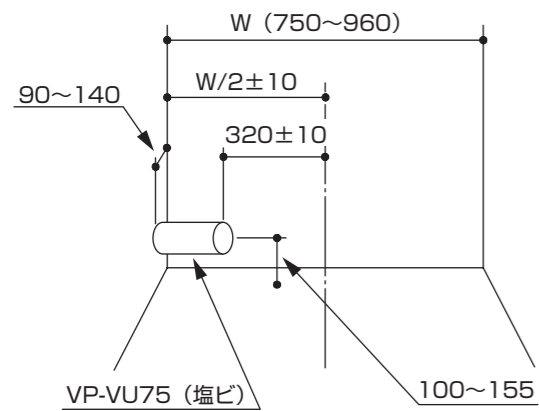
2 取り付け前のご注意

左右抜きリモデル（排水心高さ100～155mm） 給水露出タイプ・便器品番：CS987BDX

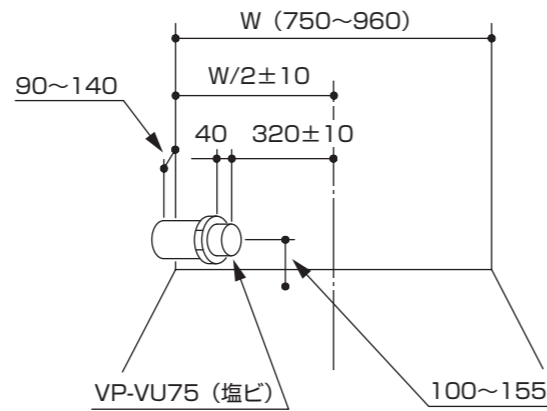
・施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。

排水位置

・下図は左抜きの場合を示します。右抜きの場合は左右反転となります。
別売品の排水ジョイント（HP82S）が必要です。

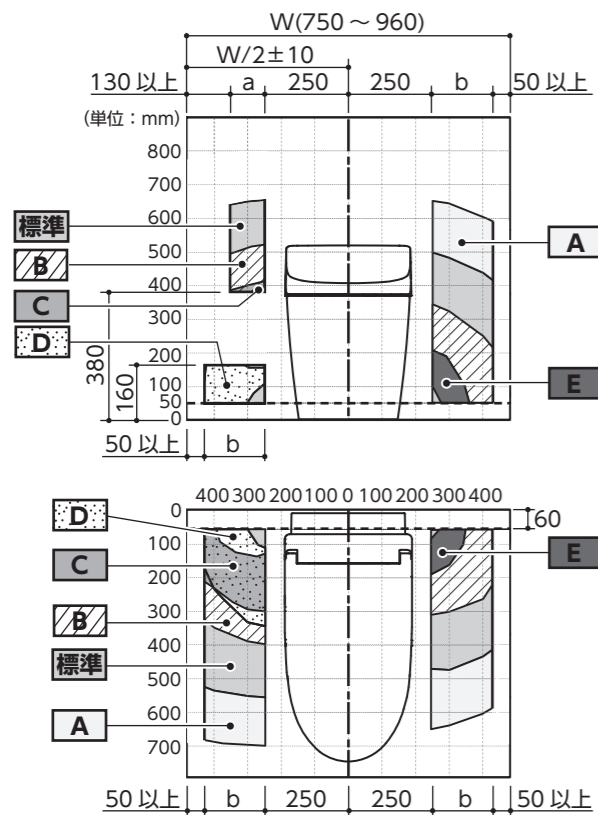


【フランジ付配管の場合】

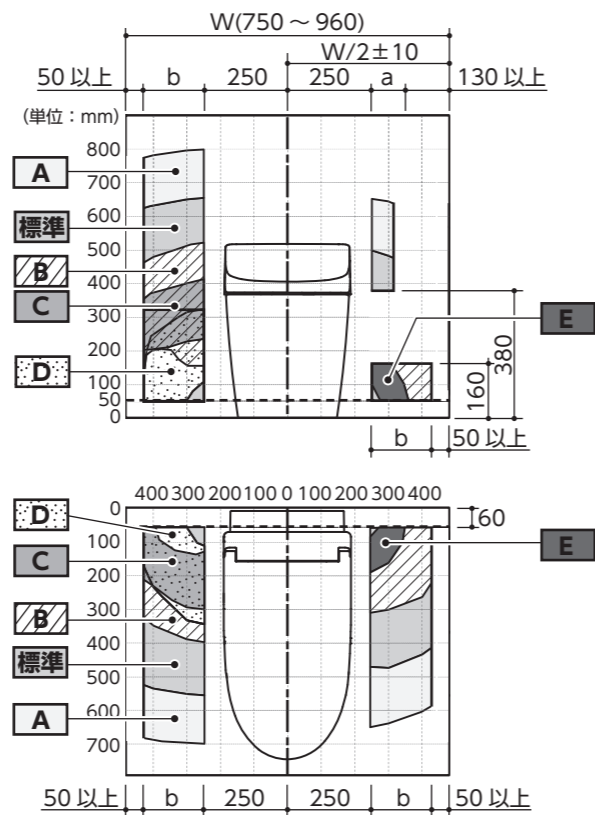


給水位置

【左勝手】



【右勝手】



間口	a寸法	b寸法
750~760	0	W/2-300
761~960	W/2-380	W/2-300

単位 (mm)

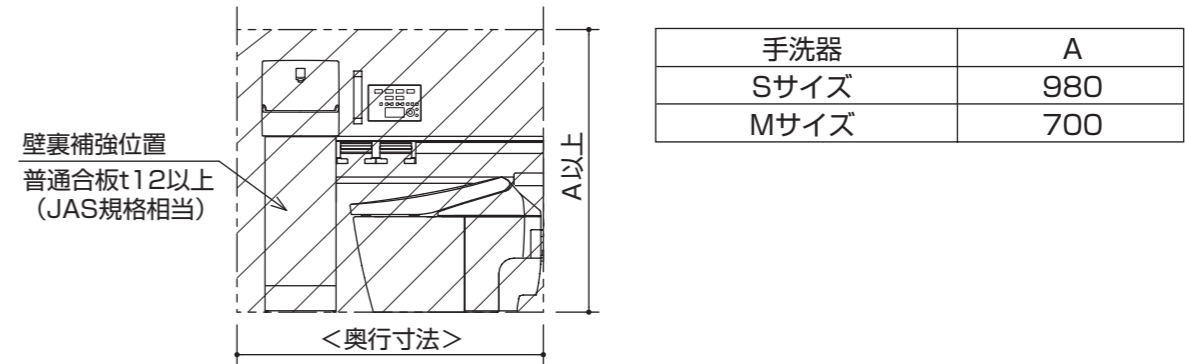
標準	A	B	C	D	E
リモデル標準給水ホース 止水栓範囲(700mm)	860mm TN111L86 ¥11,000 (税抜)	550mm TN111L552 ¥12,800 (税抜)	450mm TN111L45 ¥10,500 (税抜)	400mm TN111L40* ¥13,000 (税抜)	370mm TN111L37*2 ¥12,000 (税抜)

*1 エルボが同梱されております。 *2 長さ調整用の継手が同梱されております。

5 補強

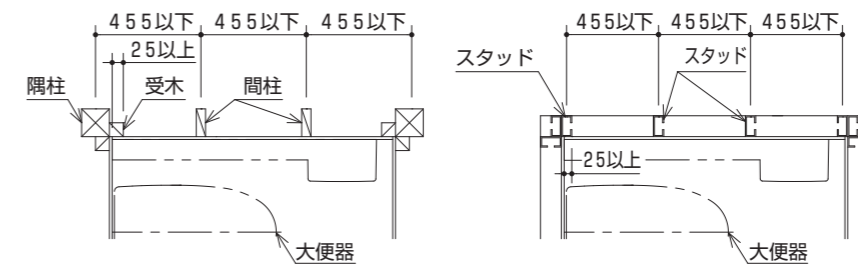
ねじ位置については下記URL内の「ねじ位置情報」をご覧ください。
【URL】
<http://search.toto.jp/contents/navi/construction/wl/default.htm>

- ・手洗器およびカウンター、周辺部材の壁固定ねじ取り付け位置には、補強材として普通合板t12以上を壁面に入れておいてください。JAS規格相当の合板を使用してください。
- ・タイル、コンクリート壁の場合は、壁固定位置に下穴を明け、木ねじ用プラグを打ち込んでおいてください。



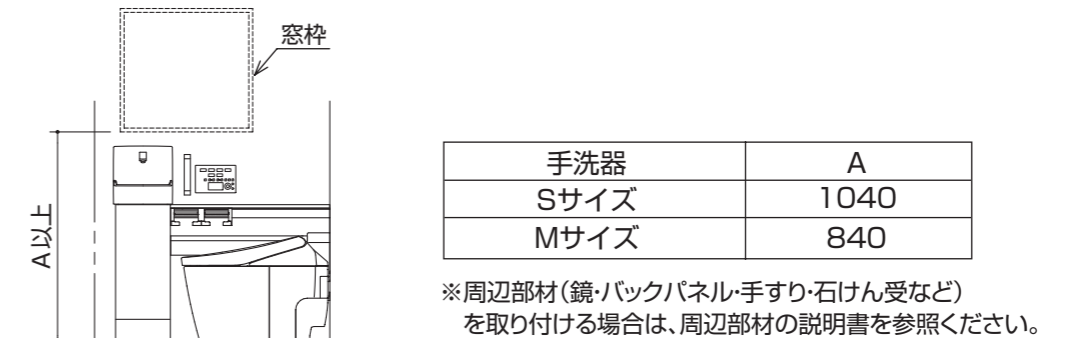
壁裏補強なしの場合

・間柱および受木、もしくは軽量鉄骨(スタッド)にカウンターを固定します。下図のように、カウンター取り付け面に、455mmピッチ以下で、間柱および受木、もしくは軽量鉄骨(スタッド)があることを確認してください。また、柱以外の壁面には、ボードアンカー(オプション:品番UGA490B)を使用してください。



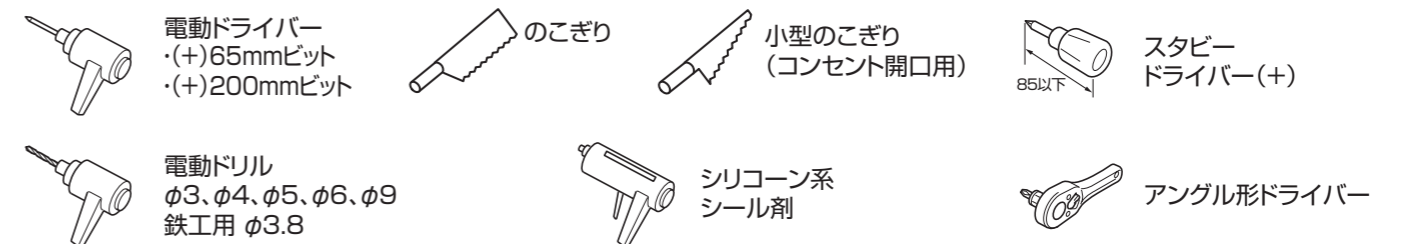
6 窓枠

・窓がある場合、下図のような制約が付きます。事前に製品と干渉しないように注意してください。



7 必要工具

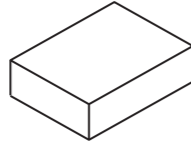
※一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具を用意してください。



3.部品の確認

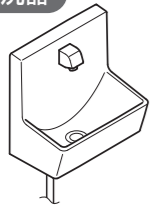
・専用の施工説明書が同梱されている商品は、外装箱のみ表記しています。

ウォシュレット(共通部品)



Sサイズ 手洗器セット

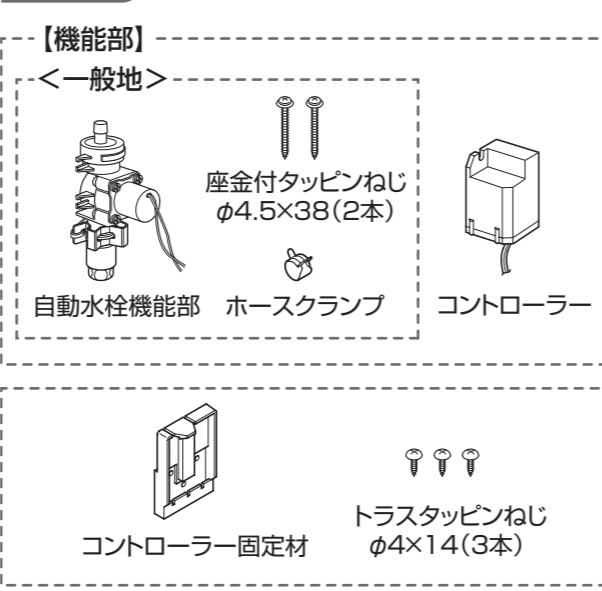
手洗器



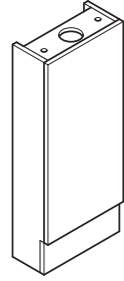
施工部材セット



自動水栓

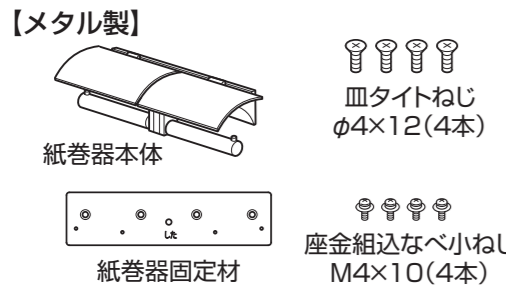


キャビネット

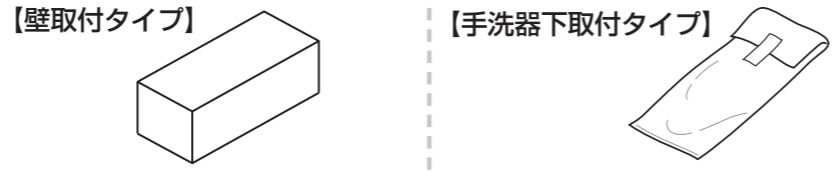


キャビネット本体

紙巻器(紙巻器がつく場合)

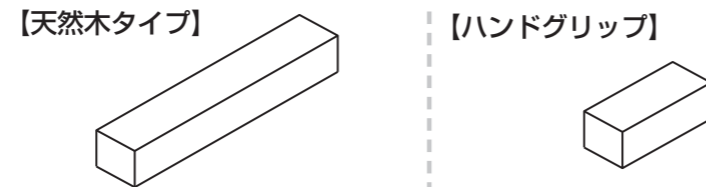


タオル掛け(タオル掛けがつく場合)

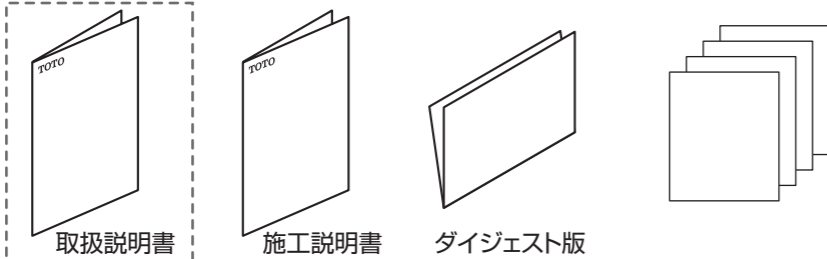


手すり(手すりがつく場合)

※コンテンポラリータイプ・メタルタイプは別の包装箱となります



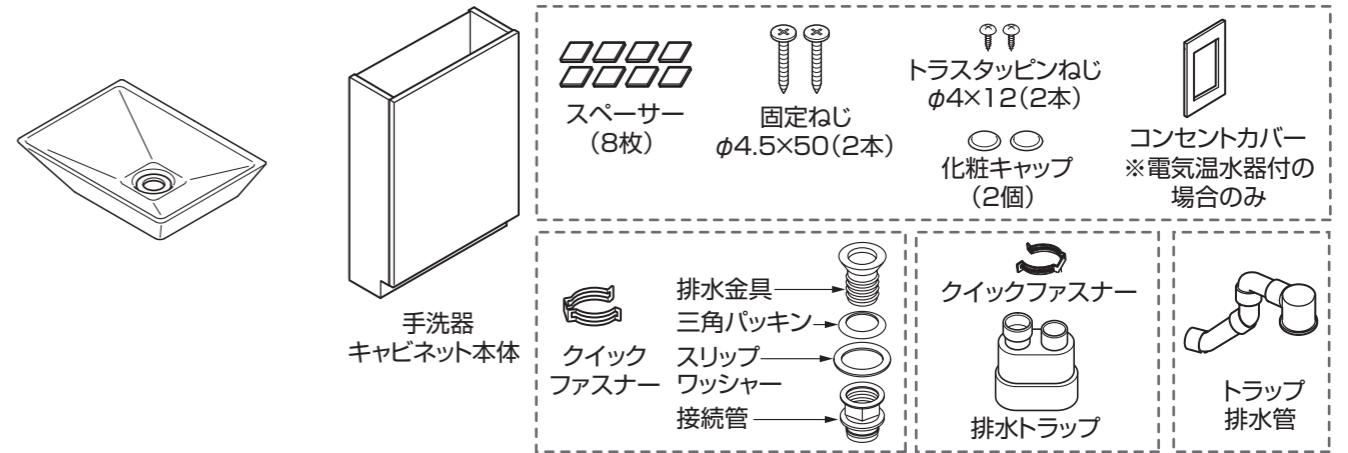
説明書



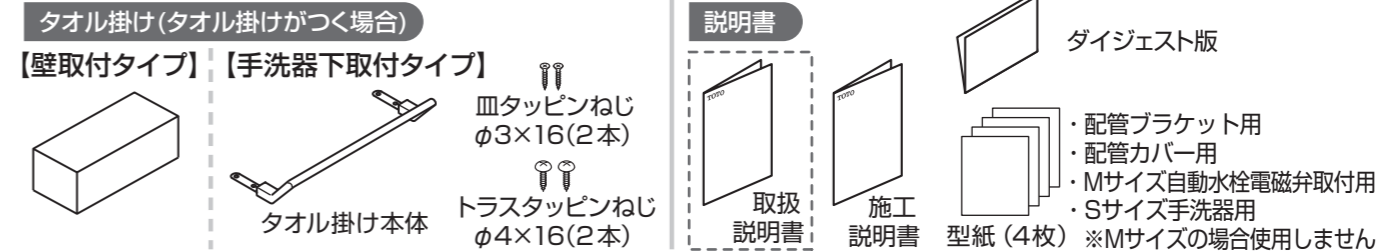
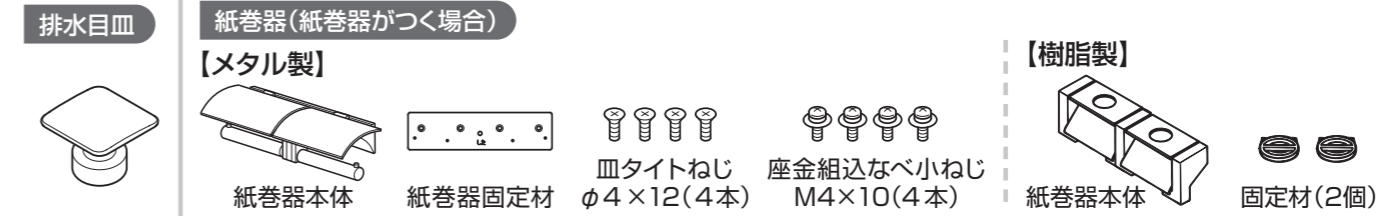
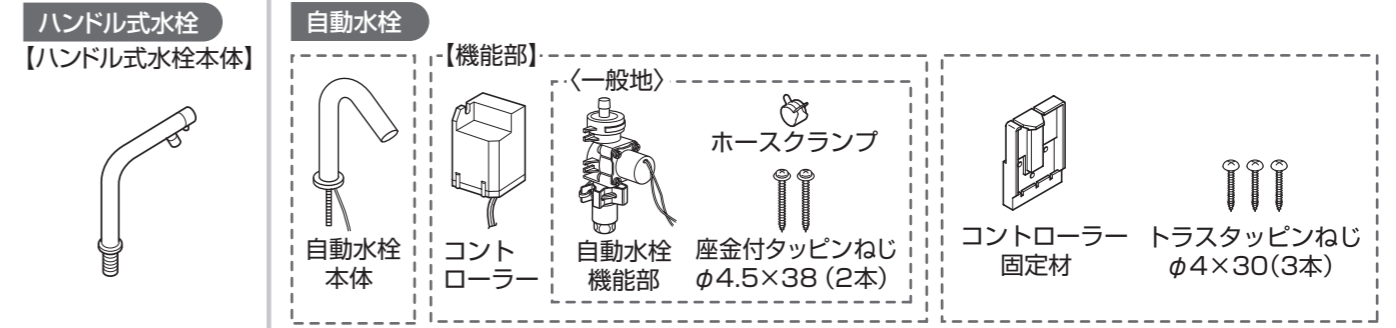
型紙(4枚)
・配管ブラケット用
・配管カバー用
・Mサイズ自動水栓電磁弁取付用
※Sサイズの場合使用しません。
・Sサイズ手洗器用

Mサイズ 手洗器

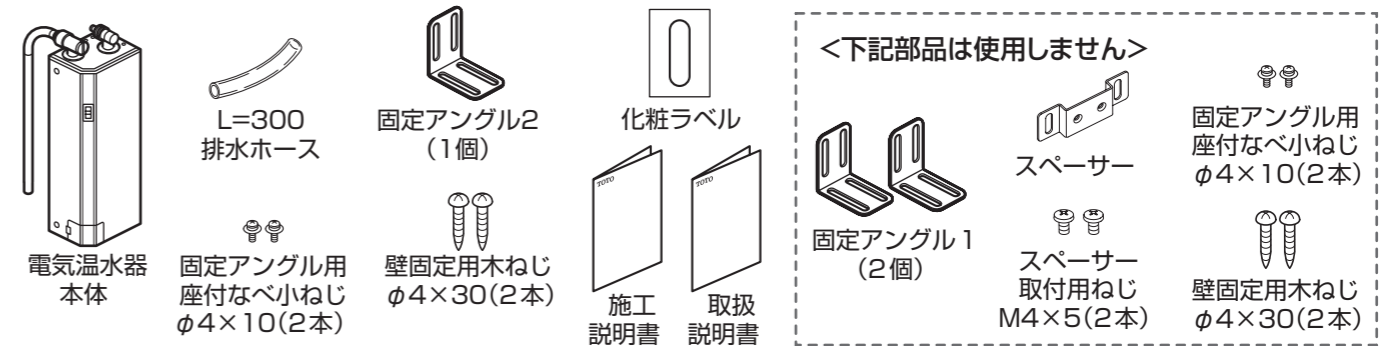
Mサイズ キャビネット



Mサイズ 水栓金具他



電気温水器(電気温水器付の場合)

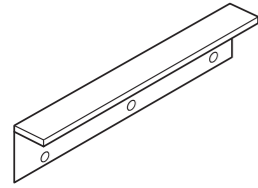


<下記部品は使用しません>
固定アンクル用座付なべ小ねじ φ4×10(2本)
固定アンクル1(2個)
スペーサー
スペーサー取付用ねじ M4×5(2本)
壁固定用木ねじ φ4×30(2本)

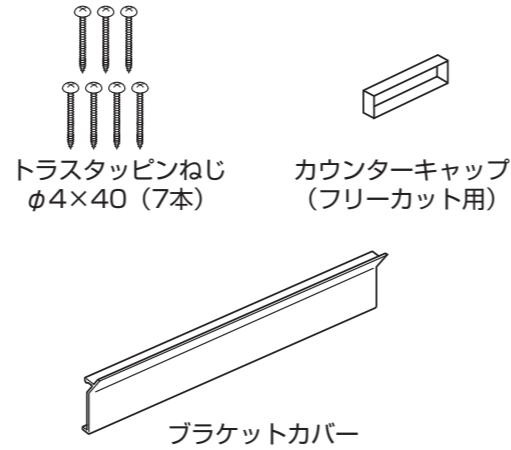
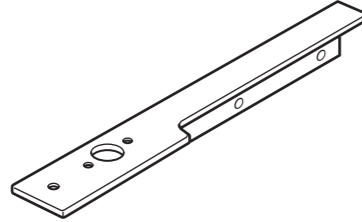
手洗器カウンターセット

カウンターセット

【Sサイズの場合】

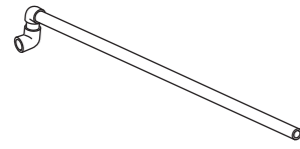


【Mサイズの場合】



配管部材セット

後ろ抜き (排水心高さ120mm)
給水隠ぺいタイプ・便器品番: CS987BDP



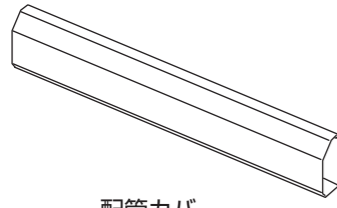
手洗排水横引管

後ろ抜きリモデル (排水心高さ120~155mm)
給水露出タイプ・便器品番: CS987BDX

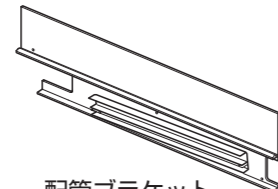
左右抜きリモデル (排水心高さ100~155mm)
給水露出タイプ・便器品番: CS987BDX



手洗排水ホース



配管カバー



配管ブラケット

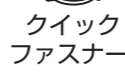
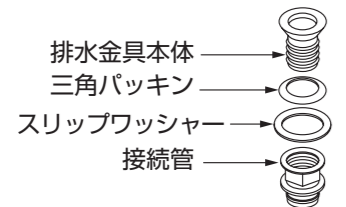


面ファスナー (1個)



トラスタッピンねじ
φ4×40 (3本)

【Sサイズの場合】



クイック
ファスナー



排水トラップ

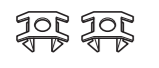


クイック
ファスナー



トラップ排水管

手洗器固定金具セット (Mサイズの場合)



手洗器固定金具
(2個)



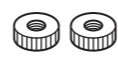
ワッシャー
(2個)



取付ボルト
(2本)



クッション材



取付ナット
(2個)

後ろ抜き (排水心高さ120mm) 給水隠ぺいタイプ・便器品番: CS987BDP

大便器



便器本体



すっきりパネル(左)



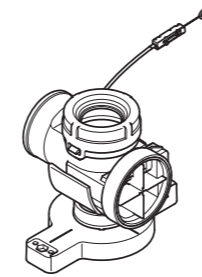
すっきりパネル(右)



開閉工具
※すっきりパネル裏側に
張り付けてあります。

排水ソケットセット他

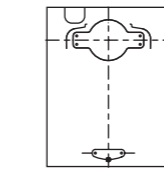
排水ソケットセット



排水ソケット



ゴムジョイント



位置決めシート



固定片



接着ブロック



六角ボルト
(2本)



止め金具
(2個)



ナット
(2個)



座金
(2個)



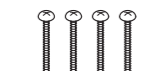
バンド(2個)



ふさぎシート
※使用しません



トラスタッピンねじ
φ6×40 (2本)



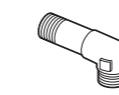
トラスタッピンねじ
(排水ソケット用)
φ5×50 (4本)

給水金具セット

※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)
を取り付けてください。



フィルター付
止水栓



エルボ(短)
(壁給水用)



ストレート管
(床給水用)



パッキン
(2個)



分岐金具
(手洗器用)

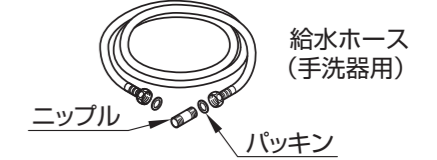


分岐金具
(便器・ウォシュレット用)



ふさぎシート
(1枚)

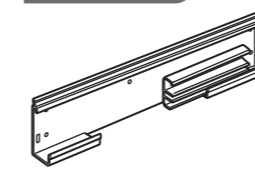
給水ホース



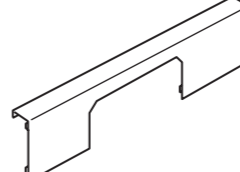
※手洗器Mサイズハンドル式水栓の場合



排水管セット



配管ブラケット(間口側)



配管カバー(間口側)



袋ナット



三角パッキン



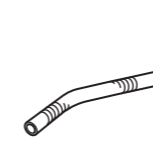
45°エルボ



支持アングル



ホースクランプ(4個)



手洗排水ホース



配管カバー(縦)



配管カバー
エンドキャップ



ボードアンカー(9本)

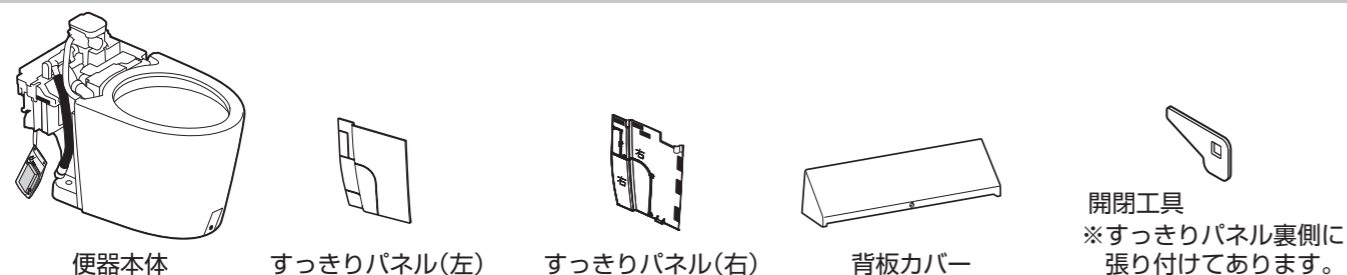


トラスタッピンねじ
φ4×40 (11本)

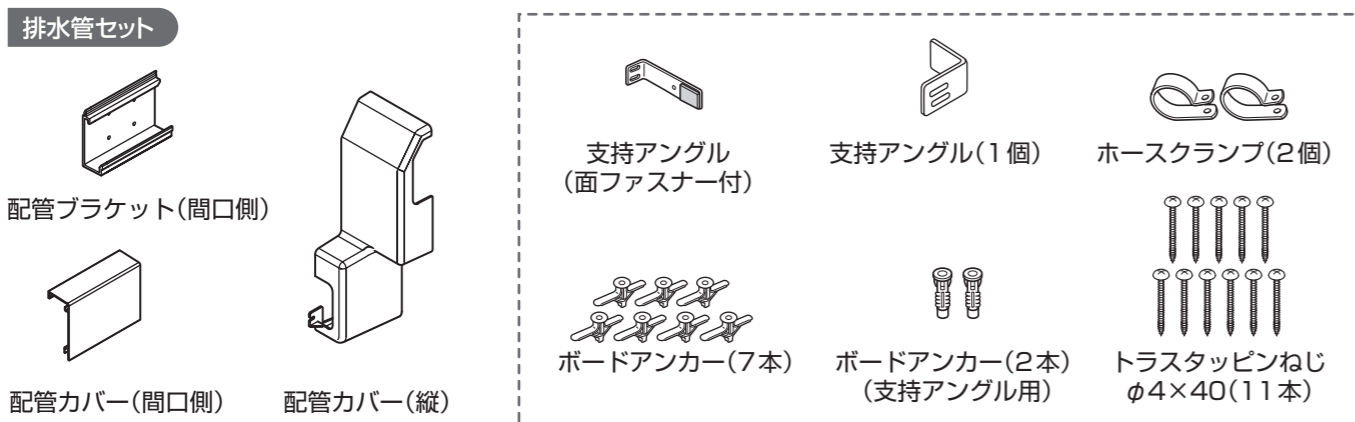
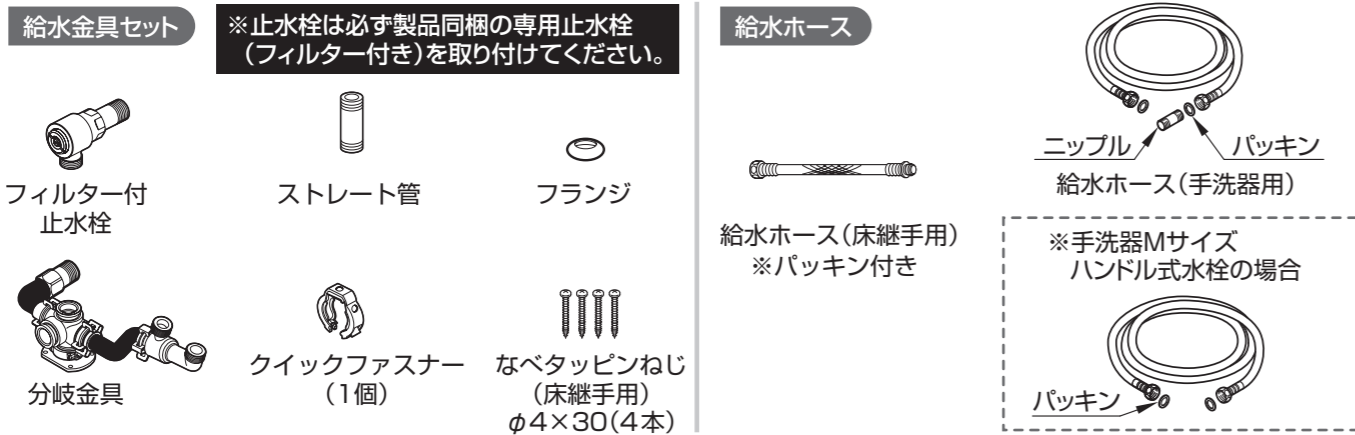
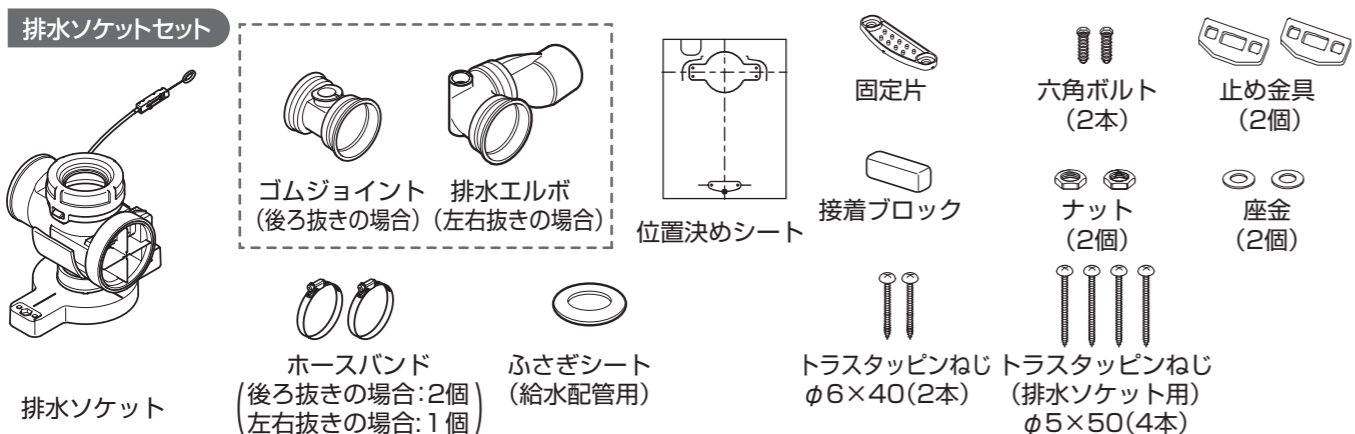
後ろ抜きリモデル(排水心高さ120～155mm)給水露出タイプ・便器品番:CS987BDX

左右抜きリモデル(排水心高さ100～155mm)給水露出タイプ・便器品番:CS987BDX

大便器



排水ソケットセット他



手順編

1.給水・排水部

給水タイプ	給水隠ぺい	給水露出
	▶18	▶20

2.手洗器キャビネット・カウンター

手洗器サイズ	Sサイズ	Mサイズ
	▶26	▶29

3.手洗給水・排水管

給水タイプ	給水隠ぺい	給水露出
	▶32	▶35

4.手洗器

手洗器サイズ	Sサイズ	Mサイズ
	▶38	▶42

5.手動レバー

▶46

6.大便器

▶47

7.ウォシュレット

▶48

8.確認・仕上げ

▶49

マーク表示について

- 手締めて** 電動ドライバー使用禁止です。手締めしてください。
- 下穴** 下穴をあけてください。(例:φ3の場合)
- ボードアンカー** ボードアンカーを差し込んでください。

- シール** シールテープを巻いてください。
- カット** カットしてください。

- けがき** けがきをしてください。
- 水平確認** 水準器で水平確認してください。

後ろ抜き 後ろ抜きリモデル 左右抜きリモデル

1. 給水・排水部

給水隠ぺいタイプ
便器品番:CS987BDP

「給水露出タイプ」の場合
P.20を参照してください。

1 排水ソケット取付位置
のけがき

▶P.18

2 止水栓・分岐金具
の取り付け

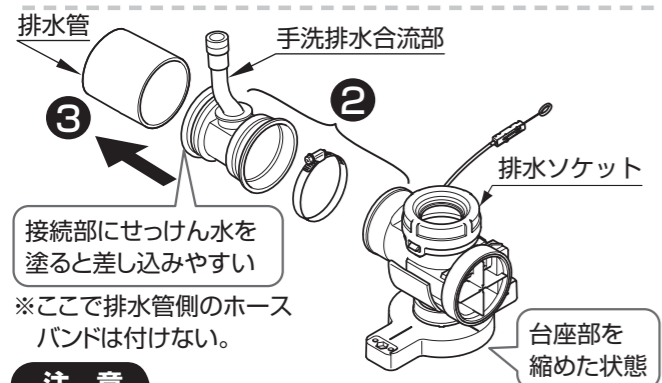
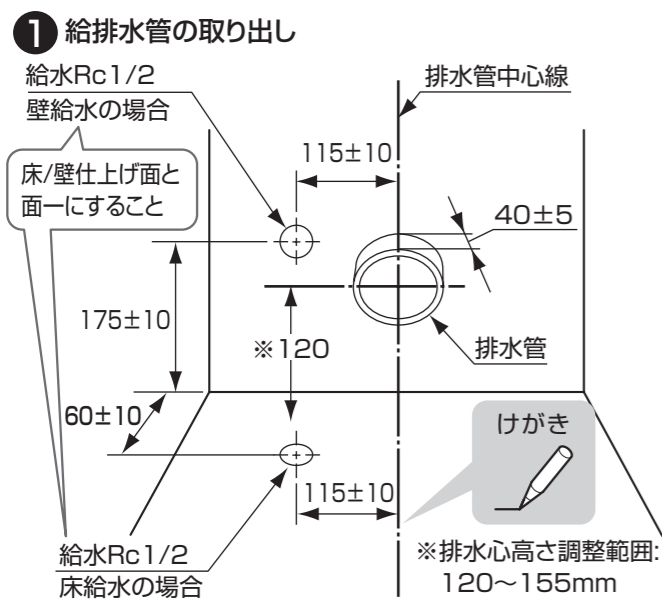
▶P.19

3 排水ソケットの取り付け

▶P.19

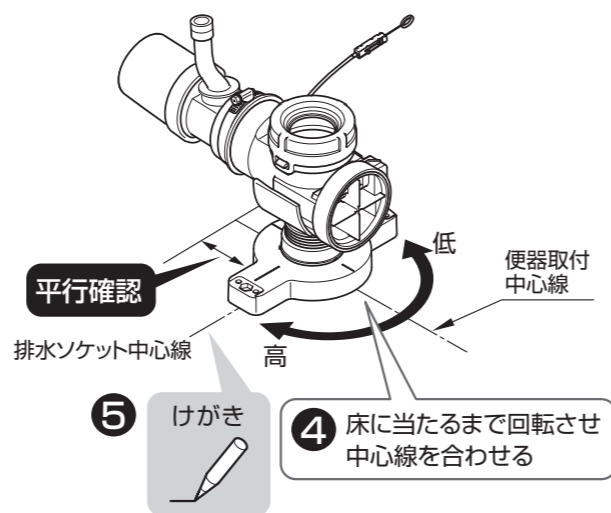
後ろ抜き (排水心高さ120mm)

1 排水ソケット取付位置のけがき

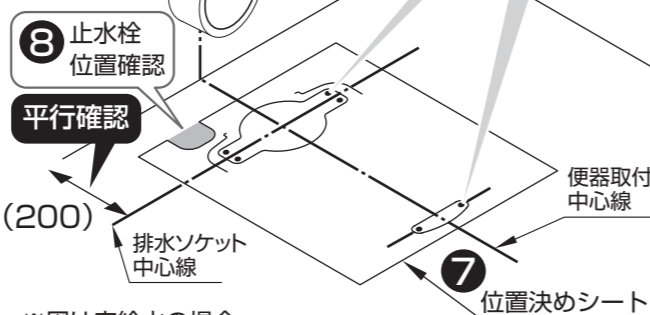
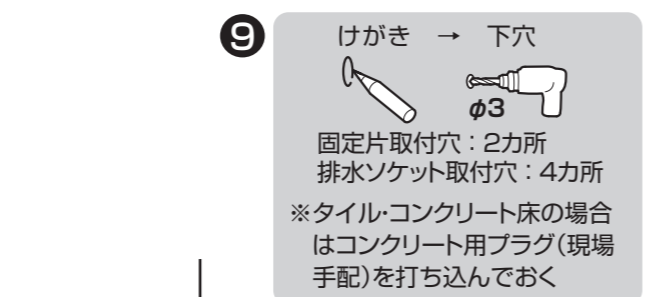


注意
手洗排水合流部が真上になるように接続する
排水の勾配が確保できないおそれがあります。

注意
バンドは手締めにてしっかり締め付ける
電動ドライバーで締め付けると、ゴムジョイントが破れ水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

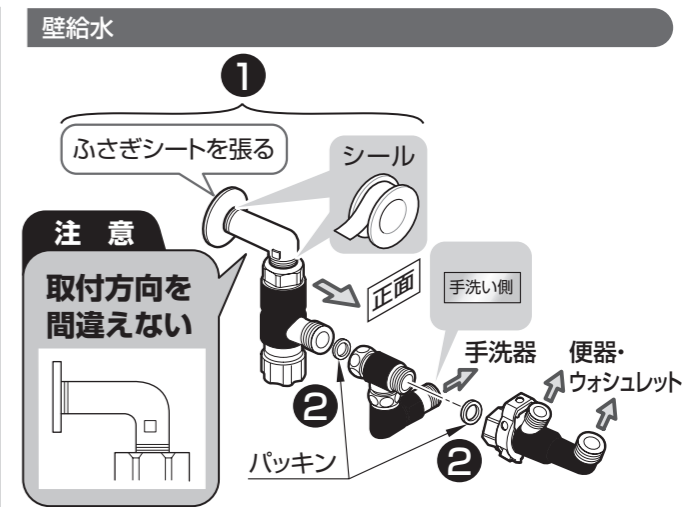
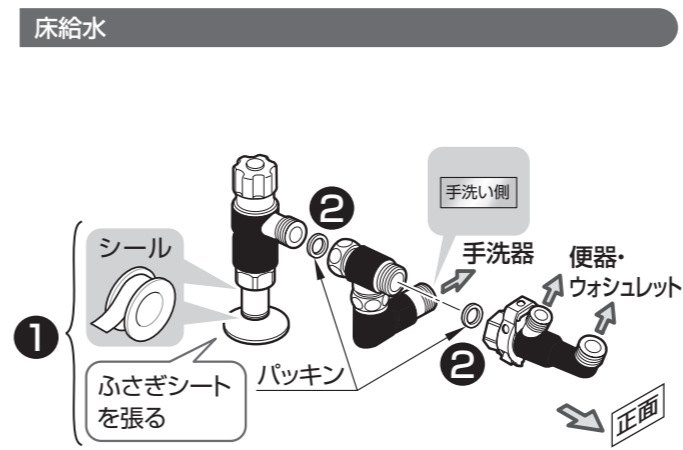


6 排水ソケットをいったん外す



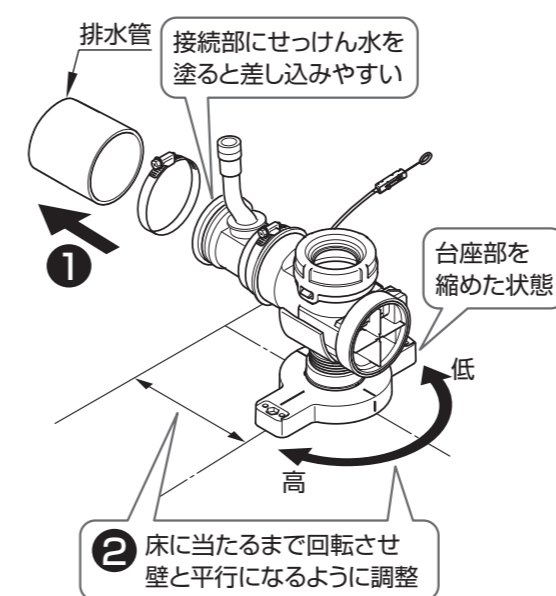
※図は床給水の場合
※寸法出しは後壁から(幅木からではありません)。
※給水位置が適切でないと止水栓が製品に干渉することがあります。

2 止水栓・分岐金具の取り付け



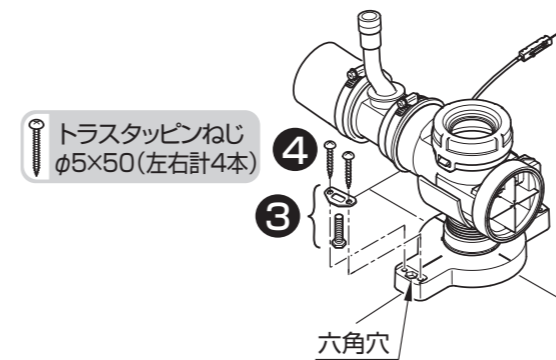
注意
止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください
設置しただけの場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

3 排水ソケットの取り付け



注意
必ず守る
ゴムジョイントによる接続では、逆勾配とならないように注意する
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。

注意
必ず守る
バンドは手締めにてしっかり締め付ける
電動ドライバーで締め付けると、ゴムジョイントが破れ水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。



注意
必ず守る
排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にめ込む
便器がガタつくおそれがあります。

後ろ抜き 後ろ抜きリモデル 左右抜きリモデル

1.給水・排水部

給水露出タイプ
便器品番:CS987BDX

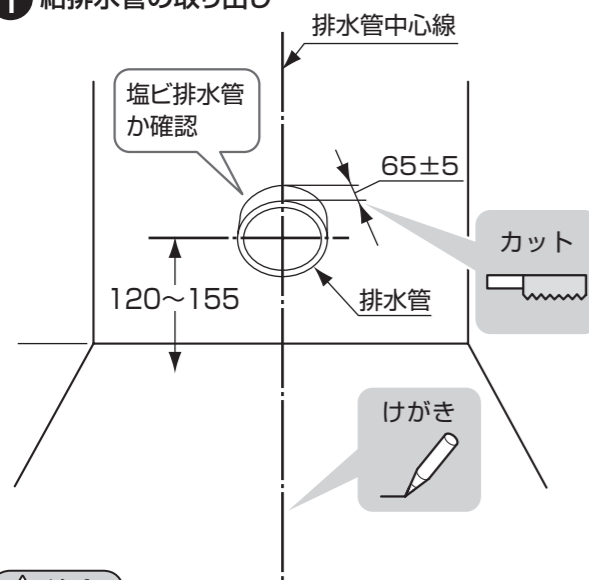
「給水隠ぺいタイプ」の場合
P.18を参照してください。

後ろ抜きリモデル	1 排水ソケット 取付位置のけがき ▶P.20	2 排水ソケット・床継手の 取り付け ▶P.21	3 分岐金具 の取り付け ▶P.22	4 給水ホース の接続 ▶P.22	5 止水栓 の取り替え ▶P.23
	1 排水ソケット 取付位置のけがき ▶P.23	2 床継手の 取り付け ▶P.24	3 分岐金具 の取り付け ▶P.24	4 給水ホース の接続 ▶P.24	5 排水ソケット の取り付け ▶P.24

後ろ抜きリモデル (排水心高さ120~155mm)

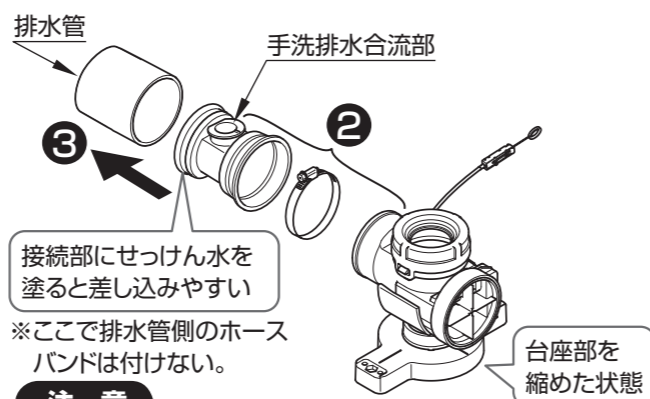
1 排水ソケット取付位置のけがき

① 給排水管の取り出し



注意
既設排水管切断面は、斜めにならないようにカットする
水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

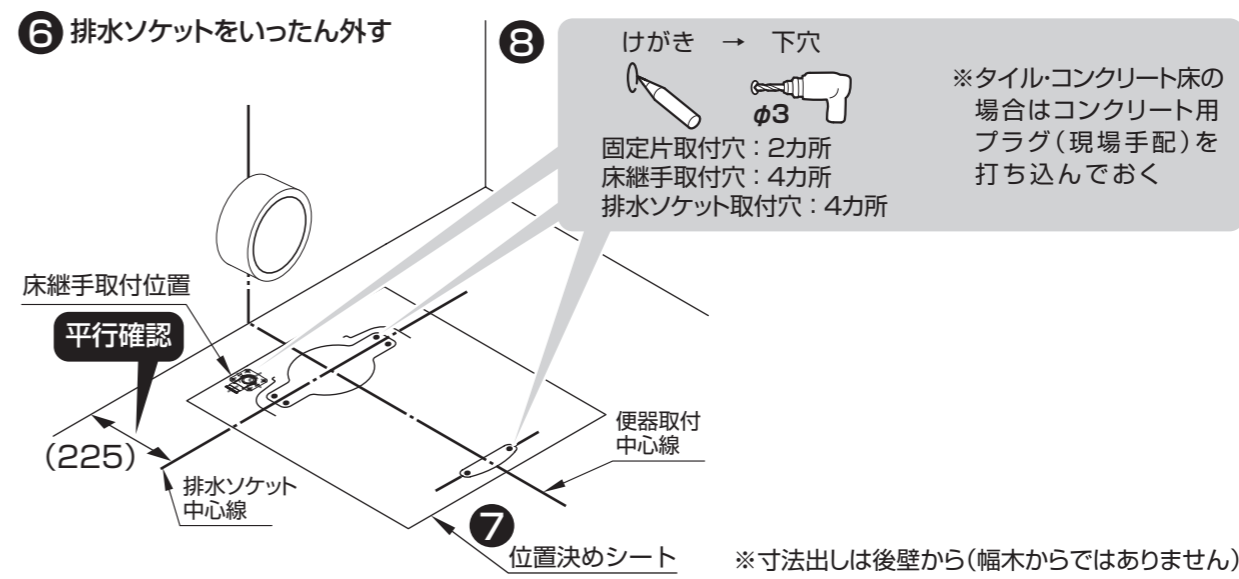
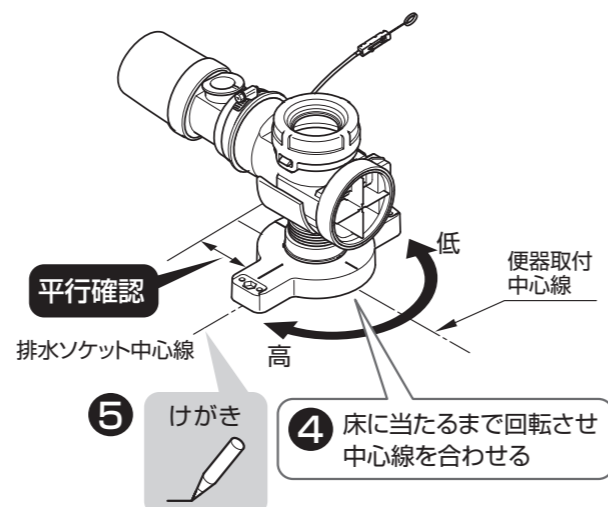
必ず守る
既設排水管切断面のバリなどは、必ず取り除く
水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。



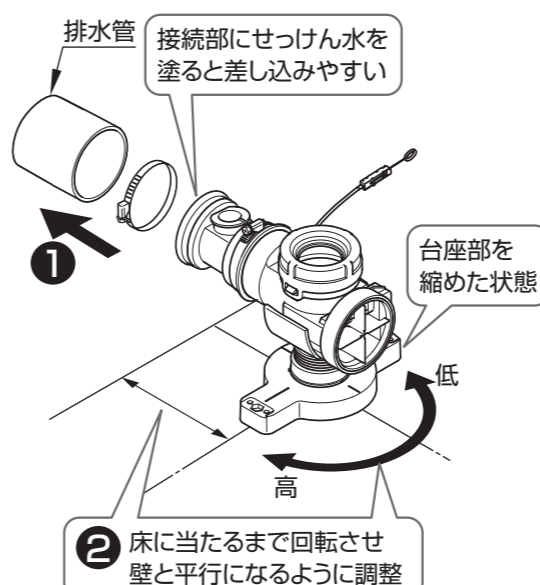
注意
接続部にせっけん水を塗ると差し込みやすい
※ここで排水管側のホースバンドは付けない。

注意
手洗排水合流部が真上になるように接続する
排水の勾配が確保できないおそれがあります。

注意
バンドは手締めにてしっかり締め付ける
電動ドライバーで締め付けると、ゴムジョイントが破れ水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。



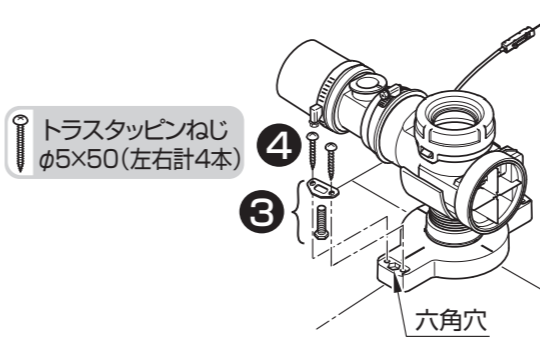
2 排水ソケット・床継手の取り付け



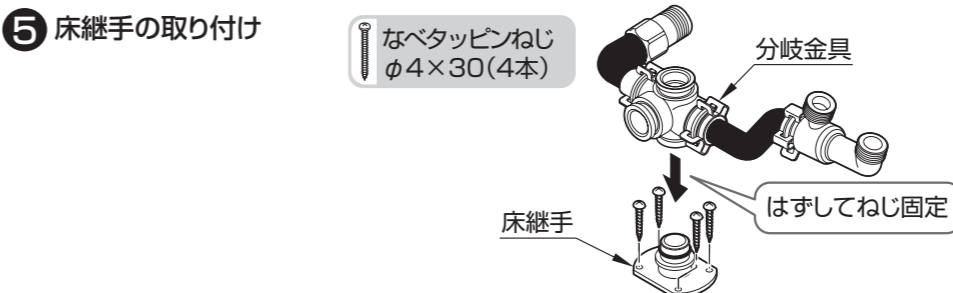
注意
必ず守る
ゴムジョイントによる接続では、逆勾配とならないように注意する
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。

注意
必ず守る
バンドは手締めにてしっかり締め付ける
電動ドライバーで締め付けると、ゴムジョイントが破れ水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

ポイント
ホースバンドの締め付け部は真上にこないようにする



注意
必ず守る
排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にはめ込む
便器がガタつくおそれがあります。

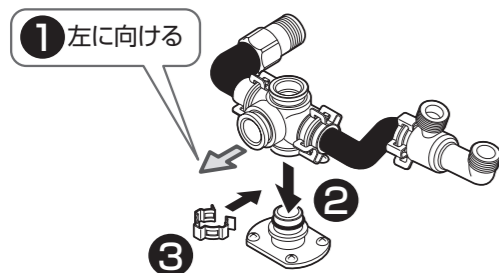


後ろ抜き 後ろ抜きモデル 左右抜きモデル

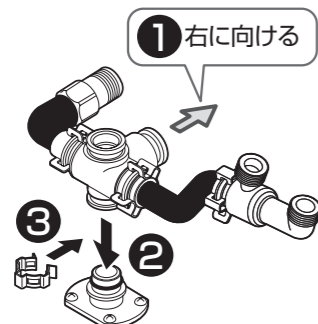
3 分岐金具の取り付け

※インシュロックは切らないでください。

給水位置が左側にある場合

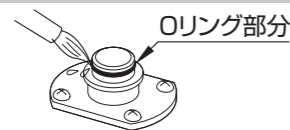


給水位置が右側にある場合

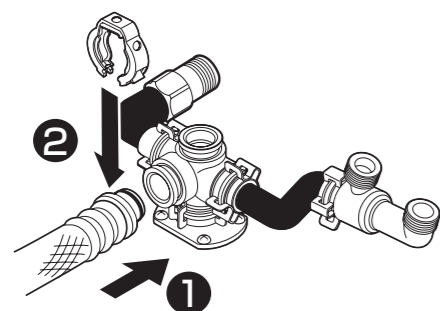


ポイント

リング部分に水をつけると取り付けやすい

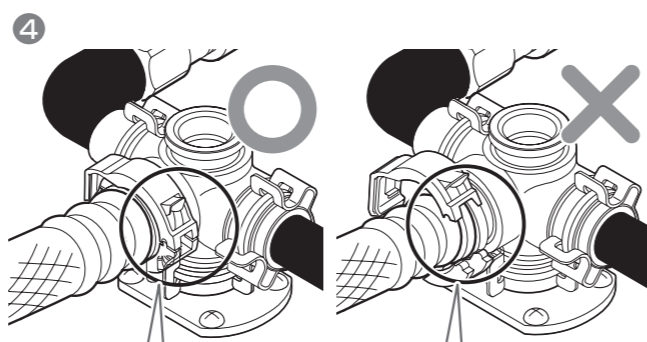
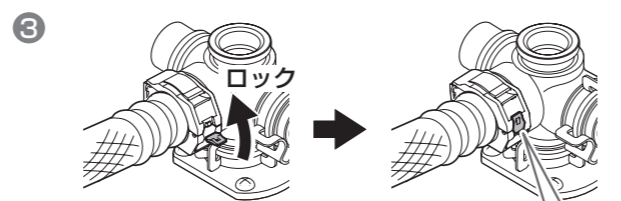
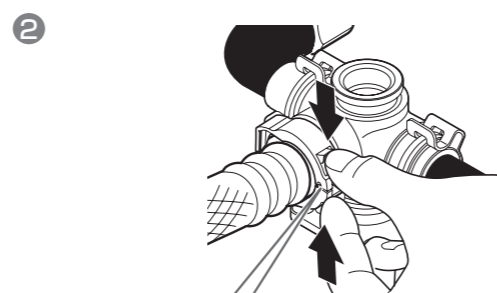
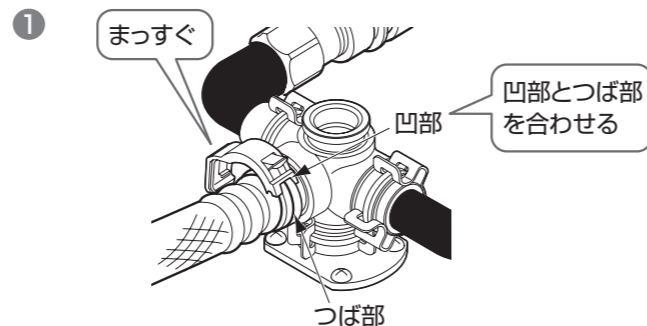


4 給水ホースの接続



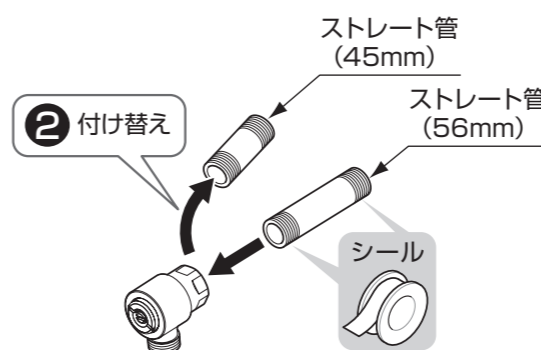
※分岐金具と給水ホースは、便器取り付け時に挟まない位置に取り回しておいてください。

クイックファスナーの取り付けかた



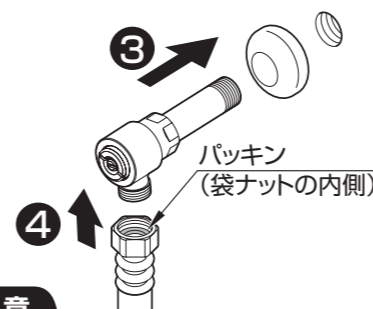
確実に閉まっていることを確認

5 止水栓の取り替え



ポイント

56mmのストレート管に付け替えない場合、配管カバーにあたります。



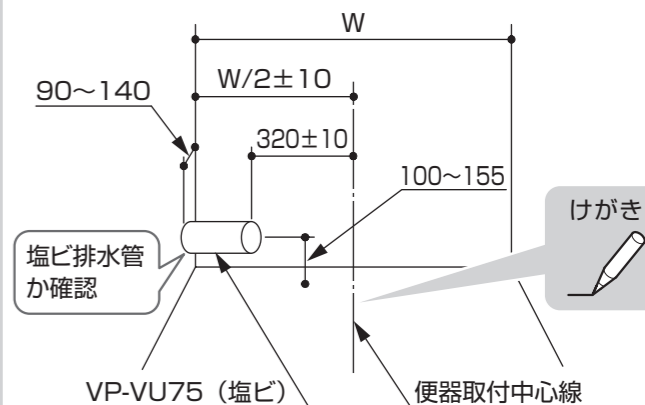
注意

止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓（フィルター付き）を取り付けてください
設置しただけの場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

左右抜きモデル(排水心高さ100~155mm)

1 排水ソケット取付位置のけがき

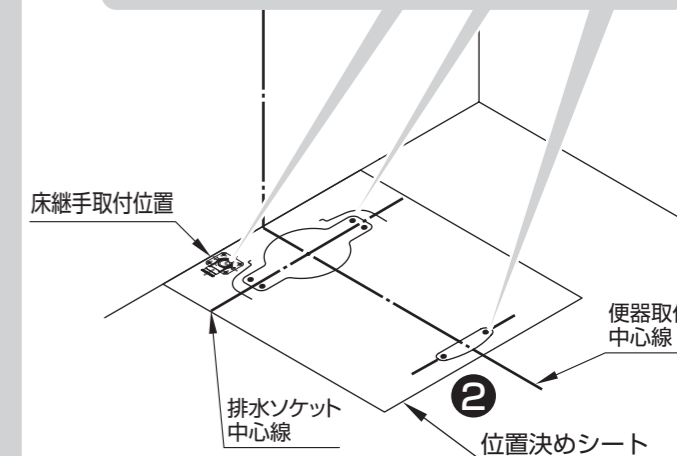
1 給排水管の取り出し



※別売の排水ジョイント(HP82S)を必ず使用してください。

3

けがき → 下穴
固定片取付穴：2カ所
床継手取付穴：4カ所
排水ソケット取付穴：4カ所
※タイル・コンクリート床の場合はコンクリート用プラグ(現場手配)を打ち込んでおく



※寸法出しは後壁から(幅木からではありません)。

注意

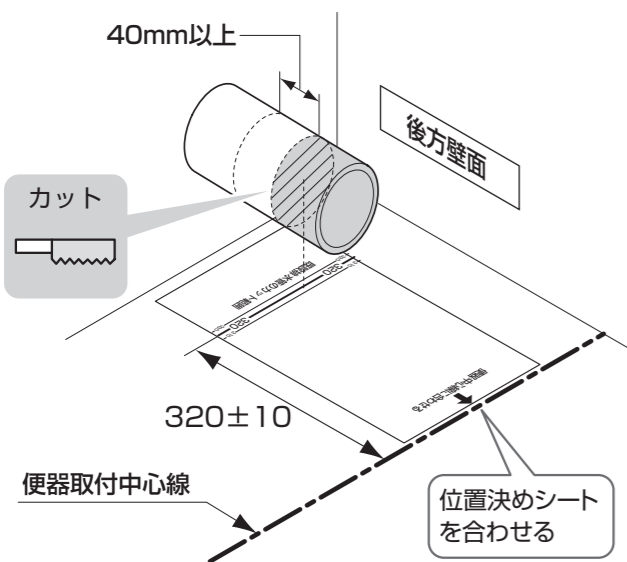
- 分岐金具と給水ホースはすき間ができないように確実に押し込む
 - クイックファスナーは正しく取り付け、目視などで確認する
 - カバーが閉まらない場合は、必ずクイックファスナーを取り外して正しく接続し直す
- 取り付けが不十分な場合、外れて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

必ず守る

MEMO

後ろ抜き 後ろ抜きリモデル 左右抜きリモデル

4 既設排水管の長さ調整



ポイント

排水ジョイントとの接続代は40mm以上確保する

注意

既設排水管切断面は、斜めにならないようにカットする

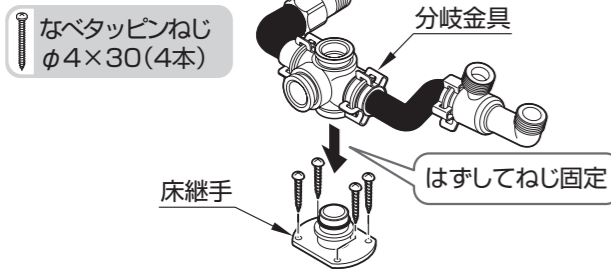
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



既設排水管切断面のバリなどは、必ず取り除く

水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

2 床継手の取り付け



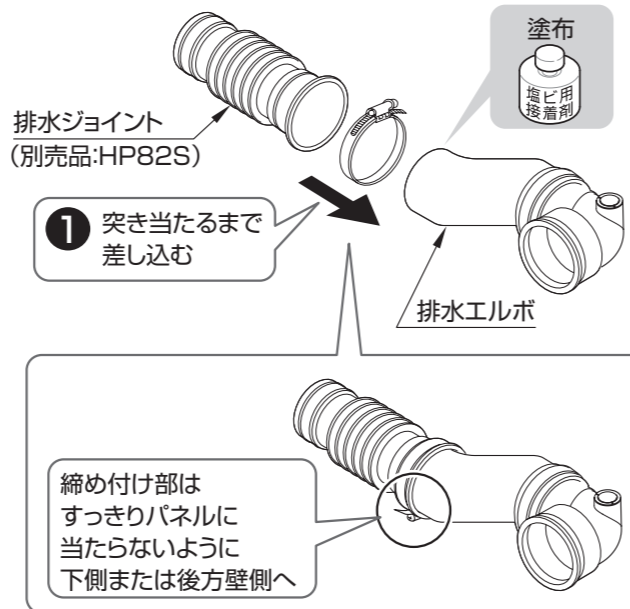
3 分岐金具の取り付け

▶P.22「3 分岐金具の取り付け」

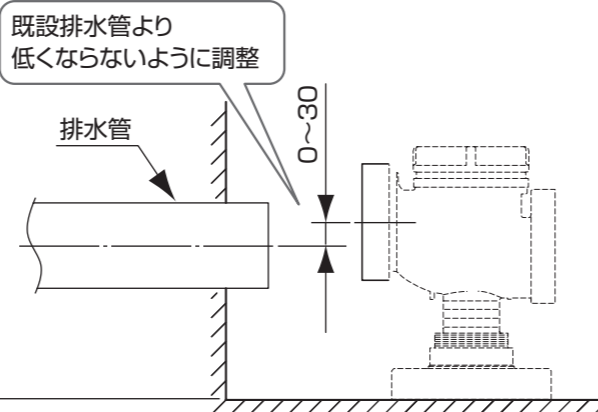
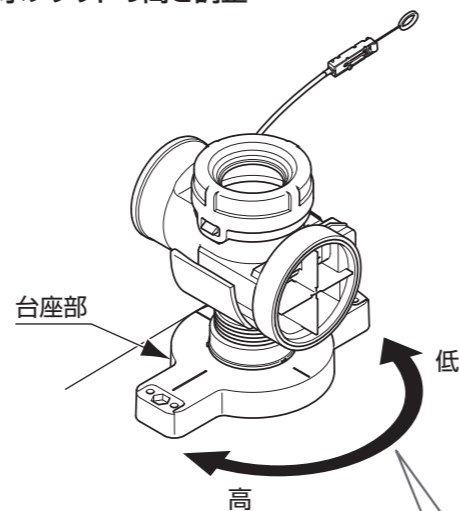
4 給水ホースの接続

▶P.22「4 給水ホースの接続」

5 排水ソケットの取り付け

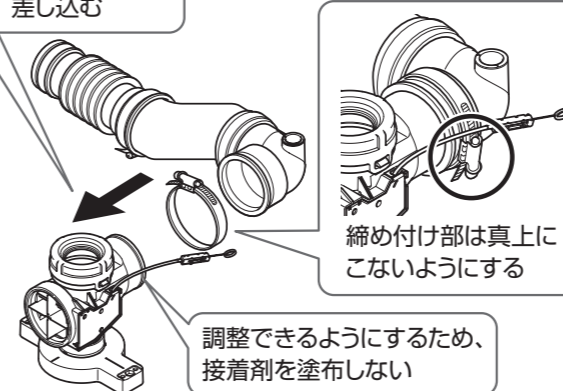


2 排水ソケットの高さ調整

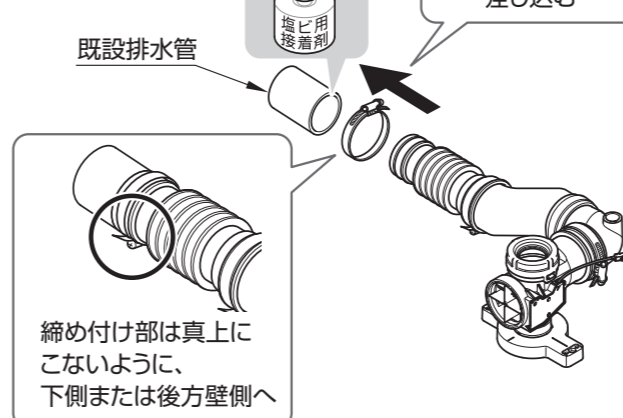


(例：既設排水心高さ120mmの場合、排水ソケットの排水心高さは120~150mm)

3 突き当たるまで差し込む



4 突き当たるまで差し込む



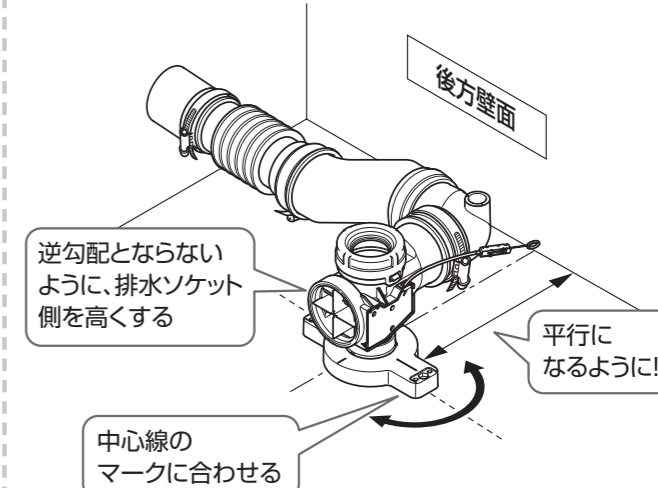
注意



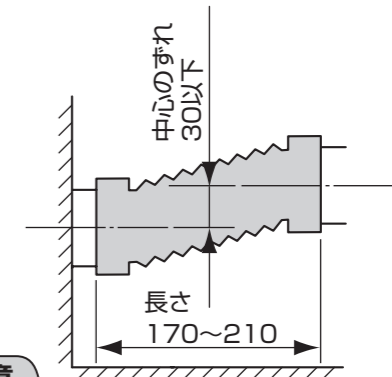
ホースバンドでの固定の際には、排水エルボや排水ジョイントにシワができないように締め付ける

水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

5 排水ソケットの取り付け



【排水ジョイント調整範囲】



注意



排水ジョイントによる接続では、逆勾配とならないように注意する

排水ジョイントや排水エルボがつぶれたり無理な力が加わっていないか確認する

器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。

6 止水栓の取り替え

▶P.23「5 止水栓の取り替え」

MEMO

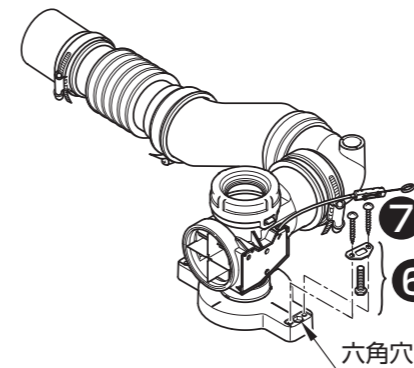
注意



排水ソケット台座部の六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にはめ込む

便器がガタつくおそれがあります。

トラスタッピンねじ
φ5×50(左右計4本)



手洗器 S サイズ

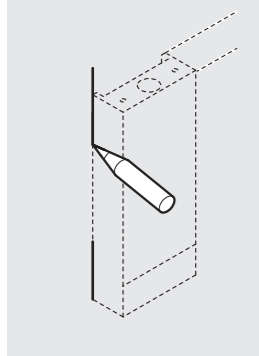
Sサイズ

Mサイズ

2-S.手洗器キャビネット・カウンター

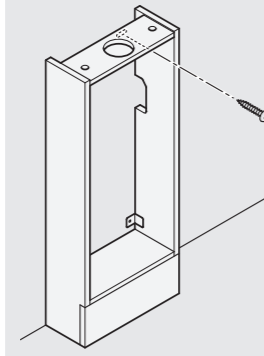
「手洗器Mサイズ」の場合 P.29を参照してください。

1 取付位置のけがき



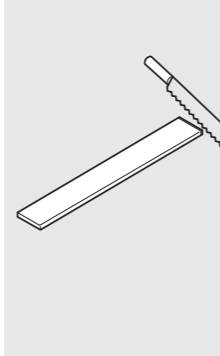
▶P.26

2 手洗器キャビネットの仮固定



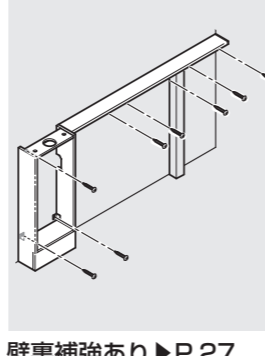
▶P.26

3 カウンター類の加工



▶P.27

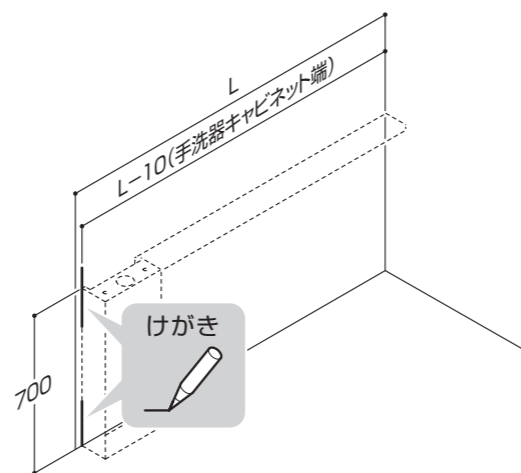
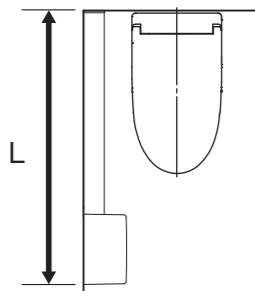
4 手洗器キャビネット・カウンターの取り付け



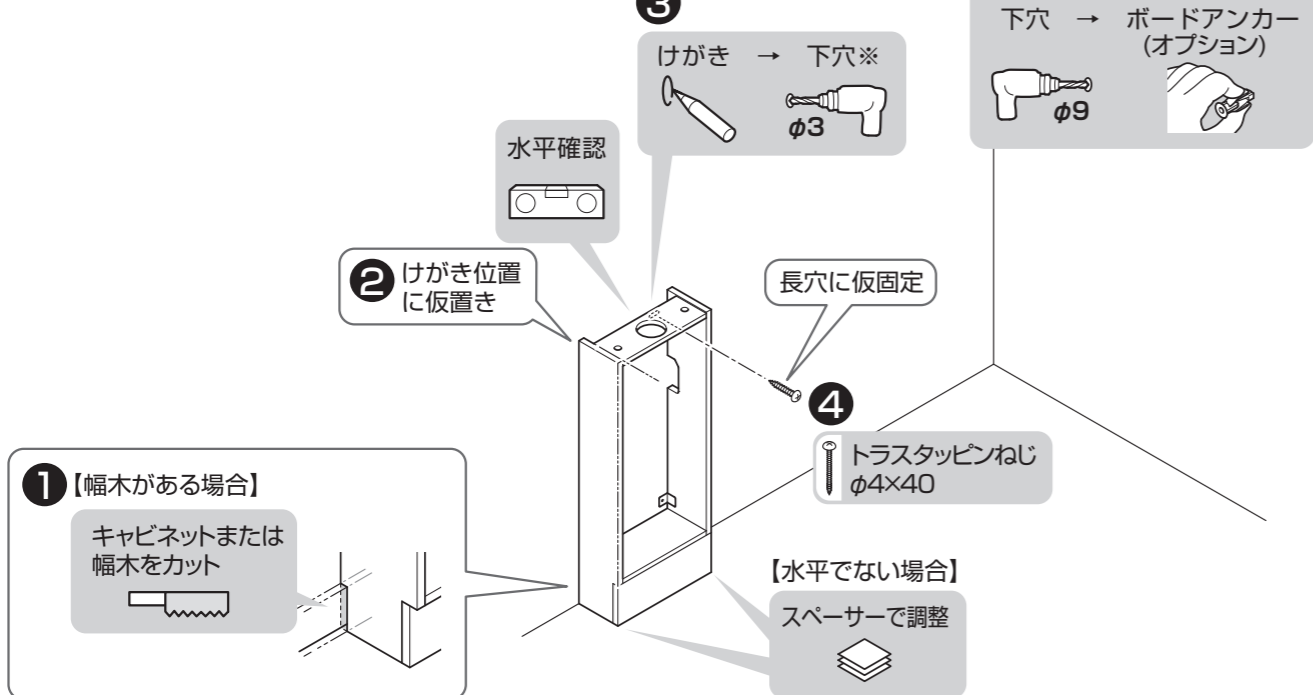
壁裏補強あり▶P.27
壁裏補強なし▶P.28

1 取付位置のけがき

寸法Lの測定範囲



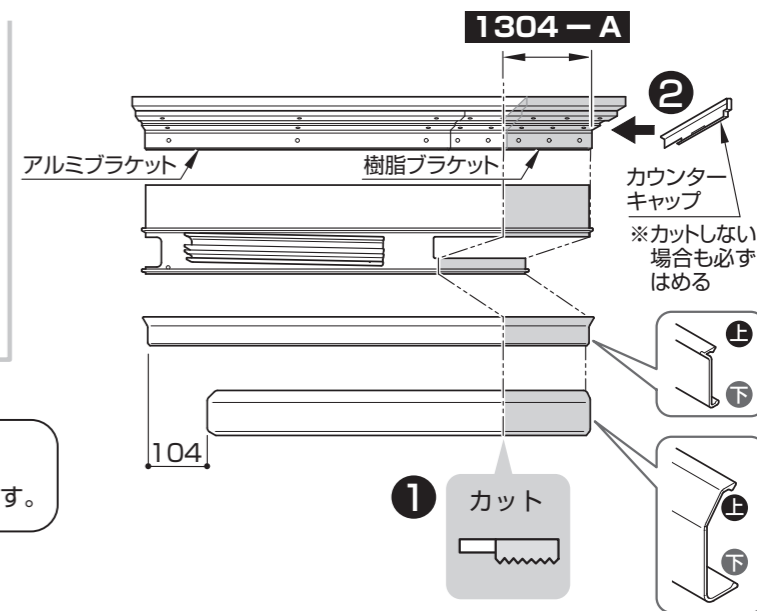
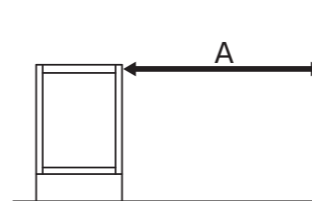
2 手洗器キャビネットの仮固定



3 カウンター類の加工

カウンターをカットする場合

後壁・キャビネット間の寸法A測定範囲



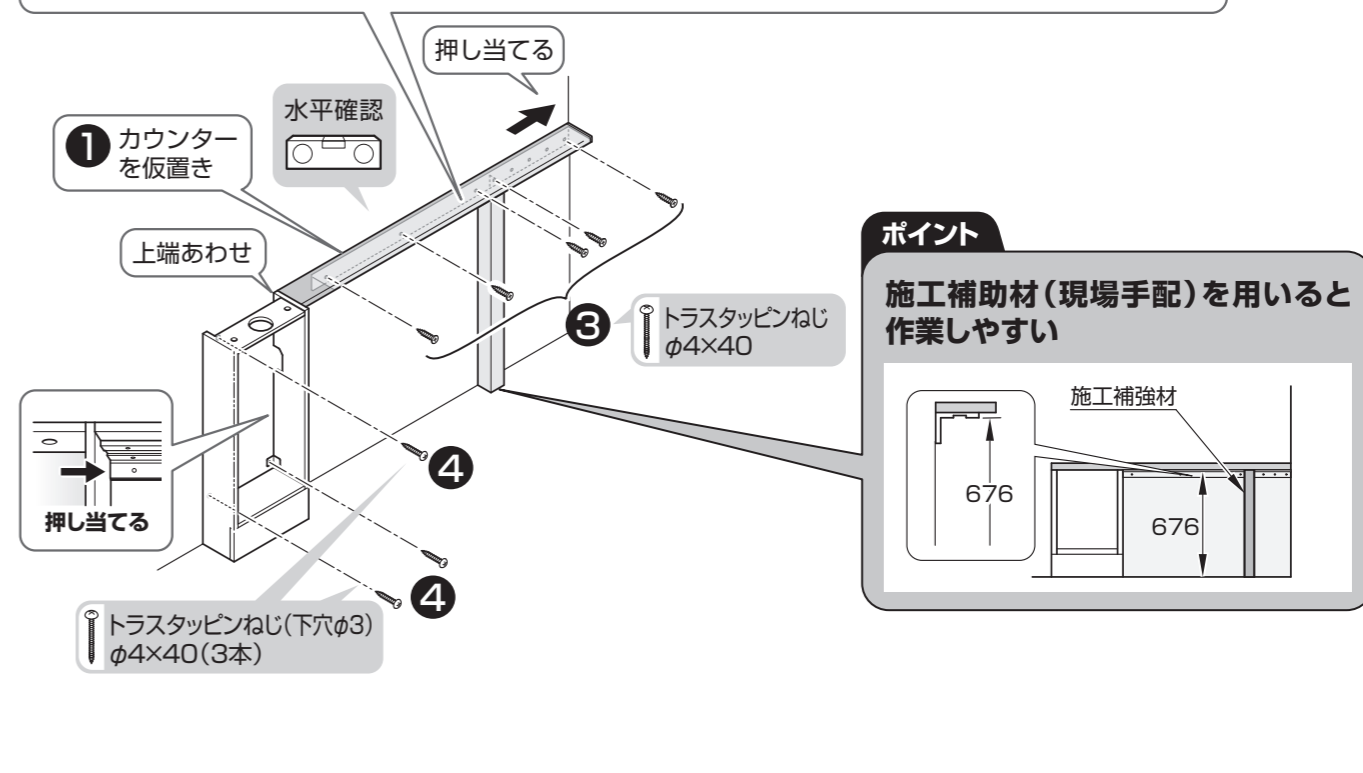
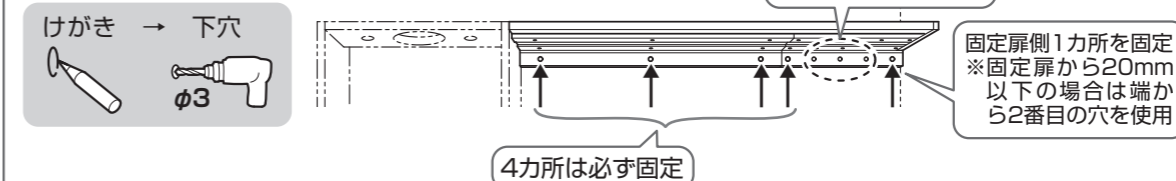
注意

必ず守る **!** カットした面は滑らかに仕上げる
お客様の手が触れ、けがをするおそれがあります。

4 手洗器キャビネット・カウンターの取り付け

壁裏補強ありの場合 壁裏補強なしの場合は、P.28を参照してください。

2 ↑部分 (4~5カ所)



ポイント

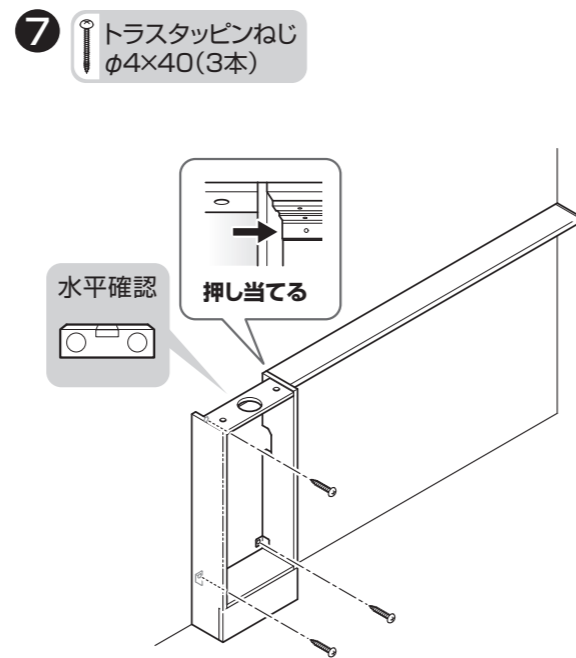
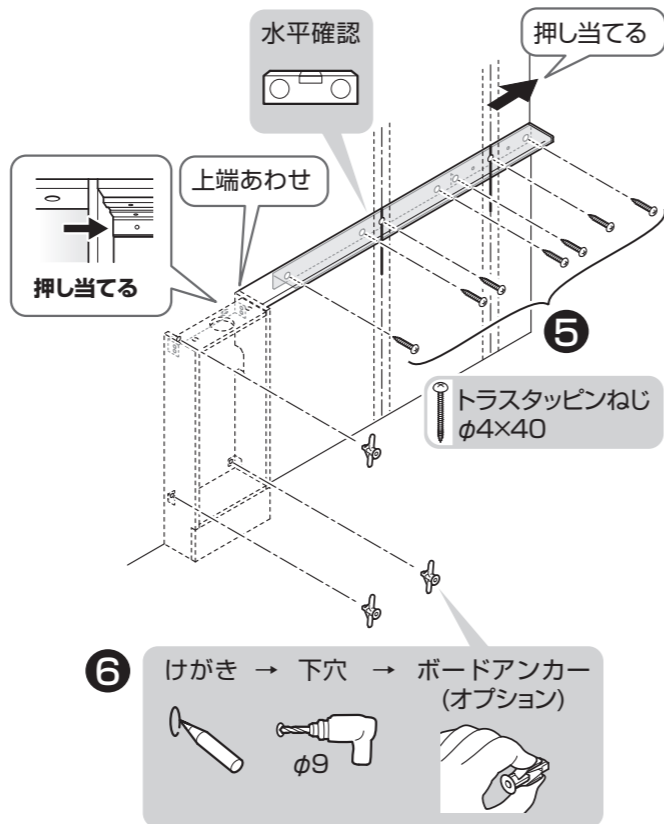
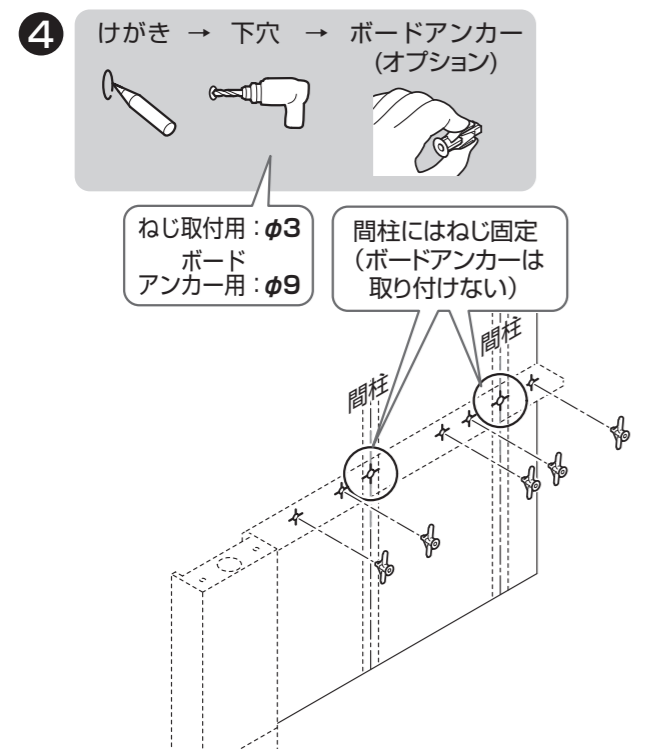
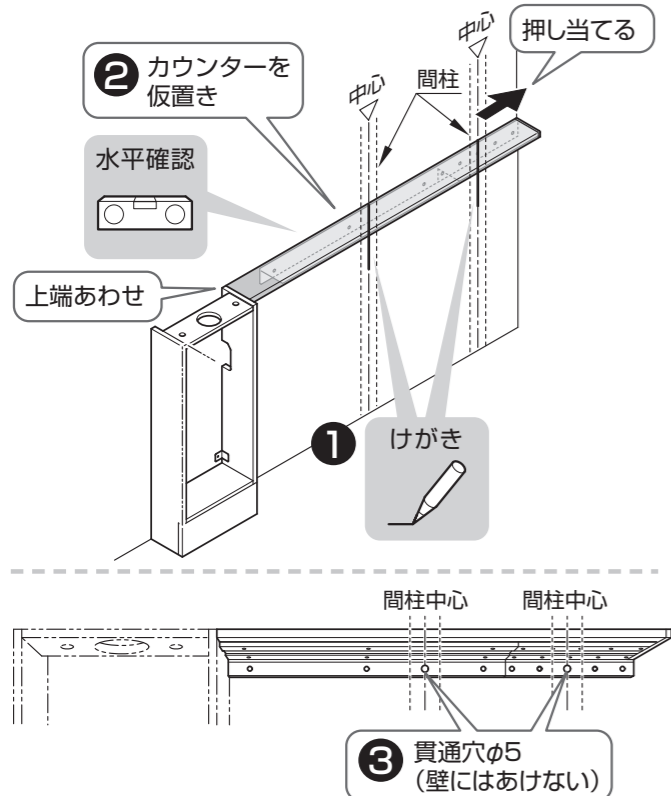
施工補助材(現場手配)を用いると作業しやすい

2 手洗器キャビネット・カウンター

2 手洗器キャビネット・カウンター

Sサイズ | Mサイズ

壁裏補強なしの場合

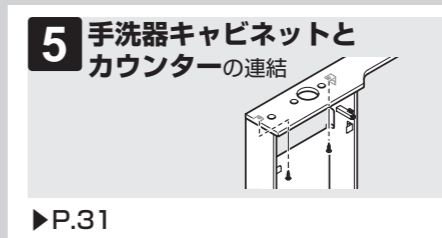
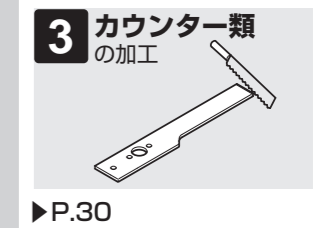


MEMO

手洗器 M サイズ

2-M.手洗器キャビネット・カウンター

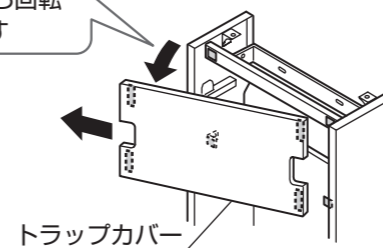
「手洗器Sサイズ」の場合 P.26を参照してください。



ポイント

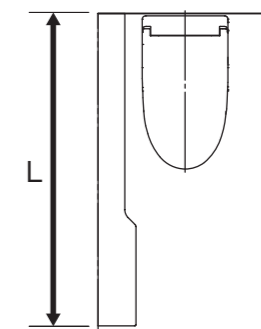
あらかじめ扉を外しておく作業しやすい

包装材を取った後、丁番側(扉)を押さえながら回転させるようにはずす



2 手洗器キャビネットの仮固定

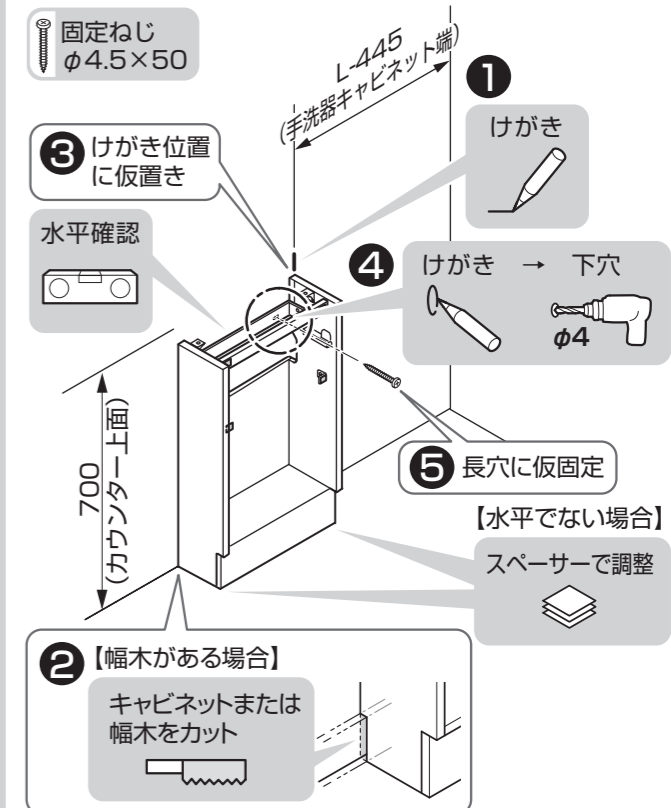
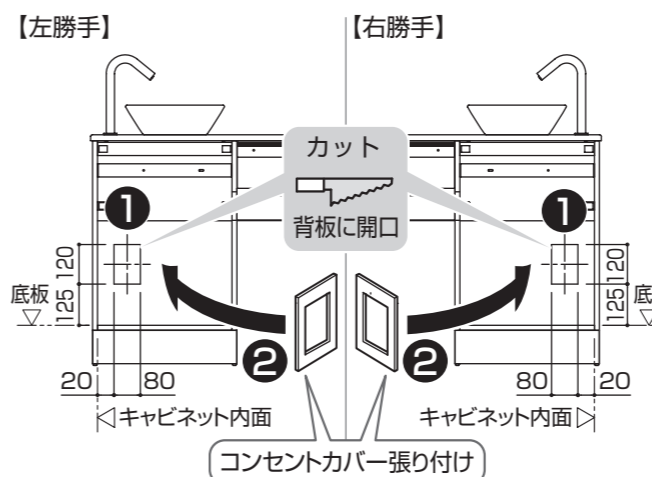
寸法Lの測定範囲



電気温水器付の場合

1 手洗器キャビネットの加工

コンセント用 穴加工



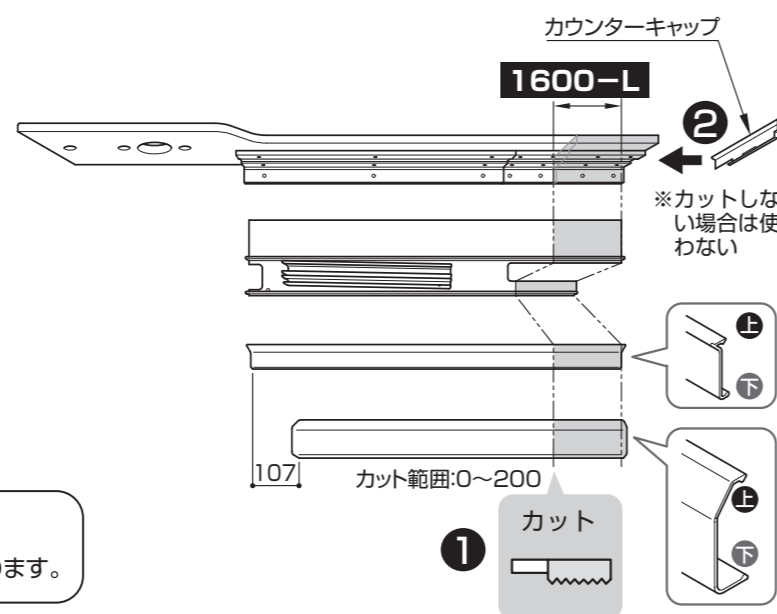
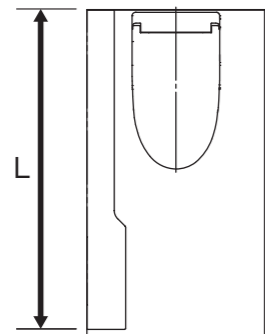
Sサイズ

Mサイズ

3 カウンター類の加工

カウンターをカットする場合

寸法Lの
測定範囲

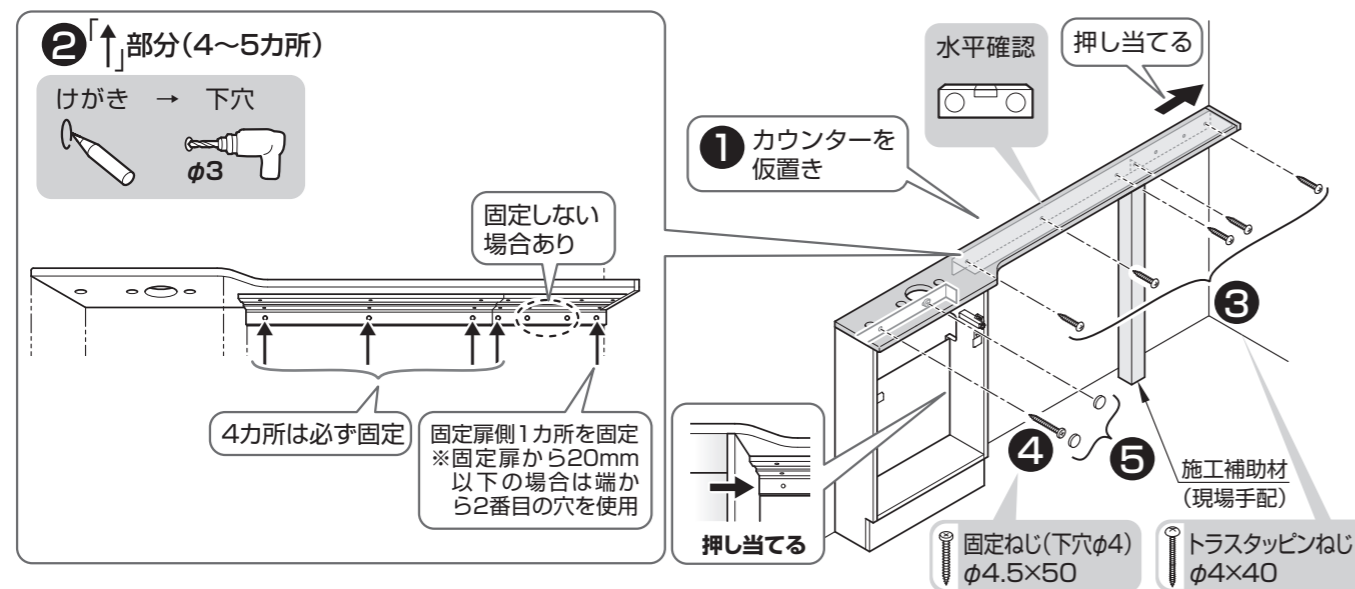


注意

！ 必ず守る
カットした面は滑らかに仕上げる
お客様の手が触れ、けがをするおそれがあります。

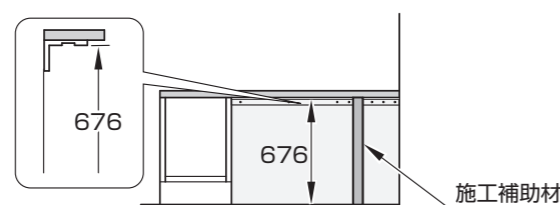
4 手洗器キャビネット・カウンターの取り付け

壁裏補強ありの場合 壁裏補強なしの場合は、P.31を参照してください。

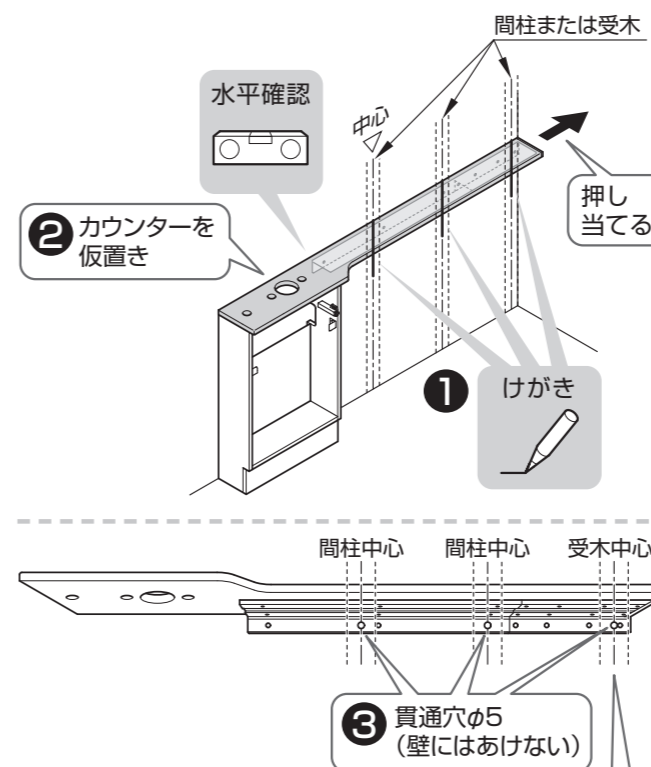


ポイント

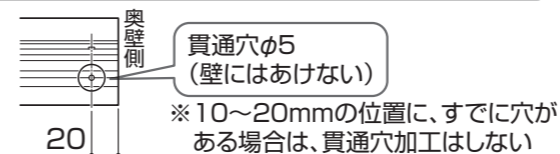
施工補助材(現場手配)を用いると作業しやすい



壁裏補強なしの場合

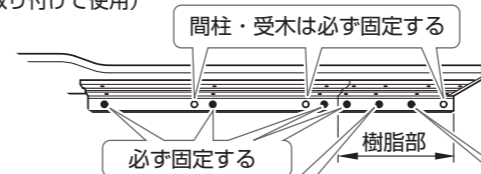


カウンターをカットした場合



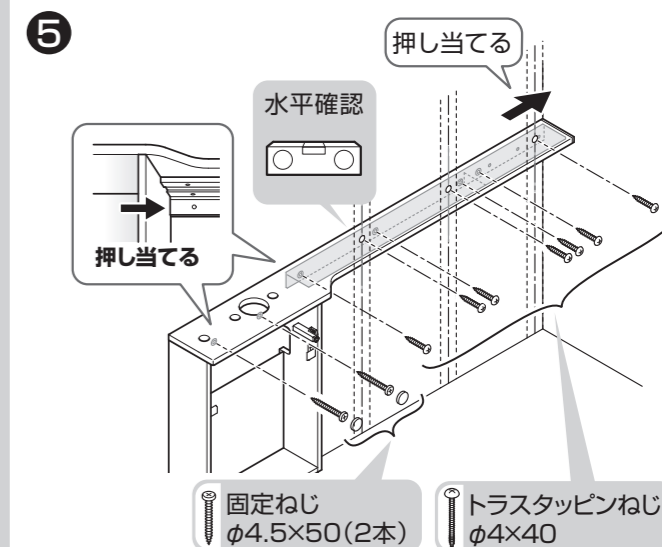
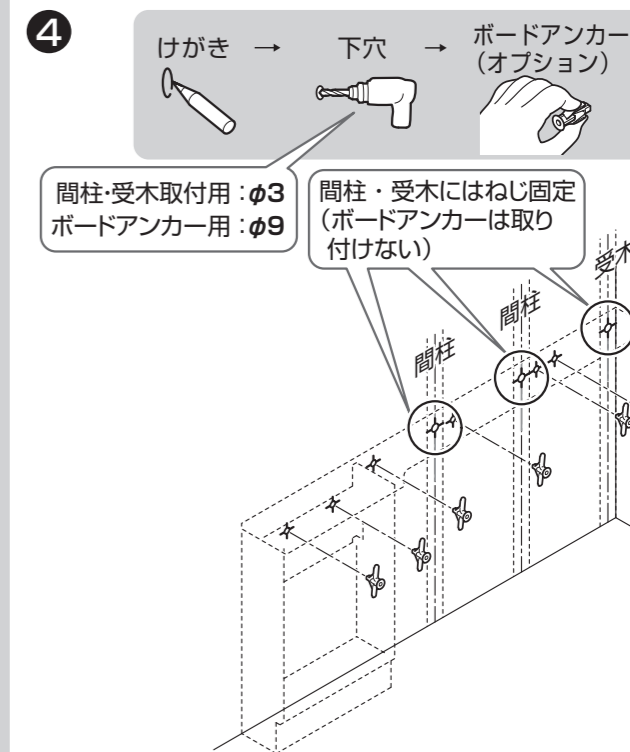
【固定位置について】

ねじは7本まで使用してください。
(3本は 3.手洗給水・排水管 1 配管ブラケット(カウンター側)の取り付けで使用)



○: 間柱・受木に合わせて
あけた穴
●: 元からあいている穴

ねじ本数が足りない場合は、
端を優先して固定する
カウンター長さにより、固定
しない穴があります。



壁裏補強ありなし共通

5 手洗器キャビネットとカウンターの連結



後ろ抜き 後ろ抜きリモデル 左右抜きリモデル

3.手洗給水・排水管

給水隠ぺいタイプ
便器品番:CS987BDP 「給水露出タイプ」の場合
P.35を参照してください。

※図はMサイズです。Sサイズも同様です。

後ろ抜き(排水心高さ120mm)

- 1 配管ブラケット(カウンター側)の取り付け ▶P.32
- 2 手洗排水横引管の取り付け ▶P.32
- 3 配管ブラケット(間口側)の取り付け ▶P.33
- 4 手洗排水ホースの接続 ▶P.33
- 5 手洗給水ホースの接続 ▶P.34

後ろ抜き(排水心高さ120mm)

1 配管ブラケット(カウンター側)の取り付け

面ファスナーを取り付け
70

水平確認

差し込む

カウンター・配管ブラケットをカットした場合
貫通穴φ5 (壁にはあけない)
※カットした側に

50 93

注意
ずれると正しく取り付けできません。

押し当てながら固定

トラスタッピンねじ φ4×40(3本)

2 手洗排水横引管の取り付け

1 カット

手洗排水横引管(上部)

2

配管ブラケットの長さ

奥壁と横壁に
すき間なく沿わせる

注意
ホースカット時、押切タイプのパイプカッターは使用しない
ホースの断面が変形し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

Sサイズ	左勝手	B	41
	右勝手		41
Mサイズ	左勝手		101
	右勝手		101

3 配管ブラケット(間口側)の取り付け

1

端を壁に付け、排水横引管の外形を合わせる

型紙

けがき

2

ねじを上の方の長穴に取り付け

けがき → 下穴※ → ボードアンカー

φ9

水平確認

3

トラスタッピンねじ φ4×40(7本)

手締めで

※【下地が合板の場合】
下穴
φ3
※ボードアンカーは使用しない

4 手洗排水ホースの接続 寸法H・Lの測定範囲

L

手洗器設置側の壁まで

H

手洗排水合流管

1 手洗排水ホース(間口側)・45°エルボのカット

カット不可

長い方をカットする

535-L

手洗排水ホース

注意
ホースカット時、押切タイプのパイプカッターは使用しない
ホースの断面が変形し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

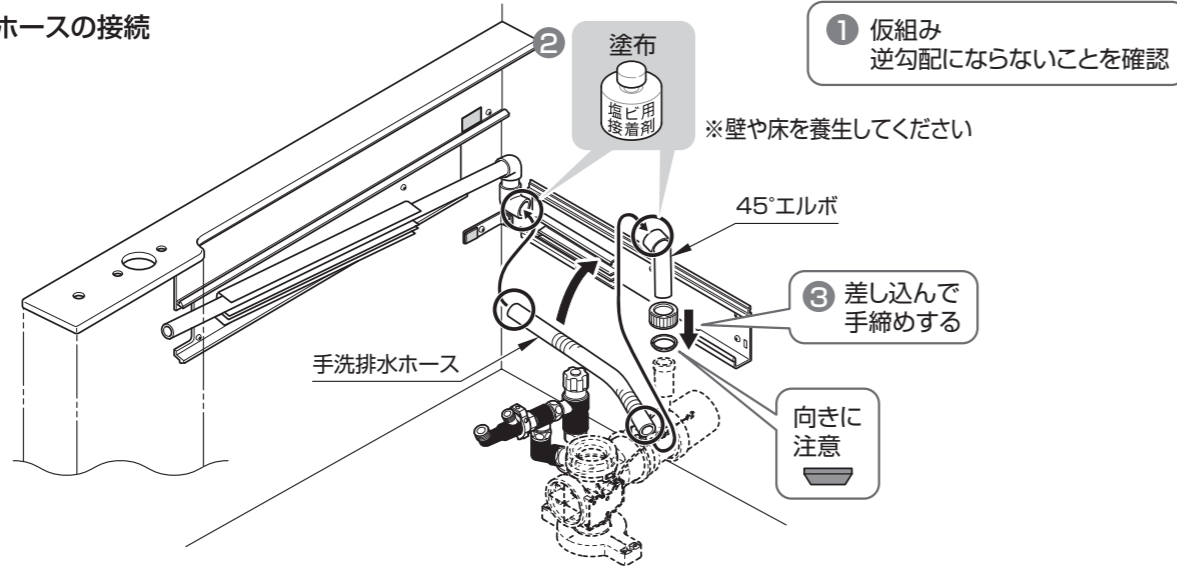
カット

H-270

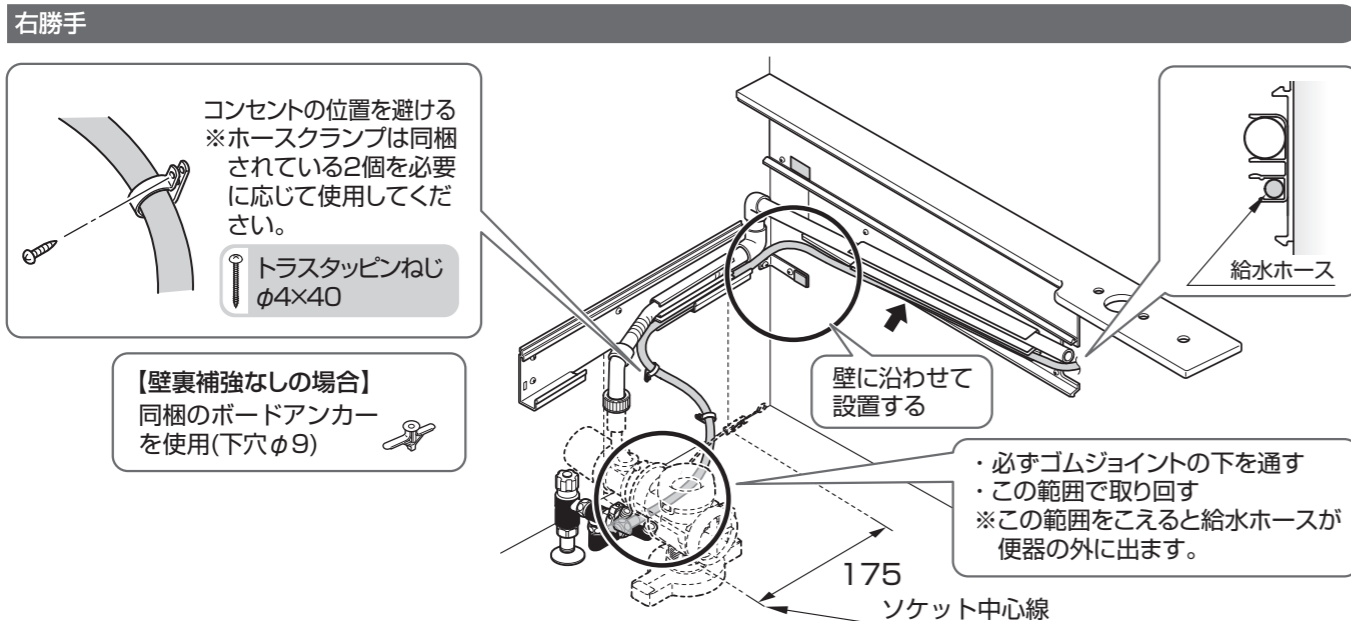
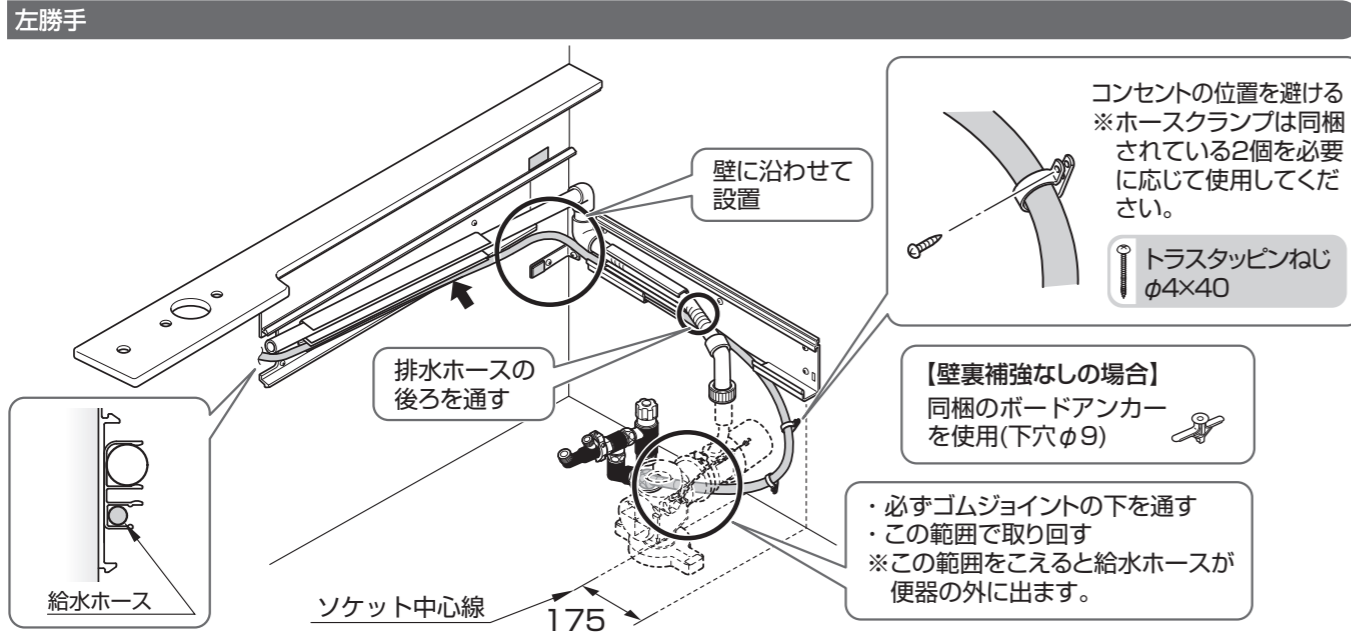
45°エルボ

後ろ抜き | 後ろ抜きリモデル | 左右抜きリモデル

2 手洗排水ホースの接続



5 手洗給水ホースの接続

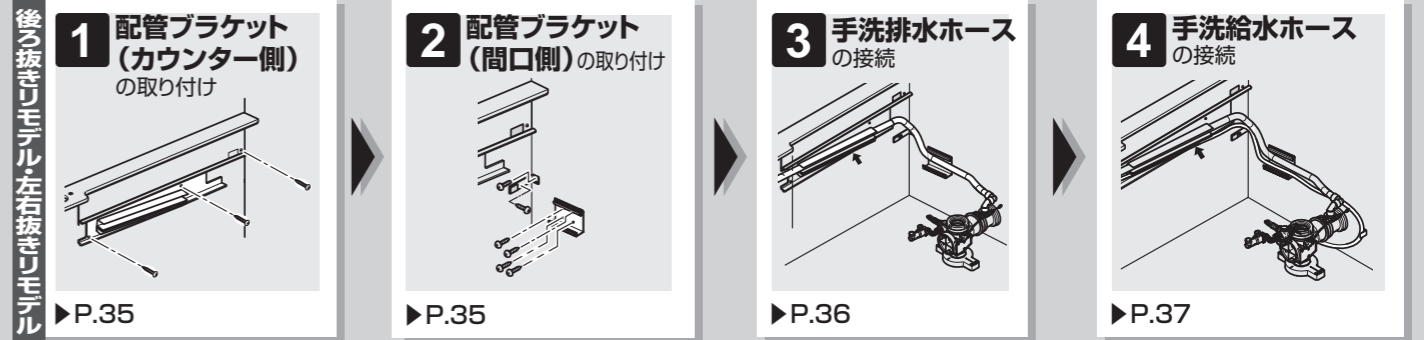


3. 手洗給水・排水管

給水露出タイプ
便器品番:CS987BDX

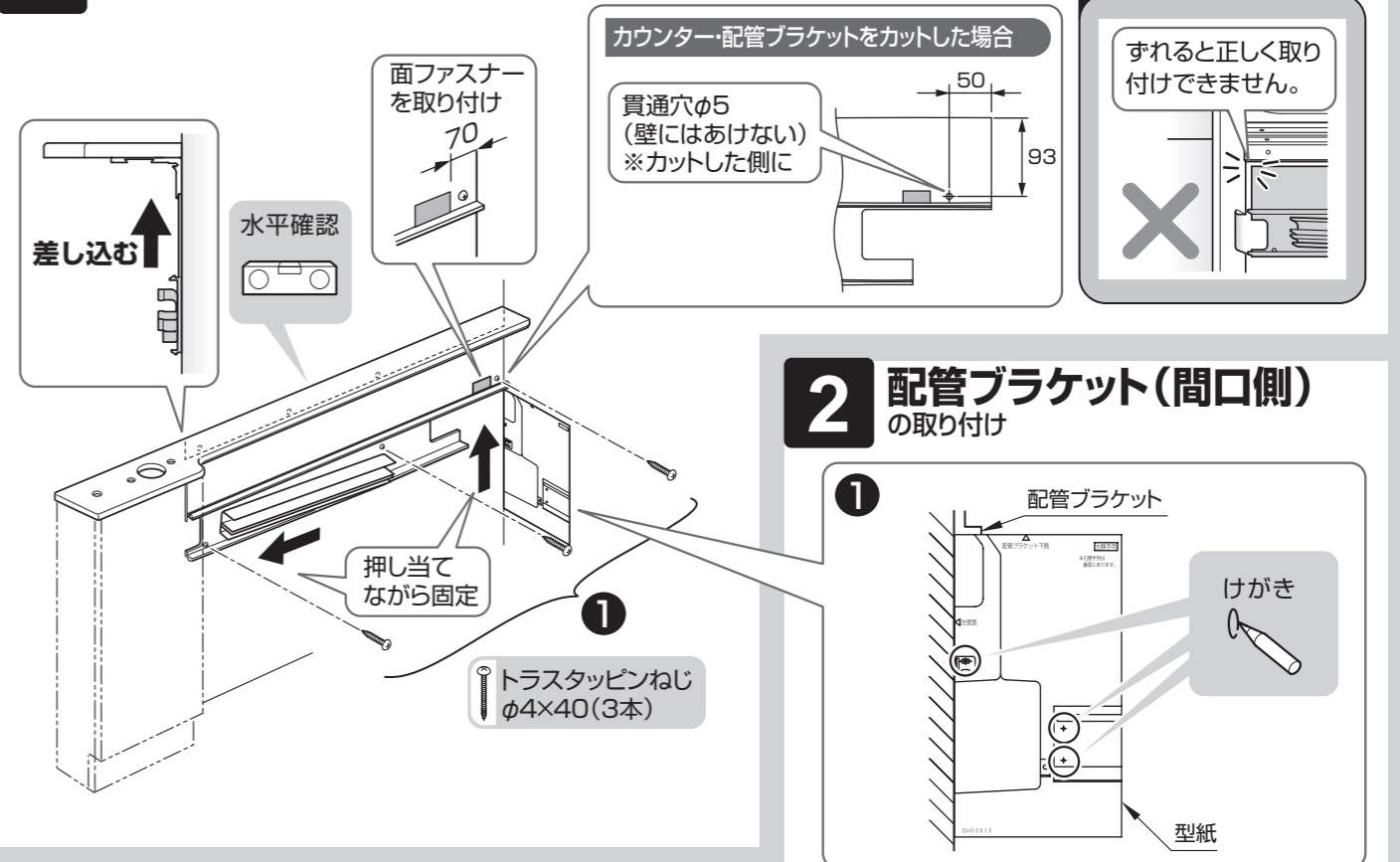
「給水隠ぺいタイプ」の場合
P.32を参照してください。

※図はMサイズです。Sサイズも同様です。

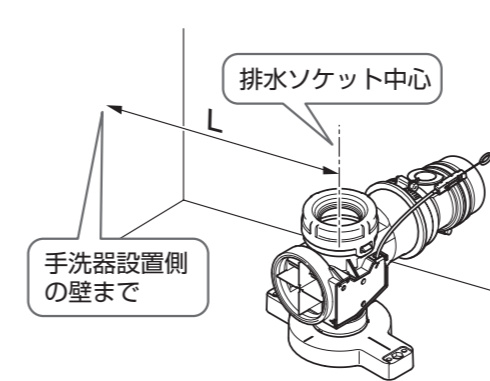


後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデル

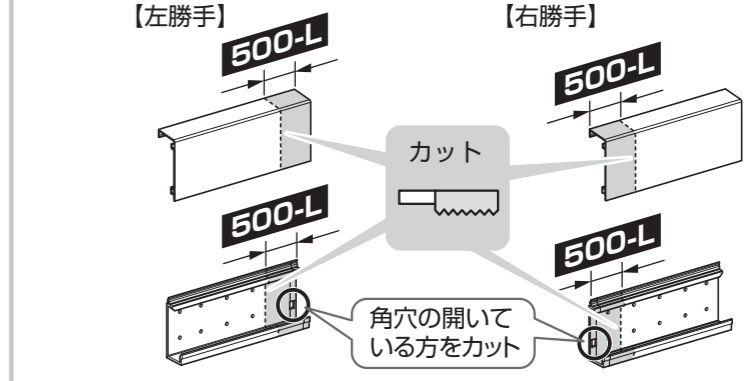
1 配管ブラケット(カウンター側)の取り付け



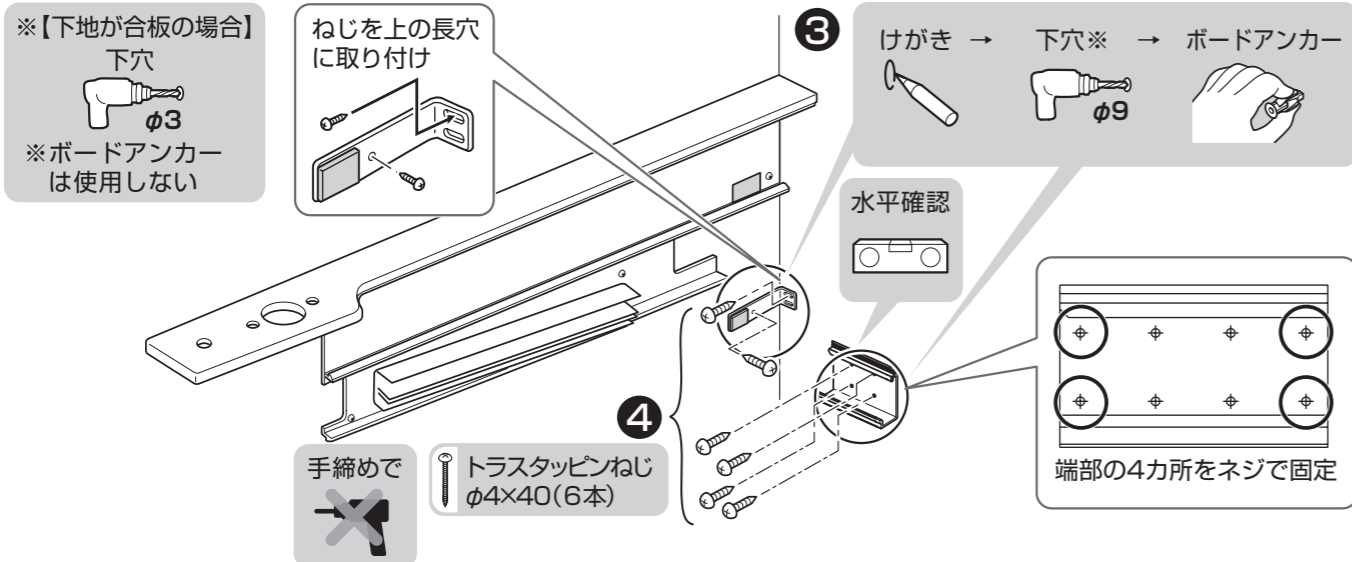
寸法Lの測定範囲



2 配管ブラケット・配管カバーのカット



後ろ抜き 後ろ抜きリモデル 左右抜きリモデル

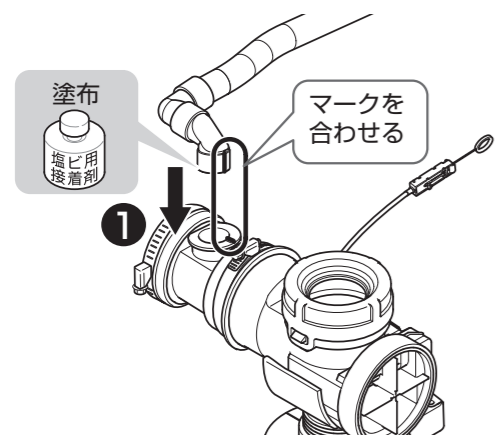


3

手洗給水・排水管

3 手洗排水ホースの接続

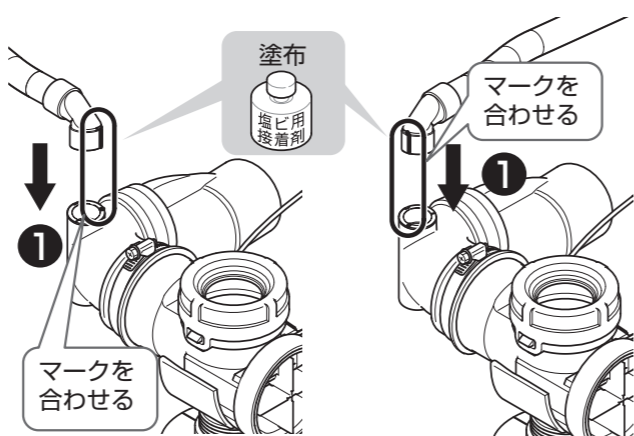
後ろ抜き



左右抜き

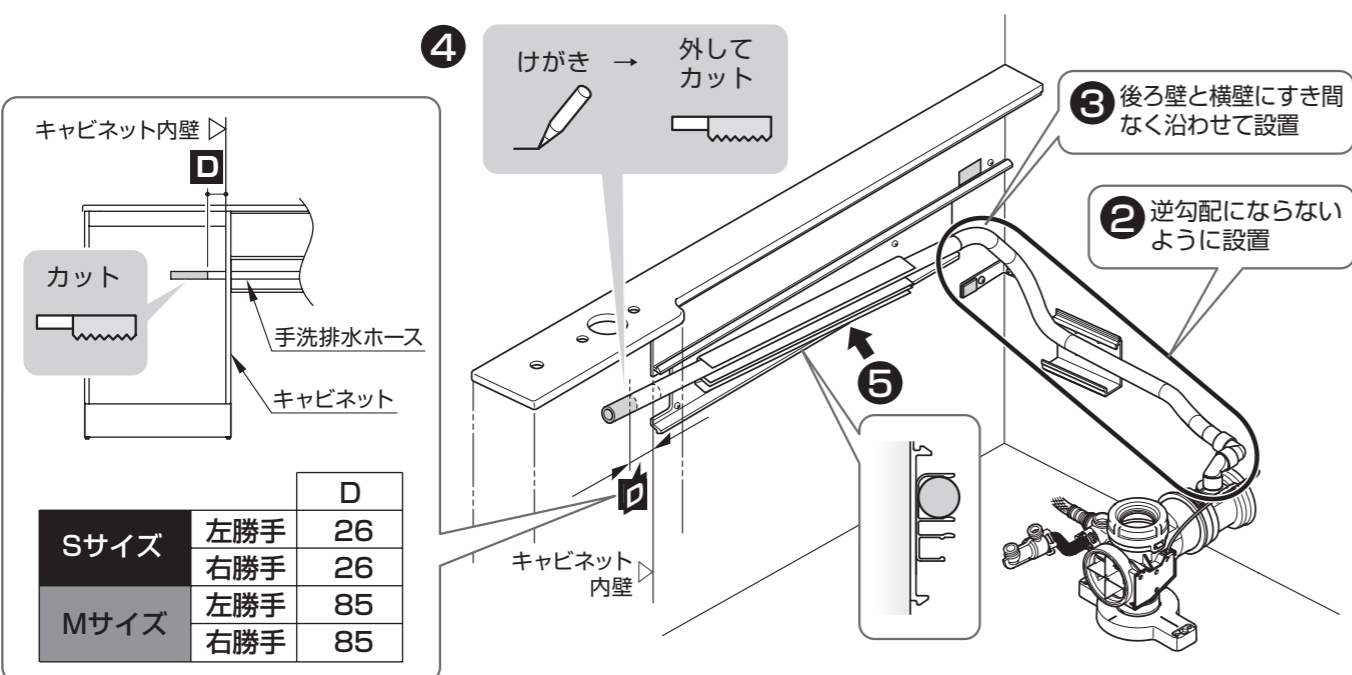
【左勝手】

【右勝手】



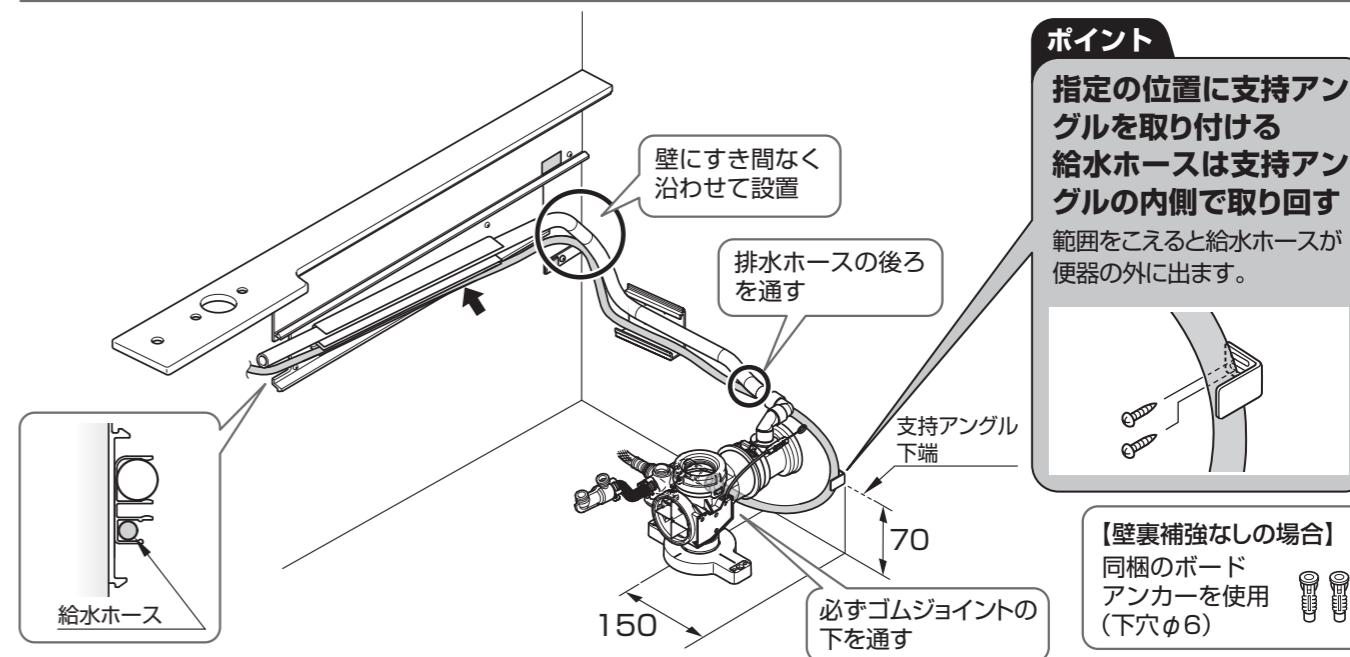
4

けがき → 外してカット

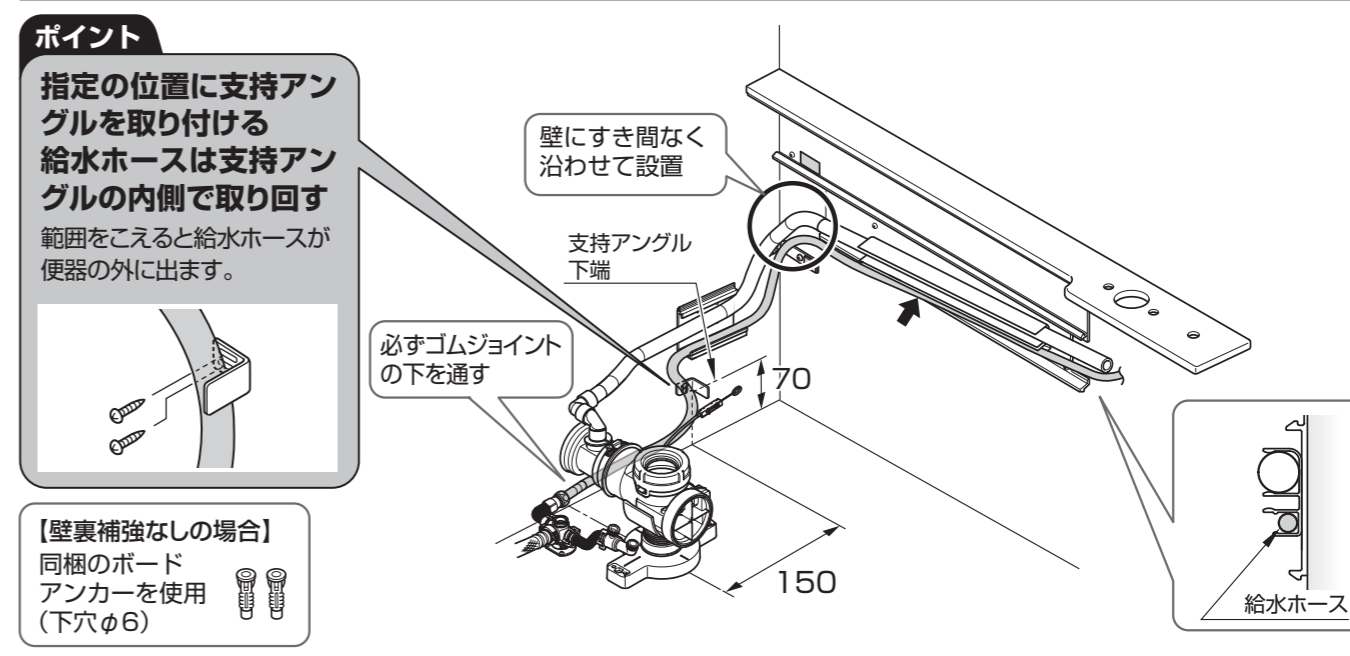


4 手洗給水ホースの接続

左勝手



右勝手



MEMO

3

手洗給水・排水管

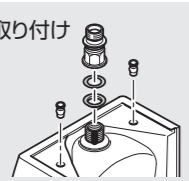
手洗器 S サイズ

Sサイズ Mサイズ

4-S. 手洗器

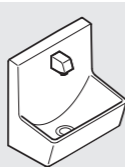
「手洗器Mサイズ」の場合 P.42を参照してください。

1 排水金具の取り付け



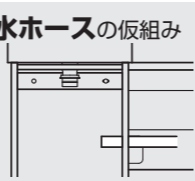
▶P.38

2 手洗器の取り付け



▶P.38

3 手洗器排水ホースの仮組み



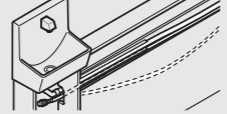
▶P.39

4 排水トラップの取り付け



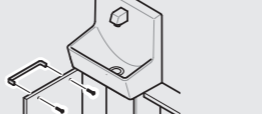
▶P.39

5 手洗器用給水ホースの接続



▶P.40

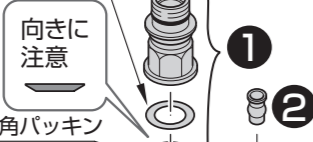
6 タオル掛け(手洗器下取付タイプ)の取り付け



▶P.41

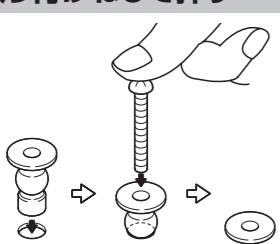
1 排水金具の取り付け

スリップワッシャー



シリコン系シール剤

ポイント
取り付けねじで押す



注意

排水金具ねじ部には、必ずシリコン系シール剤を塗布する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

接続管を締め過ぎない
排水金具が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
(手締めで止まる位置まで回し、工具にて半回転締め付けるくらいが適切です。)

2 手洗器の取り付け

トラスタッピンねじ
φ4×30(2本)

1

けがき → 下穴※
φ3

カウンター上で折れ曲げる

225
(固定位置)

型紙

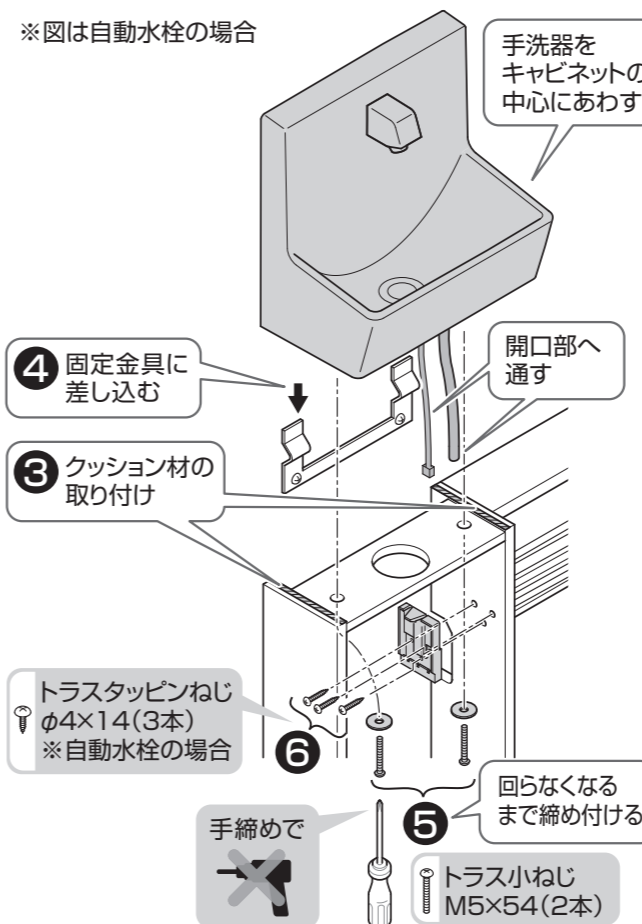
※【下地が石こうボードの場合】
下穴 → ボードアンカー
(オプション)



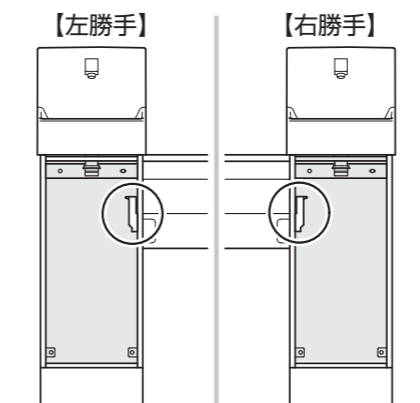
警告

❗ **クッション材の張り付けは確実に**
水などがキャビネット内に浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。

※図は自動水栓の場合



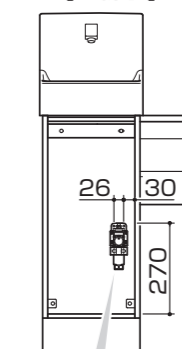
コントローラー固定材取付位置



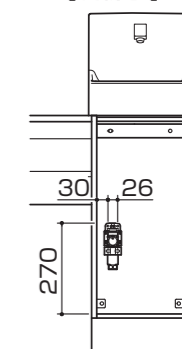
MEMO

自動水栓の場合

【左勝手】



【右勝手】



けがき → 下穴※
(2カ所)



※【下地が石こうボードの場合】
下穴 → ボードアンカー
(オプション)



3 手洗器排水ホースの仮組み

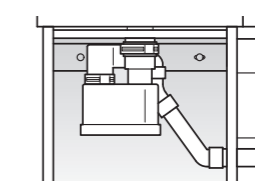


キャビネット内側 ▶

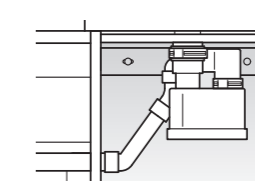
4 排水トラップの取り付け

取り付け状態

【左勝手】

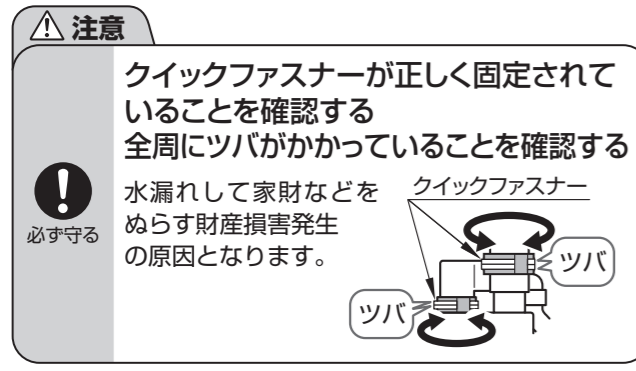
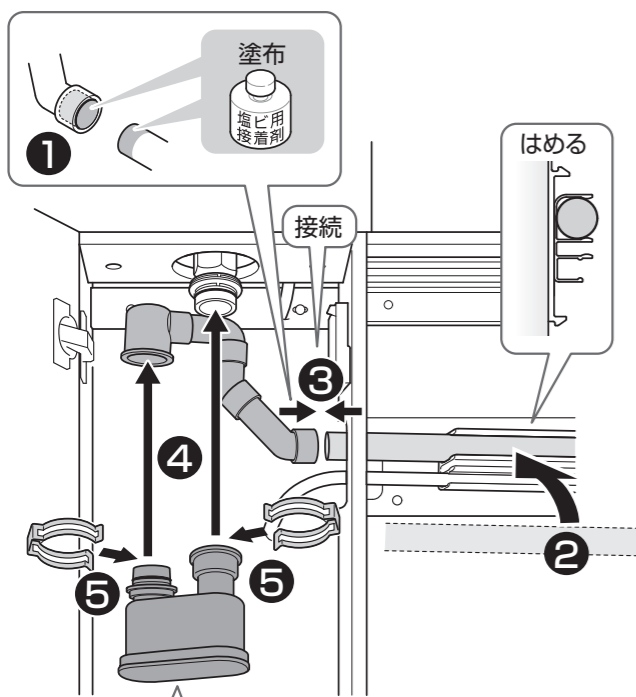


【右勝手】

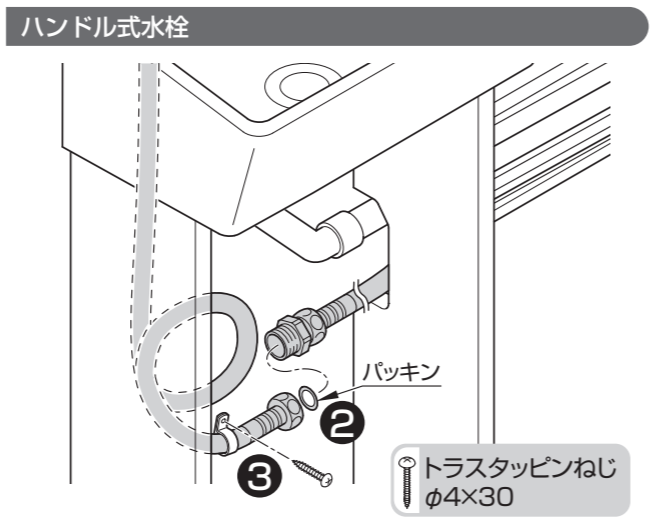
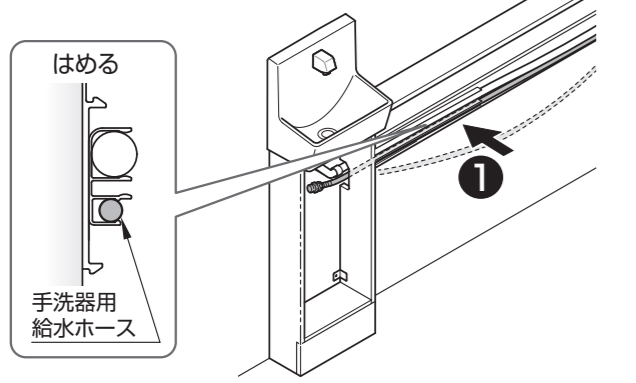


排水ホースに接着剤塗布前、必要に応じて、内面や開口まわりを養生する

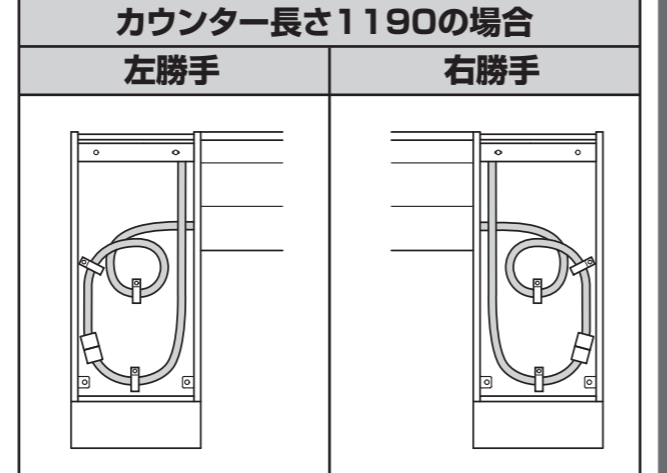
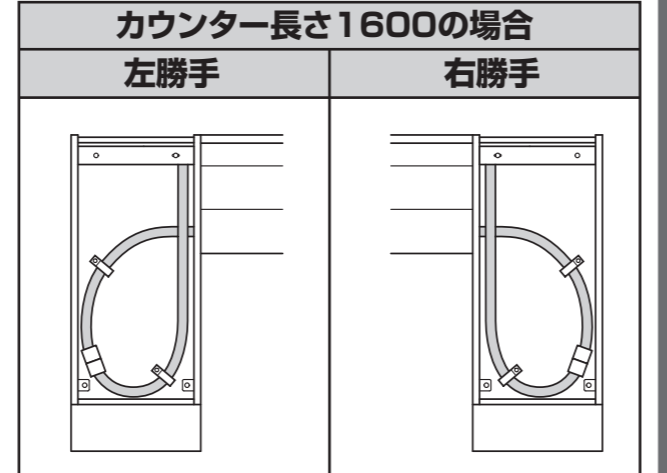
Sサイズ Mサイズ



5 手洗器用給水ホースの接続

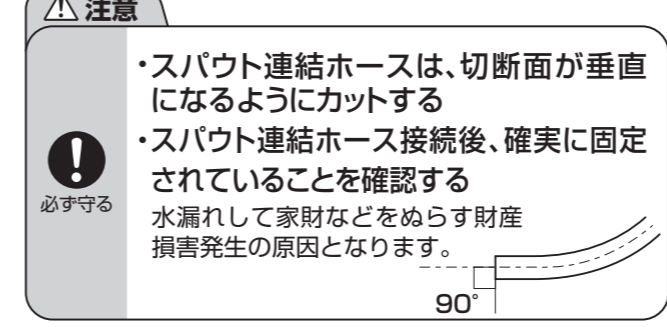
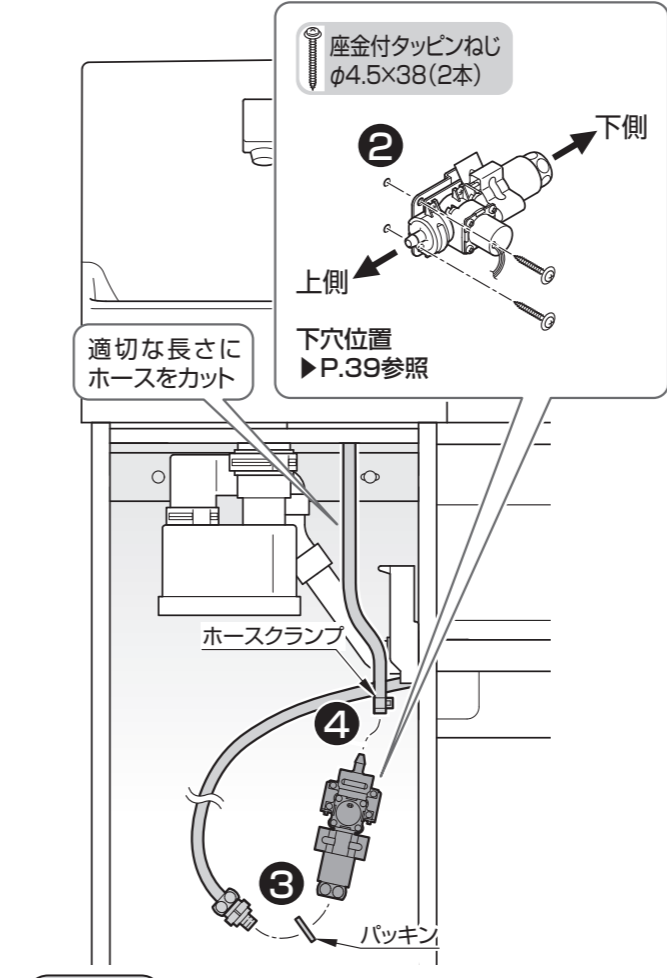


給水ホースの取り回し

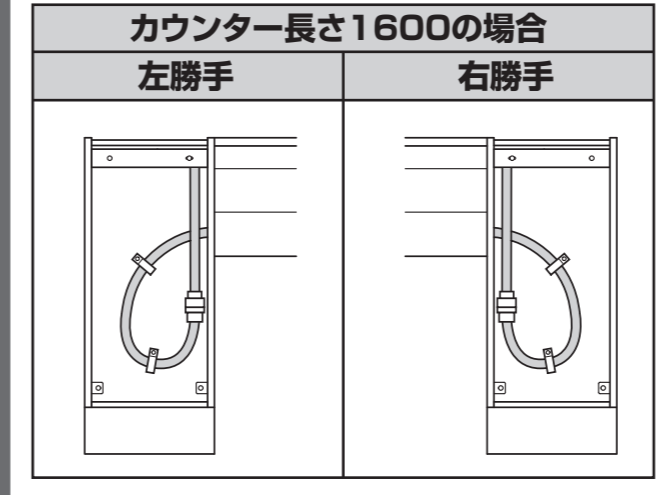


MEMO

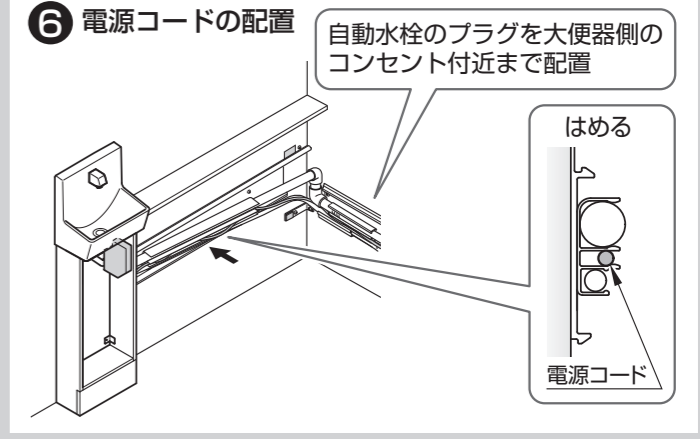
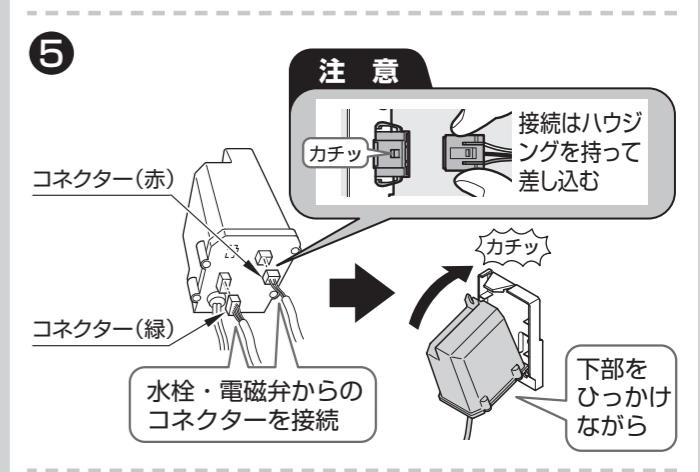
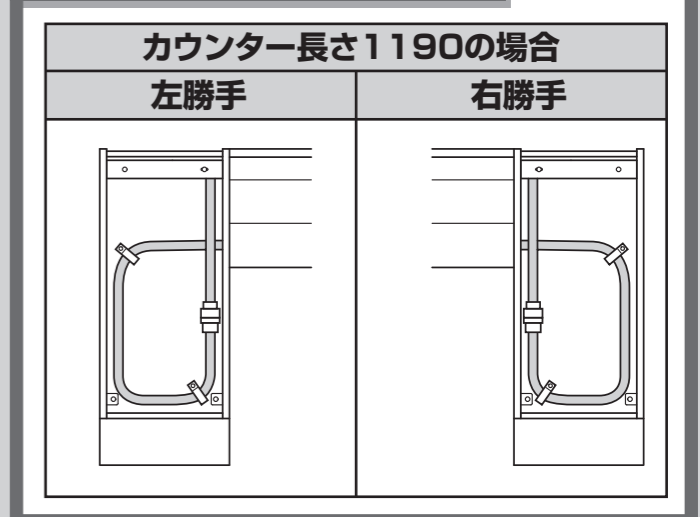
自動水栓の場合



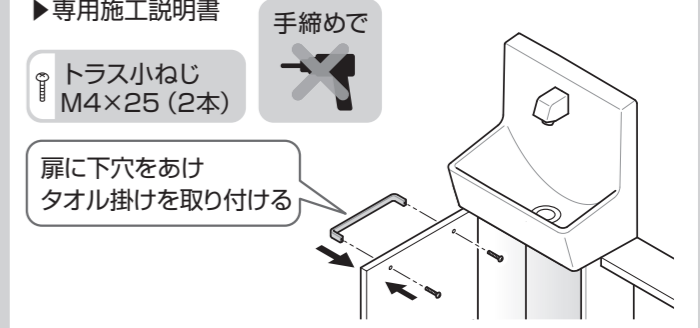
給水ホースの取り回し



給水ホースの取り回し



6 タオル掛け (手洗器下取付タイプ)の取り付け



手洗器 M サイズ

Sサイズ Mサイズ

4-M. 手洗器

「手洗器Sサイズ」の場合 P.38を参照してください。

1 排水金具・手洗器固定金具の取り付け ▶P.42	2 手洗器の取り付け ▶P.42	3 水栓金具の取り付け ▶P.43	4 取付穴の下穴あけ ▶P.43
5 コントローラー固定材の取り付け ▶P.43	6 排水トラップの取り付け ▶P.43	7 手洗器用給水ホースの接続 ▶P.44	8 タオル掛け(手洗器下取付タイプ)の取り付け ▶P.45

1 排水金具・手洗器固定金具の取り付け

スリップワッシャー
三角パッキン
向きに注意

ねじ部が見えなくなるまで締め付ける
手締めで

①
②
③

シリコン系シール剤

ポイント
陶器とのすき間がなくなるまで、しっかり押し込む
取付ボルトが途中までしか入らず、手洗器が固定できません。

注意
排水金具ねじ部には、必ずシリコン系シール剤を塗布する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

禁止
接続管を締め過ぎない
排水金具が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
(手締めで止まる位置まで回し、工具にて半回転締め付けるくらいが適切です。)

2 手洗器の取り付け

警告
クッション材の張り付けは確実に
水などがキャビネット内に浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。

① クッション材の取り付け
はみ出さぬよう端から少し内側に張る

継ぎ目

ポイント
向きに注意

ポイント
しっかりとめ込む

ポイント
手洗器を壁に押し当てる

左右の位置を調整

手締めで

3 水栓金具の取り付け

ハンドル式水栓
自動水栓

壁と平行に向ける
壁と平行に向ける

ゴムパッキン
菊座金

自動水栓の場合

4 取付穴の下穴あけ

けがき → 下穴※
φ3

型紙

※【下地が石こうボードの場合】
下穴 → ボードアンカー(オプション)
φ9

【けがき位置】
コントローラー固定材取付位置：3カ所
電磁弁取付位置：2カ所
電気温水器取付位置：2カ所
(電気温水器付自動水栓の場合)

自動水栓の場合

5 コントローラー固定材の取り付け

トラスタッピンねじ
φ4×30(3本)

下穴あわせ

6 排水トラップの取り付け

取り付け状態
【左勝手】
【右勝手】

接着剤塗布前、必要に応じて、内面や開口まわりを養生する

接続
塗布
塩ビ用接着剤

①
②
③
④
⑤

はめる

注意
同時に差し込む
押える

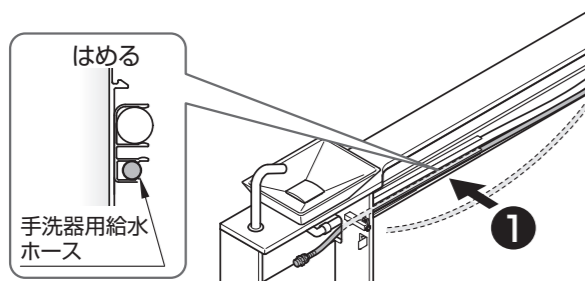
注意
斜めに差し込まない
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

注意
クイックファスナーが正しく固定されていることを確認する
全周にツバがかかっていることを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

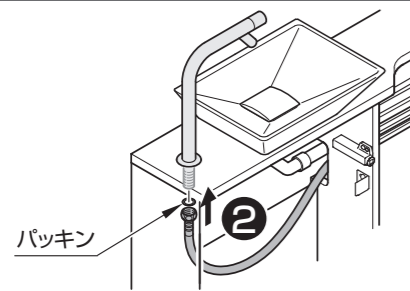
クイックファスナー
ツバ

Sサイズ Mサイズ

7 手洗器用給水ホースの接続



ハンドル式水栓

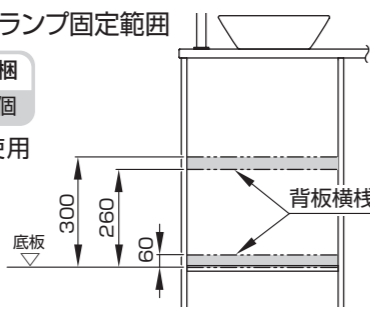


3 給水ホースの固定

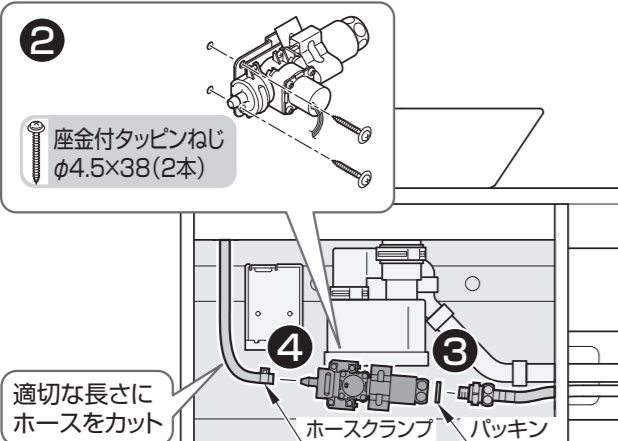
はホースクランプ固定範囲

「排水管セット」に同梱
ホースクランプ 2個

※必要に応じた個数を使用してください。



自動水栓・電気温水器付自動水栓



適切な長さに
ホースをカット

ホースクランプ パッキン

※図は自動水栓の場合

必ず守る
・スパウト連結ホースは、切断面が垂直になるようにカットする
・スパウト連結ホース接続後、確実に固定されていることを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

90°

5 給水ホースの固定

壁に固定してください。

「排水管セット」に同梱
ホースクランプ 2個

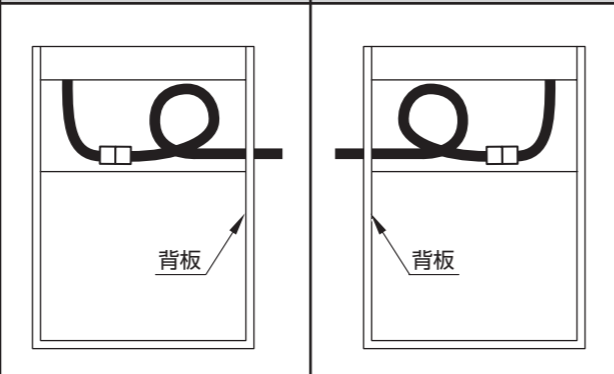
※必要に応じた個数を使用してください。

給水ホースの取り回し

カウンターをカットしない場合

左勝手

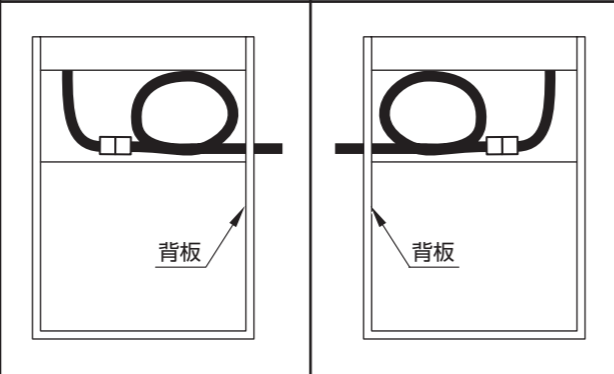
右勝手



カウンターを100mm以上カットする場合※

左勝手

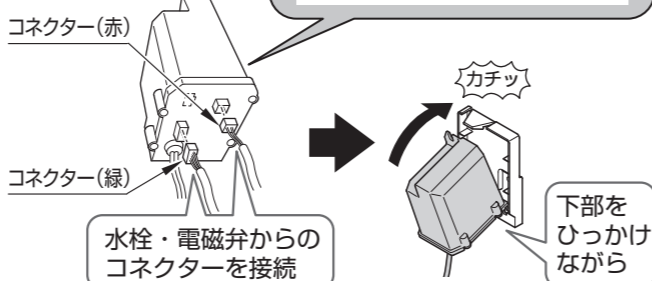
右勝手



※手洗器用給水ホースを大便器の後でたるませるなど、調整しながら行ってください。

6

注意



コネクター(赤)

コネクター(緑)

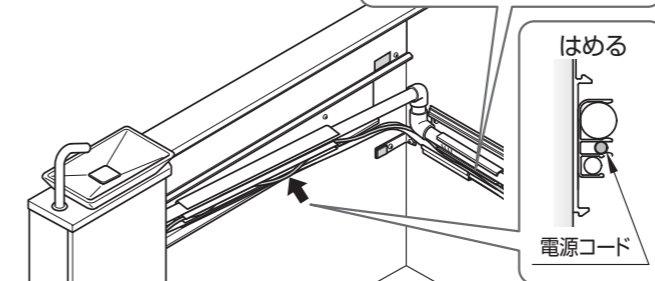
水栓・電磁弁からの
コネクターを接続

下部を
ひっかけ
ながら

7 電源コードの配置

※電気温水器付の場合不要

自動水栓のプラグを大便器側のコンセント付近まで配置

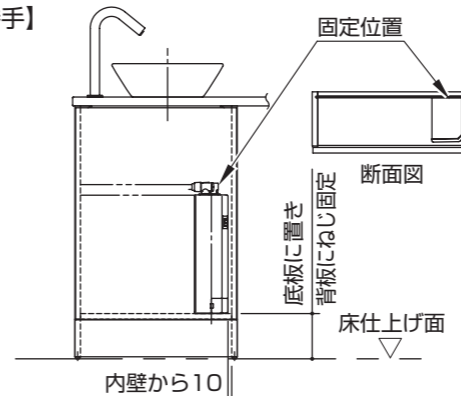


電気温水器付自動水栓

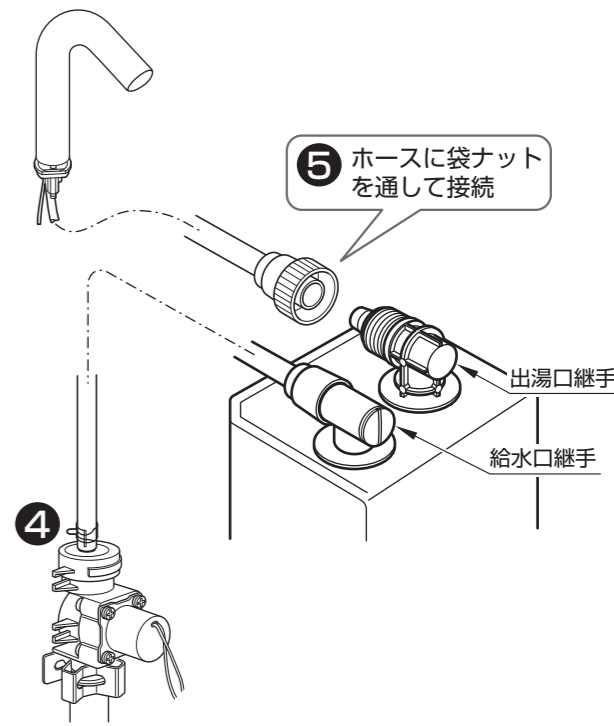
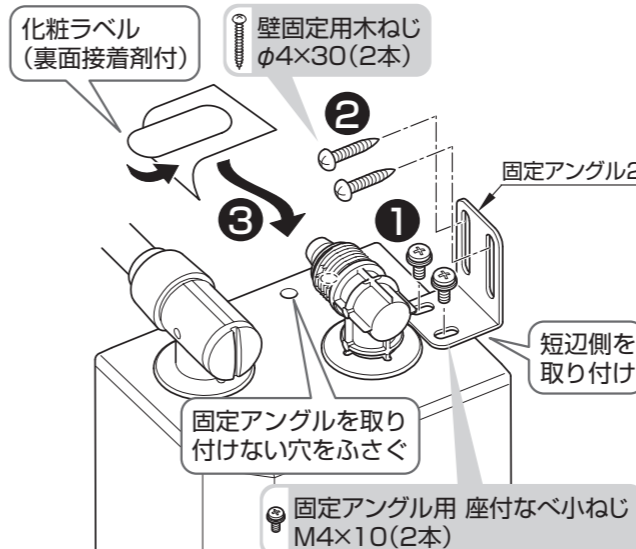
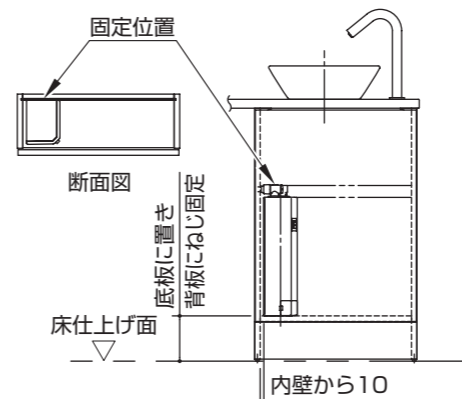
▶電気温水器施工説明書

電気温水器取付位置

【左勝手】



【右勝手】



注意

必ず守る
・ホースが確実に差し込まれているか確認する
・ホースが折れ曲がらないよう注意する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

8 タオル掛け(手洗器下取付タイプ)の取り付け

カウンター裏面の下穴に固定
※ねじの取付位置を間違えると、扉に傷がつきます。

手締めで

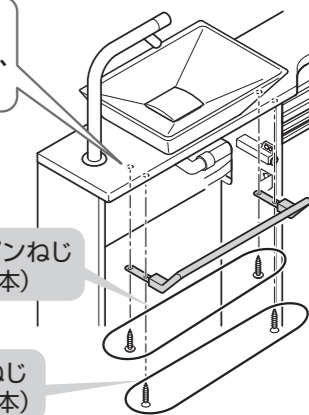


奥側

トラスタッピンねじ
φ4×16(2本)

手前側

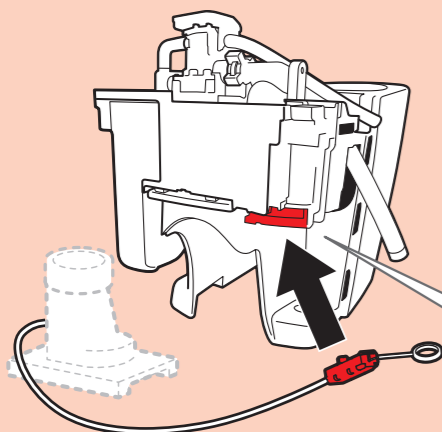
皿タッピンねじ
φ3×16(2本)



MEMO

5.手動レバー

1 手動レバーの取り付け

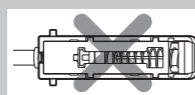


① 真横にスライド

② 「カチッ」とはめる

注意

手動レバーの向きを確認



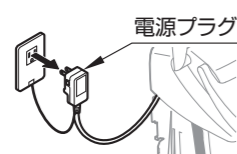
手動レバー

③ 引っ張って外れないことを確認

ブザー音が鳴り、ランプがすべて点滅している場合

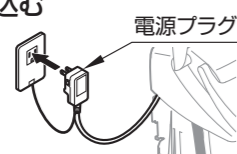


① 電源プラグを抜く

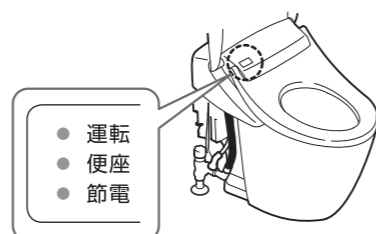


② ① に従って手動レバーを取り付ける

③ 電源プラグを差し込む

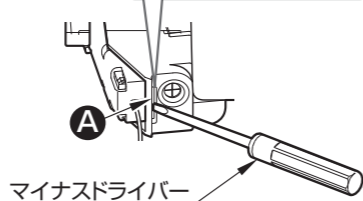


④ ブザー音が止まり、ランプの点滅がすべて消えていることを確認する



【手動レバーの取り外し】

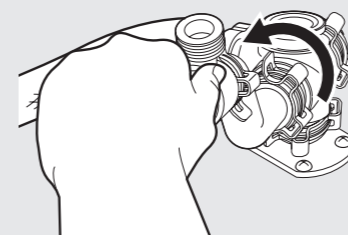
Aに挿入し、ロックを解除して取り外す



MEMO

6.大便器

1 大便器固定の準備



▶P.47

2 大便器の固定



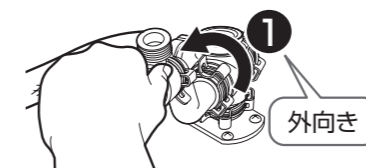
▶P.47

1 大便器固定の準備

後ろ抜きの場合



後ろ抜きモデル・左右抜きモデルの場合



注意

分岐金具を外向きにする

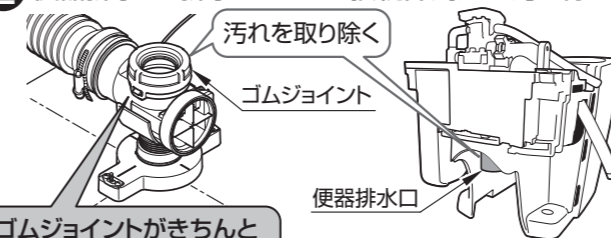
便器本体または分岐金具が干渉して破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

必ず実行

給水ホース、分岐金具を踏まないように注意する

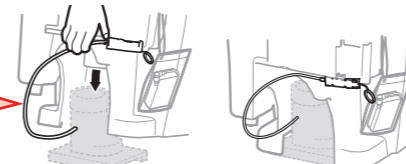


② 便器排水口、排水ソケットの接続部周辺の汚れ除去



手動レバーの取り回しかた

手動レバーを挟まないこと

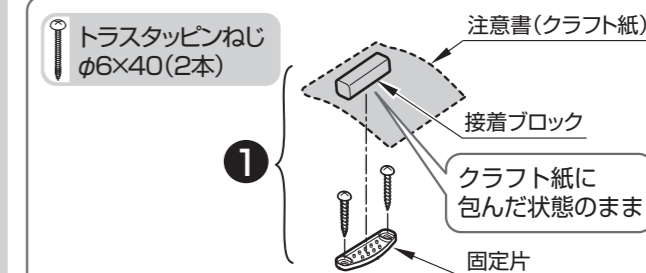


注意

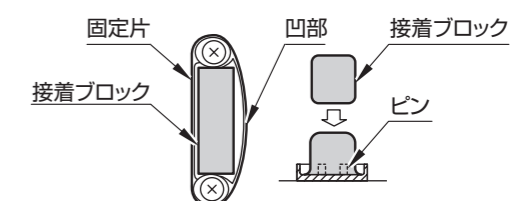
※手動レバーは排水管の下を通す

手動レバーを引っ張ったり、便器に挟まない

2 大便器の固定



接着ブロックについて



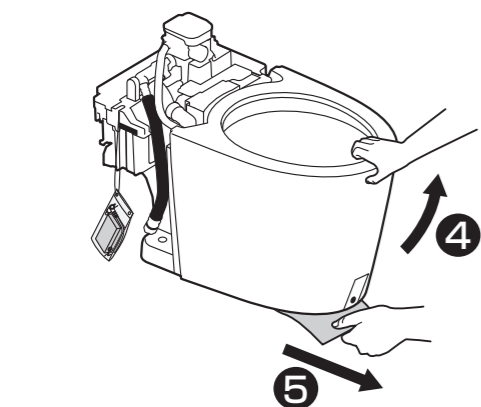
※【施工直後にやり直す場合】
形状を図のように整える

※接着ブロックの方向性は特になし

※【接着ブロックが固くなった場合】
気温が下がると固くなる場合があるため、20~30℃のぬるま湯の中に、包装袋ごと入れて柔らかくして使用する

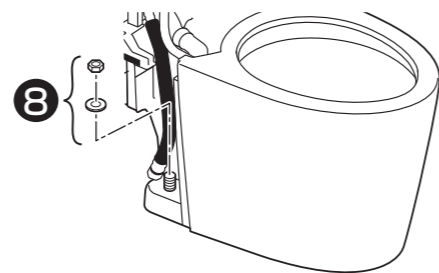
※詳細は、接着ブロックに付属の注意書を参照

③ センターラベルを基準に便器の位置を微調整



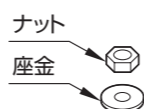
注意

便器が床につくまで
しっかり便器を押さえる



注意

ナットを確実に締める
締め過ぎて便器を割らない
ように注意してください。



最後の締め増しは、手締めにより行い、便器
を割らないように注意すること

⑨ 分岐金具を元の位置に戻す

7.ウォシュレット

1 ウォシュレットの設置

▶ウォシュレット施工説明書

MEMO

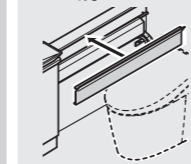
8.確認・仕上げ

1 通水・水漏れ の確認



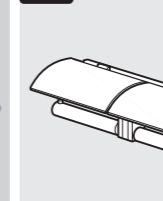
▶P.49

2 カバー類 の取り付け・ 扉の調整



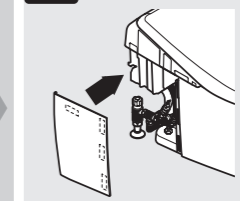
▶P.49

3 紙巻器



▶P.51

4 すっきりパネル



▶P.51

5 シリコン系 シール剤 の塗布



▶P.52

1 通水・水漏れの確認

ウォシュレットの施工説明書に従い、吐水確認（試運転）を
行ってください。

【確認のポイント】

□給水・排水接続部（溶着部、クイックファスナー部）
からの水漏れがないか

□流量は少ないか

※流量が少ない場合は、止水栓を閉めて、フィルター
を掃除してください。

止水栓に定流量弁が内蔵されているため、流量の
調整は不要です。

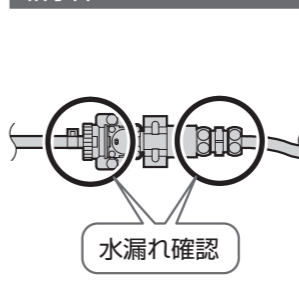


排水部



水漏れ確認

給水部

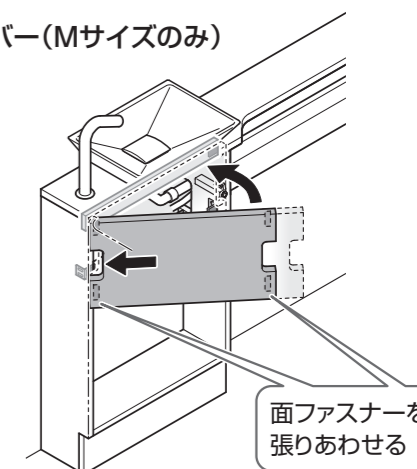


水漏れ確認

※自動水栓の光電センサーLEDは、電源を入れてから
約10分間は点滅もしくは感知のたびに点滅しますが、
その後は点滅は消え、正常に作動します。

2 カバー類の取り付け・扉の調整

① トラップカバー（Mサイズのみ）



注意

❗ 取り付け時は強く押し込む
落下してけがの原因となります。
必ず守る

② 扉の調整

【上下】

回し過ぎない

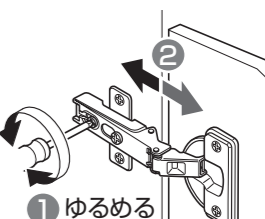
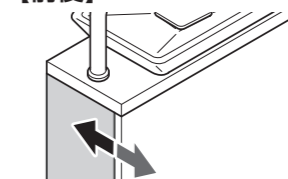
ゆるめる ①

【扉がゆるんだとき】



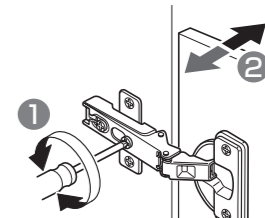
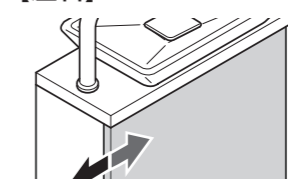
① 締めつける

【前後】



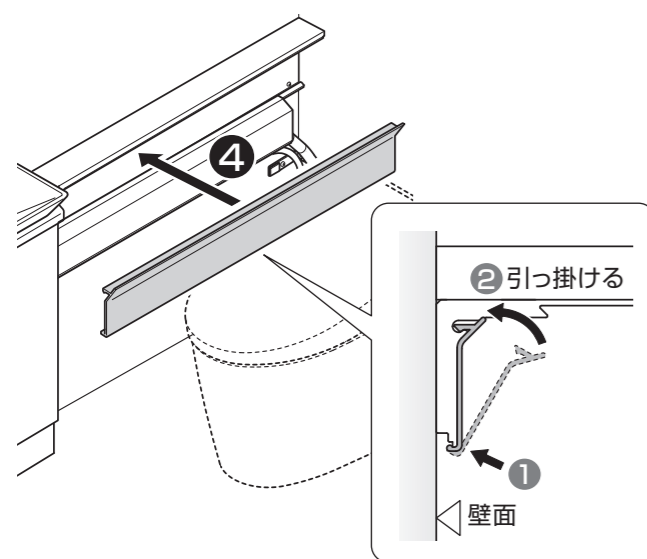
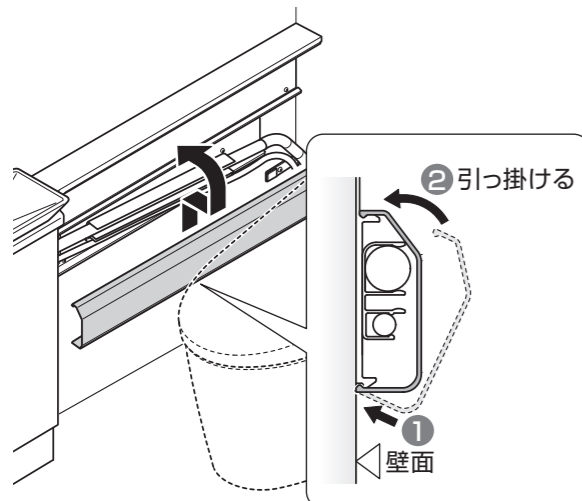
① ゆるめる

【左右】



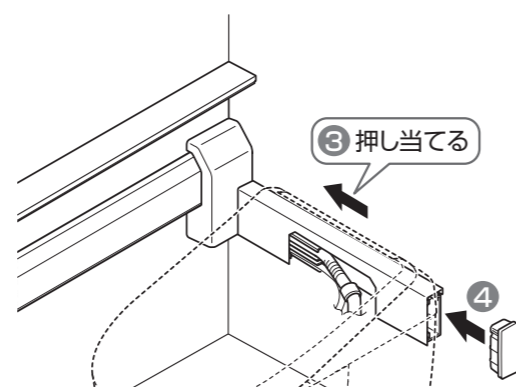
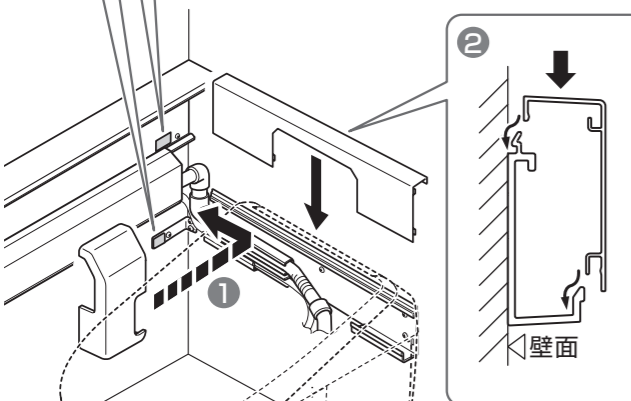
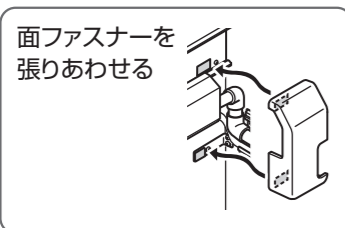
①

③ 配管カバー(カウンター側)

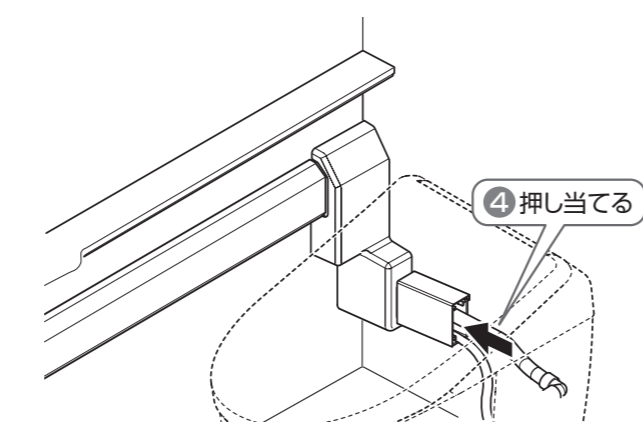
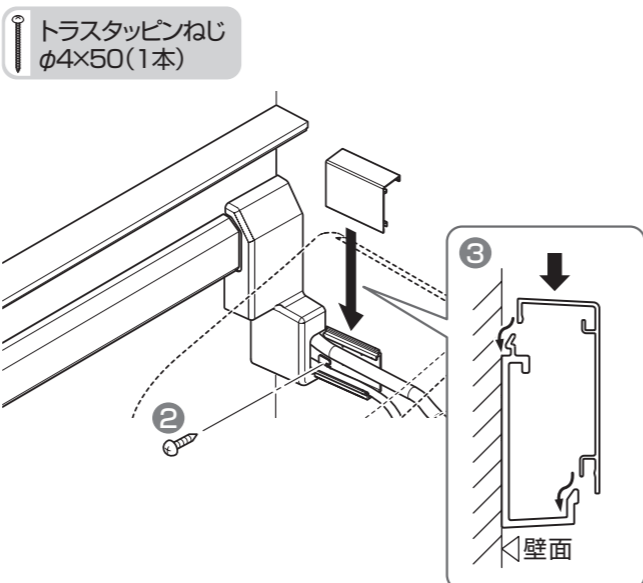
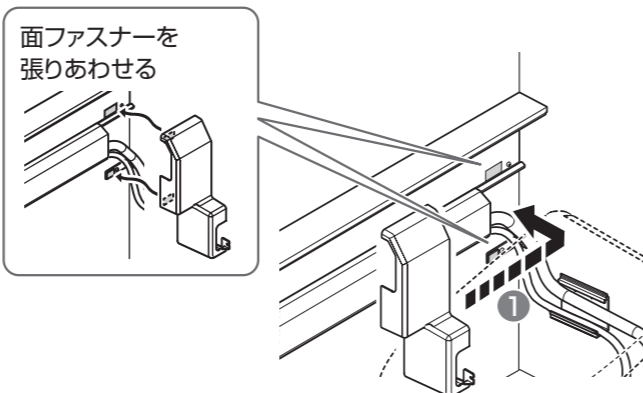


⑤ 配管カバー(間口側)

後ろ抜き(排水心高さ120mm) 給水隠ぺいタイプ・便器品番:CS987BDP

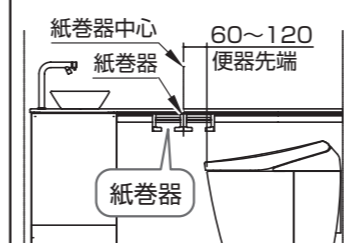


後ろ抜きモデル・左右抜きモデル 給水露出タイプ・便器品番:CS987BDX



3 紙巻器

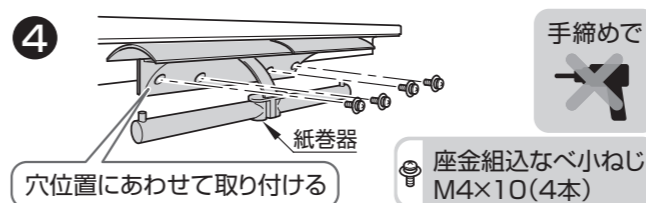
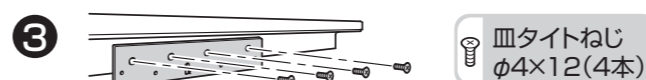
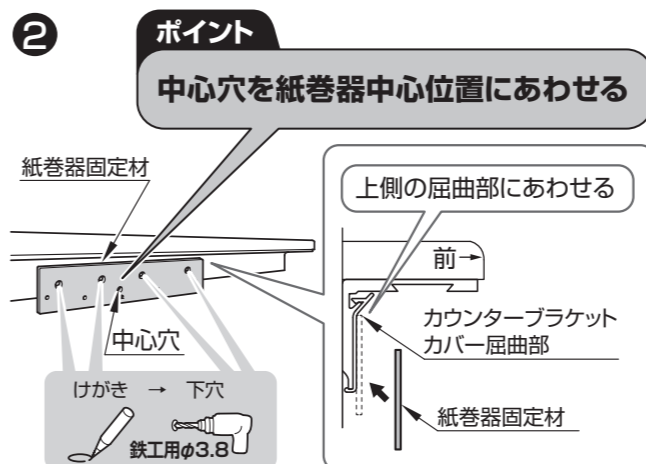
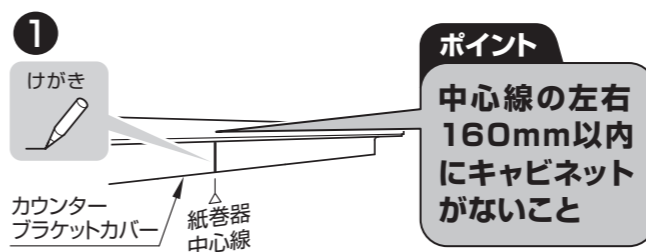
紙巻器取り付け推奨位置



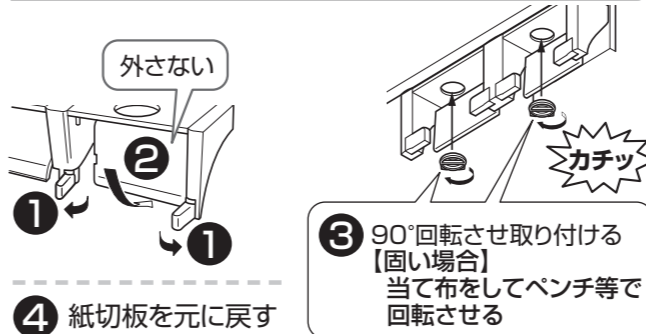
設置位置は図の範囲が推奨となります。

※カウンターの長さによっては推奨位置に取り付かない場合がありますので、ご注意ください。

メタル製紙巻器の場合



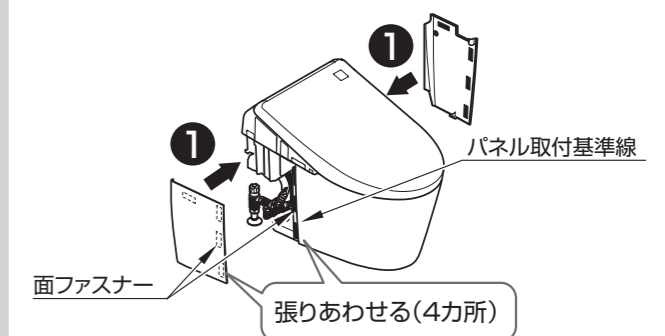
樹脂製紙巻器の場合



4 すっきりパネル

ウォシュレット本体の試運転確認後に取り付ける

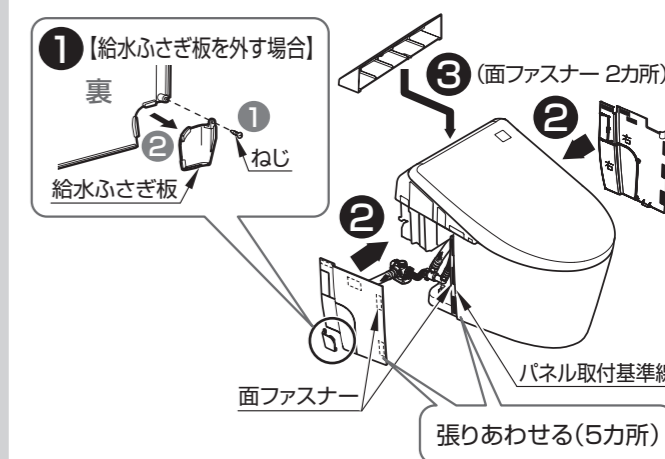
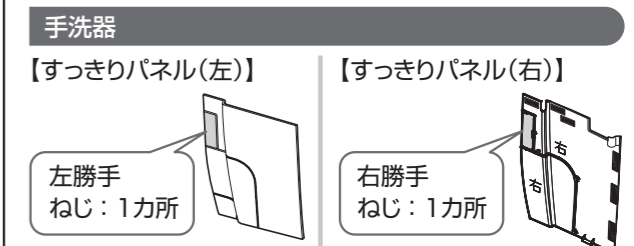
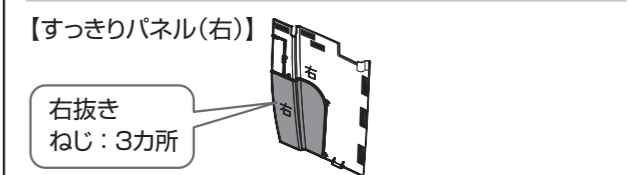
後ろ抜き(排水心高さ120mm) 給水隠ぺいタイプ・便器品番:CS987BDP



後ろ抜きモデル・左右抜きモデル 給水露出タイプ・便器品番:CS987BDX

ふさぎ板について

排水抜き方向に応じて の部分を取り外してから取り付ける



5 シリコン系シール剤の塗布

※TOTOおすすめシリコン系シール剤(別途手配)
メジシール(クリア) : YG903S

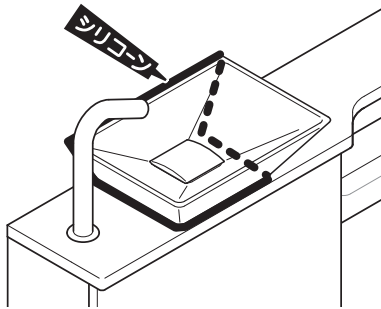
手洗器 Mサイズ

警告



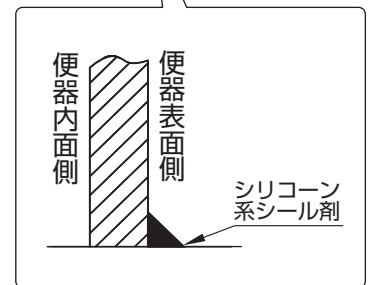
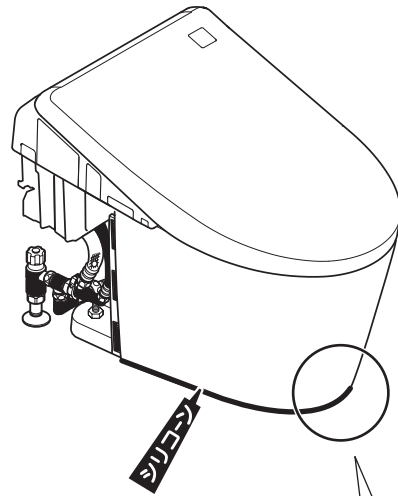
必ず守る

シリコン系シール剤の塗布
(コーキング)は確実に
水などがキャビネット内に浸入してコンセント
にかかり、火災や感電の原因となります。



大便器

水や小水の浸入を防止するため、便器床設置部周囲に
防カビ性の透明シリコン系シール剤を塗布するこ
とをおすすめします。



工事店様へ

このたびはネオレストハイブリッドシリーズ手洗器付(ワンデーリモデル)を施工いただき
ありがとうございました。

UGX1130

